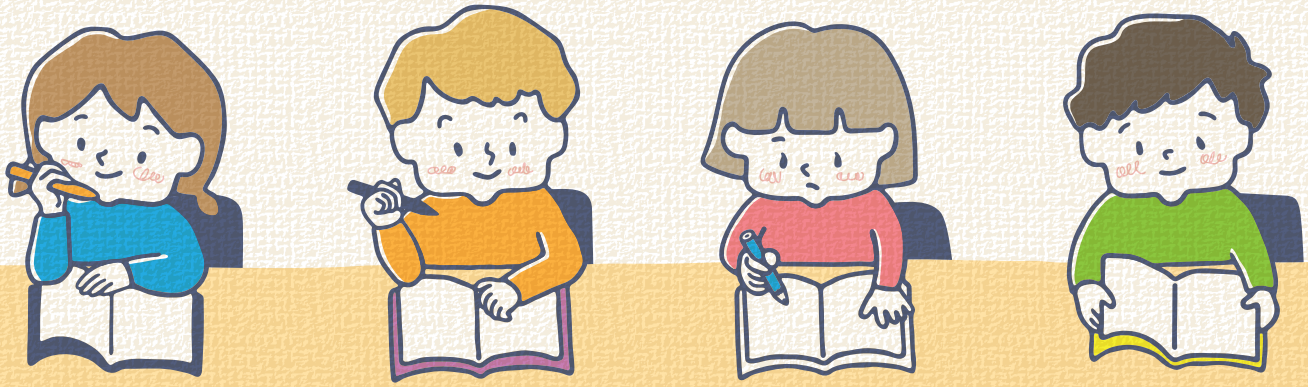
日本語指導
ハンドブック

デジタルブック



令和６年３月

東京都教育委員会

日本語指導ハンドブック デジタルブック

使い方の手引き

「日本語指導ハンドブック」（デジタルブック）は、平成 23 年発行の「日本語指導ハンドブック　その 1 」及び「日本語指導ハンドブック　その 2 」の内容について、1 時間で構成されていた各課を、学習項目やアクティビティ別等に分けて再構成しました。それは、日本語指導の担当者が、各学校現場における児童・生徒の実態やニーズに応じて、本デジタルブックの指導内容や活動を組み合わせたり、必要な活動等を追加したりして、1 時間の授業を構成できるようにしたためです。

また、「たのしいがっこう」の学習指導案及びワークシートを新たに掲載しています。

学習項目別の学習指導案等を基に、「日本語指導推進ガイドライン～多文化共生社会に向け、共に学び成長する児童・生徒の育成を目指して～」の第5章「日本語指導プログラムとコース設計」に示された内容を踏まえ、本デジタルブックに掲載のアクティビティや文字の学習等を活用し、日本語指導が必要な児童・生徒の指導の改善・充実を図ってくださいますようお願いします。

授業計画（例）

学習指導案を活用し、アクティビティや文字の学習等を組み合わせ、「授業計画（例）」のように、児童・生徒に応じた授業計画を立てましょう。「たのしいがっこう」のページは、デジタルブックのページです。

2 からだ の ちょうし

使用教材
「たのしいがっこう」❷

目標

◆ 体調を説明することができる。

学習項目

❶ 体の部分を表す言葉
❷ どうしましたか
❸ ○○がいたいです

単語

- 痛い
- 体に関する単語（のど、て、むね、おなか、ひざ、すね、あし、こし、せなか、つめ）
- 頭に関する単語（あたま、はな、くち、め、みみ、は）

準備物

絵カード　挨拶、痛い、体の部位
単語カード　体の部位
フラッシュカード　どうしましたか。／［　　］がいたいです。

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
挨拶	● 始めの挨拶 ● 前時の復習	● 始めの挨拶をする。 「おはようございます。」で挨拶の確認をし、「○○さん」で出欠の確認をする。 ● 前時の復習をする。 挨拶に続けて児童・生徒に「元気ですか。」と問いかけ、質問の内容が分かっているかを確認する。 「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「わかりましたか」「わかりました」「わかりません」の絵カードを見ながら、挨拶等の復習をする。	絵カード（挨拶）
1	● 学習の見通しをもつ。	● 絵カードを使って、今日学ぶ表現を確認する。   教師がお腹を押さえるジェスチャーをして「お腹、痛	絵カード（痛い）

	主な学習活動	指導内容	教材
		い。」や、頭を押さえるジェスチャーをして「頭、痛い。」と言ったり、イラスト等を示したりして、「痛い」という表現を理解させる。	
2	● 体の部分を表す言葉を理解する。 学習項目 ❶	● テキストを見せながら、単語を確認する。 頭に関する単語と体に関する単語に分け、まず、頭に関する単語をイラストや教師が自分の顔を指しながら、教師に続いて児童・生徒に言わせる。 続いて、教師が言ったものをイラストで指したり、本人の顔を指したりさせて、練習させる。時間があれば、児童・生徒に言わせて、教師が自分の顔を指す。 頭に関する単語がひととおり終わったら、体に関する単語の確認と発音の練習を同様に行う。	
予備		● ゲームで単語の練習をさせる。 単語カードを裏返しにして山を作り、それを互いに一枚ずつ引いて、表に返す。出た単語を自分の体で先に指すことができたら勝ちとする。 ※カードは必要に応じて（この時点で定着させたいものに焦点を当て）数を減らしておく。 ● 歌で単語の練習をさせる。 「体の部分の歌」で、体の部分を手で示しながら歌わせてもよい。 ● 単語と絵カードを組み合わせる。神経衰弱の要領で、単語が書かれたカードと絵カードを裏返しに机上に並べ、交互にめくっていく。	単語カード（体の部位が母語(使用言語)と日本語で書かれたもの） アクティビティ 20 単語カード 絵カード
3	● 体調を説明する表現を理解する。 学習項目 ❷ ❸	● 絵カードを使って、会話の状況を理解させる。 1 の左の絵カードを見せ、女の子を指し、「○○さんです。」と言い、心配そうな顔で、「○○さん、どうしましたか。」と聞きながら、「どうしましたか。」のフラッシュカードを黒板に貼る。○○さんの吹き出しを指し、「お腹が痛いです。」と言いながら「 ＿＿ がいたいです。」のフラッシュカードを提示する。 ● フラッシュカードを見て、表現の練習をさせる。 教師がフラッシュカードを指しながら、「どうしましたか。」「お腹が痛いです。」と言い、それに続けて、児童・生徒にリピートさせる。次に、教師が「どうしましたか。」と児童・生徒に言いながら、単語カード（お腹、喉、目、胸等）を提示し、「 ＿＿ がいたいです。」の発話をさせる。	絵カード（名前入り） フラッシュカード 単語カード

	主な学習活動	指導内容	教材
		• 絵カードを使って、会話の練習をさせる。 　上記と同じ状況で教師が児童・生徒に「どうしましたか。」と聞き、児童・生徒は体の部位が書かれた絵カードをめくらせて、それをもとに答えさせる。	
4	• ひらがなの練習	• 体に関する単語を使い、練習させる。 　既習の文字で構成された単語を選び、それを読む練習と書く練習をさせる。 　新しい文字をまず口頭で文字を 1 文字ずつ発音し、次に教師が筆順を示す。その後、文字のみを書く練習をさせる。さらに、既習の文字と新しい文字で構成された単語を使い、読む練習と書く練習をさせる。	平仮名・片仮名練習帳
5	• 終わりの挨拶	• 今日学んだことを確認する。 　最初の絵カードを使って、確認をする。 • 終わりの挨拶をする。	

板書計画



どうしましたか。



□がいたいです。

あたま

おなか

のど

次時の計画

1	• 体調を説明する表現を広げる。	• 口頭で本時の「どうしましたか。」「□」がいたいです。」のやり取りを確認する。 • ワークシートを使って、書く練習をさせる。 • 「どうしたの？」「だいじょうぶ？」などの表現を指導する。 • ワークシートを使って、同じ会話の形で意味を確認ながら体調を説明する表現（「気分が悪いです。」等）を広げる。	ワークシート 1 ワークシート 2
2	• 現実の場（保健室）で体調を説明する練習をする。	• 保健室に一緒に行き、場所を確認する。 • 体調についての絵カード（頭が痛い、気分が悪いなど）の中から一枚を選ばせ、養護教諭に体調について説明する練習をさせる。	

【構成】

第１部　「日本語指導ハンドブック１・２」を活用して

1　日本語指導事例集及びワークシート
2　アクティビティ（ゲーム）
3　発音の学習
4　文字の学習・「平仮名・片仮名の練習帳」

第２部　「たのしいがっこう」を活用して

1　「たのしいがっこう」学習指導案
2　「たのしいがっこう」ワークシート

【内容と構成】

1－1　日本語指導事例集及びワークシート

	単元名	学習指導案	ワークシート	「たのしいがっこう」との関連
1	挨拶をする	○	○	❶ あいさつ　と　へんじ
2	許可をもらう	○	○	❸ たのむとき　たずねるとき
3	体調を説明する	○	○	❷ からだ　の　ちょうし
4	学校に連絡する	○	○	❷ からだ　の　ちょうし
5	物の所有を説明する	○	○	❻ もちもの
6	誰の持ち物かを伝える	○	○	❻ もちもの
7	時間を言う・お願いする	○	○	❸ たのむとき　たずねるとき
8	日付と曜日を言う	○	○	❾ じかんわり
9	時間割を説明する	○	○	❾じかんわり
10	過去のことを話す	○	○	❾ じかんわり
11	場所を聞く	○	○	❼ わたし　の　がっこう
12	いるもの・できることを話す（給食・掃除）	○	○	
13	好きなもの・ことを話す（給食・休み時間）	○	○	❺ なかよく　あそぼう
14	位置を説明する	○	○	
15	存在を説明する	○	○	
16	時間と行動を説明する	○	○	
17	日課を説明する	○	○	❻ もちもの
18	過去の行為を話す	○	○	❽ がっこう　の　いちにち

	単元名	学習指導案	ワークシート	「たのしいがっこう」との関連
19	様子を説明する	○	○	
20	気持ちを伝える	○	○	
21	値段を聞く	○	○	
22	行き方・移動を説明する	○	○	
23	願望・希望を言う	○	○	
24	予定について質問する	○	○	
25	知っていることを紹介する	○	○	⑩ がっこう　の　いちねん
◆1	ひらがな（五十音）	○		
◆2	ひらがな（濁音など）	○		
◆3	カタカナ（五十音）	○		
◆4	カタカナ（濁音など）	○		
◆5	数の数え方（助数詞）	○		
◆6	反対の意味の言葉	○	○	
◆7	日記を書こう（１）	○		
◆8	日記を書こう（２）	○	○	
◆9	観察カードを書こう	○	○	
参考	言葉のルールについて	○		
参考	合わせ言葉	○	○	
参考	漢字の組み立てと部首	○	○	

1－2　アクティビティ（ゲーム）

	活動名	内容	関連する学習項目
1	カード合わせゲーム	○	● 名詞、形容詞、対義語等
2	カード取りゲーム	○	● 数字、助数詞
3	カードめくりゲーム	○	● 文字、動詞、名詞、形容詞等
4	はいはいゲーム	○	● 「○○さん」 ● 「はい」
5	ある・ないゲーム	○	● 「ある」／「ない」 ● 身近にある物の名前
6	同じ・違う	○	● 「ここ」 ● 「同じ」「違う」
7	右・左・上・下・前・後ろ	○	● 「右・左・上・下・前・後ろ」
8	宝探しゲーム	○	● 「○○の中・上」
9	いる・ある	○	● 「いる」「ある」 ● 「○に○がいる」「○に○がある」
10	これは誰の○○ですか?	○	● 「これ」 ● 「誰の」「私の」「僕の」
11	学校探検	○	● 「来てください。」「見てください。」「聞いてください。」 ● 「ここ」「そこ」
12	できる?　できない?	○	● 「できる」「できない」「できた／できました」
13	大きいです・面白いです	○	● 形容詞（「大きい・小さい」、「高い・安い」、「長い・短い」）
14	数字（1から 100）	○	● 数字（1から 100）
15	数字（11 から 20）	○	● 数字（11 から 20）
16	何時?	○	● 時刻を表す表現（「時」「時半」） ● 「もう一回言ってください。」 「ゆっくり言ってください。」「書いてください。」
17	今、何時間目?	○	● 時間割に関する表現（何時間目、教科等の名前）
18	曜日・日付	○	● 曜日に関する表現 ● 日付に関する表現

1－2　アクティビティ（ゲーム）

	活動名	内容	関連する学習項目
19	買い物	○	・「○を○個ください。」 ・「いくらですか。」
20	体の部分の名前	○	・体の部分の名前（頭・肩・手・足・目・耳・鼻・口）
21	食べる？　食べない？	○	・「食べる／食べない」、「飲む／飲まない」 ・「気持ちが悪い」
22	（人物）は、（場所）に行きます。	○	・「○は、○に行きます。」
23	服を着ます・着ました	○	・衣類等の着脱に関する表現（「服を着ます・着ました」「帽子をかぶります」「めがねをかけます」「シャツを着ます」「時計をつけます」など）

1－3　発音の学習

	活動名	内容	関連する学習項目
1	長音	○	• 長音
2	促音	○	• 促音
3	拗音・拗長音	○	• 拗音・拗長音

1－4　文字の学習・「平仮名・片仮名の練習帳」

	活動名	内容	関連する学習項目
1	自分の名前を書く	○	・自分の名前
2	ひらがなを書く(し・あ・い・う)	○	・平仮名(し・あ・い・う) ※「し・あ・い・う」以外の文字指導についても紹介
3	ひらがな清音のテスト	○	・平仮名(五十音)
4	ひらがなを書く(濁音・半濁音)	○	・平仮名(濁音・半濁音を含む単語)
5	ひらがなを書く(長音)	○	・平仮名(長音を含む単語)
6	ひらがなを書く(促音)	○	・平仮名(促音を含む単語)
7	ひらがなを書く(拗音・拗長音)	○	・平仮名(拗音・拗長音を含む単語)
8	カタカナを書く(ア・イ・ウ・エ・オ)	○	・片仮名(ア・イ・ウ・エ・オ) ※「ア・イ・ウ・エ・オ」以外の文字指導についても紹介
9	平仮名・片仮名の練習帳	○	

※文字の指導については、児童・生徒の実態に応じ、「1−1　日本語指導事例集及びワークシート」の◆1，2，3，4の文字指導の単元も活用可能である。

2－1　「たのしいがっこう」学習指導案

	単元名	学習指導案
①	あいさつ　と　へんじ	○
②	からだ　の　ちょうし	○
③	たのむとき　たずねるとき	○
④	がっこう　の　いきかえり	○
⑤	なかよく　あそぼう	○
⑥	もちもの	○
⑦	わたし　の　がっこう	○
⑧	がっこう　の　いちにち	○
⑨	じかんわり	○
⑩	がっこう　の　いちねん	○

2－2　「たのしいがっこう」ワークシート

	単元名	ワークシート
①	あいさつ　と　へんじ	○
②	からだ　の　ちょうし	○
③	たのむとき　たずねるとき	○
④	がっこう　の　いきかえり	○
⑤	なかよく　あそぼう	○
⑥	もちもの	○
⑦	わたし　の　がっこう	○
⑧	がっこう　の　いちにち	○
⑨	じかんわり	○
⑩	がっこう　の　いちねん	○

第１部

1 日本語指導事例集

学習指導案

1 挨拶をする

関連教材
「たのしいがっこう」❶

目標

◆ 簡単な挨拶や返事、自己紹介ができる。

学習項目

❶ わたし（ぼく）は○○です／よろしくおねがいします
❷ おはよう（ございます）／こんにちは／さようなら／ありがとう（ございます）／ごめんなさい
❸ ～くん／さん／はい

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 自己紹介 学習項目 ❶	● 児童・生徒の分かる文字で自分の名前を書いておいた名札を指し、「はじめまして。私は○○です。よろしくお願いします。」と言う。もう一度繰り返しながら、フラッシュカードを黒板に貼る。 ● 次に、児童・生徒に手のひらで発話を促し、教師の後に表現ごとに言わせる。○○の部分は空けておき、名札などを指して、児童・生徒に自分の名前を入れて言わせる。適宜、「いい」、「Good」、母語の「いい」等で褒める。 ● 児童・生徒間でも、「はじめまして。私は○○です。よろしくお願いします。」と言わせ、表現に慣れさせる。 ● 児童・生徒の様子を見て、余裕があれば、「○○から来ました。（出身）」「○○が好きです。（趣味等）」などを自己紹介時に使える表現として教えてもよい。	
2	● 挨拶を理解し、日本語の挨拶表現に慣れる。 学習項目 ❷	● 「あいさつとへんじ」（「たのしいがっこう」P.2 左）と児童・生徒の分かる文字で書かれたものを提示し、挨拶について勉強することを理解させる。 ● イラスト等（「たのしいがっこう」P.2 左）を示し、「おはよう（ございます）／こんにちは／さようなら／ありがとう（ございます）／ごめんなさい」の場面を理解させる。事前にイラストに時刻や時計のイラストなどを書いておき、そこに注意を向け、理解につなげるようにする。 ● 教師の後について言わせたり、イラストを見て言わせたり、カルタのようにするなど繰り返し練習させ、表現に慣れさせる。 ● あいさつを書く練習をしてもよい。 ★児童・生徒の母語での挨拶を教えてもらったり、紹介してもらったりする。リラックスした雰囲気の中で行うと効	ワークシート 1 あいさつ

	主な学習活動	指導内容	教材
3	● 名前を呼ばれたら答える場面を理解する。 学習項目 ❸	果的である。 ● イラスト等（「たのしいがっこう」P.2 右）を示し、自分の名前を教師に呼ばれる場面を示す。教師と児童・生徒の絵を指し、「私です、○○さんです。」と登場人物について説明した上で、発話者を指しながら「○○さん」「はい」と例を見せる。 ● 「○○さん」と児童・生徒の名前を呼び、手のひらで返事を促す。さらに自身を指し、「私は？」と尋ねる。児童・生徒が複数いる場合は、お互いに名前を呼ばせ、返事をさせる。 ● 教師が自分を指し、「私は？」と尋ねる。「○○さん」と言った場合は、「○○先生」と訂正する。訂正時には、イラスト等（「たのしいがっこう」P.15 左）を見せ、「先生」の意味を理解できるようにする。「○○先生」と言えた場合は、正しいことを伝える。続いて、担任の先生や校長先生など顔を知っている先生の写真を準備しておき、○○先生」という言い方に慣れさせる。	
発展	● 自分の名前の書き方を理解する。	● 児童・生徒の名前を板書し、「○○」と読み上げ、自分の名前の書き方を理解させる。	
	● 自分の名前を書く練習	● 自分の名前を書く練習をさせる。	ワークシート 2 わたしの なまえ
	● 自己紹介を書く練習	● 自己紹介を書く練習をさせる。	ワークシート 3 よろしく おねがいします

2 許可をもらう

関連教材
「たのしいがっこう」❸

目標

- 許可を得ることができる。
- 簡単な表現（「いい・だめ」「分かる・分からない」）で返事ができる。

学習項目

❶ いいです（いい）／だめです（だめ）
❷ せんせい、○○（トイレに行って、水を飲んで）いいですか（いい）
❸ わかる／わからない

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• 許可を得る際の表現を理解する。 学習項目 ❶ ❷	• 「いい」行為・「悪い」行為をして見せ、教師が笑い顔をして○を書いて「いいです。」、怒っている顔をして×を書いて「だめです。」と言う。いくつか「いい」「だめ」が使える場面を絵カード等で見せ、「いい（ですか）？だめ（ですか）？」と児童・生徒に尋ね、答えを引き出す。 ★児童・生徒が複数いる場合は、絵カードを児童・生徒に渡し、質問をする側に立たせる。 • トイレに行きたい状況をイラストやジェスチャーで示し、「先生、トイレに行っていいですか。」と例示し、後に言わせる形で練習させる。同様にイラストを見せたりしながら、「水を飲んでいいですか。」「遊んでいいですか。」の練習をさせる。更に、イラストをランダムに提示したりして、児　童・生徒に言わせ、練習をさせる。 • 言い方に慣れてきたら、教師に対して「トイレに行ってもいいですか。」と言わせる。教師は「いいですよ。」と言って、実際に児童・生徒をトイレに連れていき、許可を得るための表現であることを理解させる。「水を飲んでいいですか。」も上記と同様に指導し、水飲み場まで連れていく。「遊んでいいですか。」は時計などを操作し、「いいです」「だめです」の両方で答えさせる。 ★○や×の意味が異なる文化もあるため、「いい」「だめ」と最初に提示する際は、単に記号に頼らず、分かりやすい表情や動作の他、イラストを用いて理解させる。	ワークシート1 いいです だめです ワークシート2 トイレに いって いいですか
2	• 「分かる」「分からない」を伝える。 学習項目 ❸	• 児童・生徒が明確に判断できる場面を設定（計算、母語の文字、様々な言語等を示すイラスト、児童・生徒が知っている言葉の一部を伏せたもの等）し、「分かる	ワークシート3 わかります わかりません

	主な学習活動	指導内容	教材
		(分かります)」「分からない (分かりません)」を理解させ、言わせる。 ★児童・生徒が複数いる場合は、絵カードを児童・生徒に渡したり、問題を作らせたりして、質問をする側に立たせる。	
発展	● 「いいですか」クイズを通して、様々な文化を知る。	● 食事の際のマナー等について、国や地域で違いのある事柄をイラストで示し、「いいですか。」と児童・生徒に尋ね、「いいです。」「だめです。」で答えさせる。 ● 児童・生徒に問題を考えさせ、質問を出し合う活動を行ってもよい。	

3 体調を説明する

関連教材
「たのしいがっこう」❷

目標

◆ 体の部分の名前が分かる。
◆ 体調を伝えることができる。

学習項目

❶ 体の部分の名前
❷ どうしましたか（どうしたの）／だいじょうぶですか（だいじょうぶ）／〇〇がいたい

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1 2	● 体の部分の名前を知る。 学習項目 ❶	● イラスト等を掲示し、体の部分を手で押さえながら、体の部分の名前を教える。 ● アクティビティで単語の練習をさせる。「体の部分の歌」で、体の部分を手で示しながら歌わせたり、イラストと単語のカードを使って神経衰弱をさせたりする。また、「カードゲーム」で、裏返しにした単語カードの山からカードを1枚ずつ表に返し、書かれた部位を自分の体で伝えさせる。 ★単語の練習のみであるため、全ての単語を1日でやってしまうのではなく、時間配分も考慮しながら、何日かに分けて少しずつ導入したり、単調な練習が長くなりすぎないようにゲームを入れたり、児童・生徒が集中して取り組めるようにする。 ● 平仮名の学習が終わっていれば、体の部分の名前を平仮名で書かせてもよい。 ★「体の部分」については、児童・生徒の実態及び様子等を把握した上で指導することが大切である。	アクティビティ20 ワークシート1 からだ
	● 体調を伝える表現を理解する。 学習項目 ❷	● 教師が腹を押さえるジェスチャーをして、「お腹が痛い（です）。」といい、「〇〇が痛い（です）。」という表現を教える（黒板に「［　　］がいたいです。」のフラッシュカードを提示してもよい）。同様に、頭や足など、既習の体の部位を押さえるジェスチャーをし、児童・生徒に発話を促す。 ● お腹が痛い人のイラストを見せ、その人物を指し、「〇〇さんです。」と言う。そして、心配そうな顔で「〇〇さん、どうしましたか。」と聞き（黒板に「どうしましたか。」のフラッシュカードを掲示してもよい）、児童・生	

	主な学習活動	指導内容	教材
		徒に回答を促す。その上で、「どうしましたか。」を教師の後に言わせる形で練習させる。 ● 教師が辛そうな顔をしたり、ため息をついたりし、児童・生徒に「どうしましたか。」と言うことを促す。絵カード（例：頭が痛い）を示しながら、「頭が痛いです。」と言う。 ● 役割を交代しながら、「どうしましたか。」「○○が痛いです。」という表現を練習させる。途中で教師が「大丈夫ですか。」を導入し、黒板で示すなどして、同じ意味であることを理解させ、口頭でも練習させる。 ★絵カードなどを使い、「どうしましたか。」と聞かれたら、裏返しにした山からとり、その部位が痛いことを伝えるような練習をさせてもよい。 ● ワークシートに書かせてもよい。	ワークシート2 おなかが いたいです

4 学校に連絡する

関連教材
「たのしいがっこう」❷

目標

- 体調を伝えることができる。
- 「食べます・食べません（食べる・食べない）」「飲みます・飲みません（飲む・飲まない）」を伝えることができる。

学習項目

❶ きもち（が）わるい／ねつがある等
❷ たべる・のむ／たべない・のまない

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 体調を伝える表現を理解する。 学習項目 ❶	● イラスト等を見せ、「どうしましたか。」「○○が痛いです。」の復習をさせる。 ● 途中で児童・生徒が教師に「どうしましたか。」と聞かせ、イラスト等を見せながら、「気持ちが悪い」や「熱がある」等の言い方と意味を教える。 ★「大丈夫ですか。」という質問についても復習させ、同じ会話の中で「元気ですか。」を出して、「大丈夫です。」で答える練習もさせる。 ● イラスト等を見ながら、カードを選んで答える練習をペアで繰り返し行わせる。	ワークシート1 きもちが わるいです
2	● 「食べる・食べない」「飲む・飲まない」を理解する。 学習項目 ❷	● 「食べ物」カードを見せながら「食べる」「食べない」を言わせる。役割を交代して繰り返し練習させる。 ● 「飲み物」カードを見せながら「飲む」「飲まない」を言う。役割を交代して繰り返し練習させる。 ● 体調が悪いイラストを掲示し、このときにどうするか、「給食を食べる・食べない」「牛乳を飲む・飲まない」といった意思表示をする練習をさせる。 ● 復習として、ワークシートに取り組ませてもよい。	ワークシート2 たべません のみません
3	● 電話番号を使って数字（0から10まで）について理解する。	● 欠席したり、遅刻したりする場合に、学校に電話する状況をイラスト等で見せ、電話について勉強することを示す。 ● 0（ゼロ・れい）から10までの数字をカードで見せながら、教師の発音を一通り聞かせ、その後、児童・生徒にリピートさせる。ランダムにカードを見せて児童・生徒に言わせたり、机に並べたカードから教師が言っ	

	主な学習活動	指導内容	教材
		たものを取らせたりする。 ● 「○年生です。／○年○組です。」や、学校の電話番号や家の電話番号を言わせたり聞かせたりするなど、学んだ数字を使う活動に取り組ませ、数字の表現に慣れさせる。なお、電話番号を言う際には、「−」は「の」と言うことに触れる。	
発展	● 実際に保健室に行き、体調について伝える活動に取り組む。	● 学んだ表現を使って、保健室で養護教諭に体調を伝える練習させする。 ● イラストカードを使って、様々な状況を伝えられるよう工夫する。 ● 身体測定について紹介してもよい。	ワークシート3 あたまがいたいです ワークシート4 身体測定
	● 学校に電話し、欠席の連絡をする練習をする。	● 授業で扱った学校の電話番号を確認する。 ● 体調不良により欠席または遅刻する場合の表現を確認する。 「おはようございます。○年○組○○です。お腹が痛いです。休みます。」など ● 文字を書けるようであれば、連絡メモやメールに書く練習をさせる。	

5 物の所有を説明する

関連教材
「たのしいがっこう」❻

目標

- 学習用具の名前が分かる。
- 「ある・ない」を使って、物の所有が言える。

学習項目

❶ 学習用具の名前
❷ なんですか
❸ ある／ない、あります／ありません
❹ かして（ください）、みせて（ください）
❺ いい（です）よ、すみません

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• 学習用具の名前を理解する。 学習項目 ❶❷	• 「鉛筆」「消しゴム」を机上に置き、一つずつ持ち上げながら、「鉛筆」「消しゴム」と言い、教師の後について言わせる。ある程度言えるようになったら、再度持ち上げながら、「これは鉛筆です。」「これは消しゴムです。」と言う。 • 消しゴムを持ち上げて、「？」カードを見せながら、「これは何ですか。」と尋ね、答えさせる。提示する文房具を替えたり、質問することを替えたりしながら、「これは何ですか。」と尋ね、答えさせる。 ★理解度に応じて、文末の「か」が疑問の意味を示すことを明確に説明してもよい。文法的な構造の理解が難しいと考えられる場合は、明確な説明を避け、繰り返し慣れさせるようにする。 • 机、椅子、本、ノート等も同様に指導する。途中で児童・生徒がまだ勉強していないものを取り上げ、「わかりません。」の練習をさせる。 • 絵カード等を活用し、ペアで質問し合うなど、繰り返し話す練習をさせる。教室の中のものを使って、児童・生徒が日本語での言い方を知りたいものなどに関して、教師に質問をさせてもよい。シルエットクイズで「これは何ですか。」の練習をさせたり、ワークシートで復習させてもよい。	ワークシート1 なんですか
2	• 「ある」「ない」を使って、物の所有を伝える。 学習項目 ❸	• 手の中に入る大きさの物（おはじきや消しゴム等）を用いて、「ある」「ない」を理解させる。	ワークシート2 あります ありません

	主な学習活動	指導内容	教材
		• 教師が言った文房具を、児童・生徒が筆箱の中から探して、有無を確認させる。 「消しゴムがありますか。」「あります。」「ありません。」 • アクティビティ「5　ある・ないゲーム」	アクティビティ5
3	• 依頼をする際の言葉を理解する。 学習項目 ❹❺	• 児童・生徒の持ち物を手にとって、「貸して（ください）。」や「見せて（ください）。」と言い、意味を理解させる。 • イラスト等を使い、「いい（です）よ。」や「だめです。／いやです。」という答え方を理解させる。 • 教師と児童・生徒で役割を交替しながら練習をさせる。	ワークシート3 かしてください みせてください
発展	• 学んだ表現を使って、会話練習をする。	• 学んだ表現をやりとりの中で使えるよう、「すみません。〇〇がありますか。」「貸してください。／見せてください。」「ありがとうございます。」を使って、まとまった会話を練習させる。	

6 誰の持ち物かを伝える

関連教材
「たのしいがっこう」❻

目標

- 誰の持ち物かが言える。
- 「同じ・違う」の意味を理解し、使うことができる。

学習項目

❶ これ、だれの
❷ わたしの、ぼくの、せんせいの
❸ ○○ではありません
❹ おなじ、ちがう

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 誰の持ち物かを伝える。 学習項目 ❶❷	● 表現の復習として「これは何ですか。」と教師が聞き、児童・生徒が答える練習をさせ、表現と名詞の復習をする。 ● 児童・生徒の鉛筆と教師の鉛筆を手に取り、別々に順番に示しながら、「これは何ですか。」と聞く。児童・生徒がそれぞれに対して「これは鉛筆です。」と答えられたら、その答えを褒めた上で、「これは○○さんの鉛筆です。」「これは先生の鉛筆です。」と表現を提示する。 ● 他の筆記用具を使ったり、質問する側を入れ替えたりして、「これは誰の○○ですか。」「(これは)○○の○○です。」という表現に慣れるまで練習をさせる。 ● アクティビティ「これは誰の○○ですか？」 ● ワークシートに取り組ませてもよい。	アクティビティ 10 ワークシート 5 だれのほんですか
2	● 自分の持ち物でないことを伝える表現を理解する。 学習項目 ❸	● 鉛筆など既習の筆記用具などを取り上げ、児童・生徒に「これは何ですか。」と尋ね、「鉛筆です。」と答えさせる。その後、児童・生徒の鉛筆を持ち、「これは○○さんの鉛筆ですか。」と聞き、児童・生徒に「はい、私の鉛筆です。」と答えさせる。次に、教師自身の鉛筆を持ち、「これは○○さんの鉛筆ですか。」と聞き、「いいえ。」と答えさせ、答えが続かないようであれば、「私の鉛筆ではありません。」の形を提示する。同様にいくつかの筆記用具で練習させる。 ★適宜、板書したり、「はい、○です。」「いいえ、○ではありません。」の文をノートに書かせたりする。	

	主な学習活動	指導内容	教材
		★実態に応じて「○○ではありません。」ではなく、「○○じゃありません。」「○○じゃないです。」「○○じゃない。」などを指導してもよい。 ● 人物、学年、年齢が一覧になったものなどを提示し、人を例に、教師が読み上げ「○年生」「○歳」の意味を理解させる。 ワークシート１の人物について、「○○さんです。○○さんは、１年生ですか。」と聞き、「いいえ。」と答えさせる。「○○じゃありません。」を児童・生徒が発話する前に、「？」を示し、「○○さんは何年生ですか。」と聞き、「3 年生です。」を引き出す。同様に年齢も尋ね、答えさせ、他の人物についても聞き合う形で練習をさせる。	ワークシート１ 1ねんせいですか
3	● 「同じ」「違う」の意味を理解し、使う。 学習項目 ④	● 「同じです。」「違います。」を例示する絵を見せ、「同じ・違う」という意味を理解させる。 ● アクティビティ「6　同じ・違う」	ワークシート３ おなじです ちがいます アクティビティ 6
発展	● 学んだ表現を使って、質問に答える練習をする。	● 「これは、○です。」「はい、○です。」「いいえ、○ではありません。」を使って、質問に答える練習をさせる。ワークシートに書かせてもよい。	ワークシート２ これは なんですか ワークシート４ なまえを おぼえよう
	● 学んだ表現を使って、友達について尋ねる。	● ワークシート１の表を参考にワークシートを作成し、クラブ活動や委員会活動など、異学年の人に学年や年齢を聞く活動に取り組ませる。	

7 時間を言う・お願いする

関連教材
「たのしいがっこう」❸

目標

◆ 時刻の言い方を表す言葉を使うことができる。
◆ 相手の話が聞き取れなかったときに、尋ねることができる。

学習項目

❶ 数字の言い方
❷ 時刻の言い方
❸ もういっかいいって（ください）／ゆっくりいって（ください）／かいて（ください）

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 数字の言い方を理解する。 学習項目 ❶	● 一日の様子が分かるイラストを使い、時計の模型を見せながら、今日は時間の言い方を勉強することを伝える。 ● 文字盤を見ながら、1 から 10 までの数字が言えるかどうか、カードなどを使い確認する。 ● 時計の 11 と 12 を指し、「では、これはなんですか。」と児童・生徒に聞く。10・1（じゅう・いち）、10・2（じゅう・に）という作り方を教え、13 以降は児童・生徒に言わせる。10 から 19 のカードをランダムに見せ、言えるかどうか確認したり、机に並べたカードから教師が言ったものを取ったりする形で練習させる。 ● 20、30 の数字のカードなどを提示し、2・10、3・10 という作り方を示す。「では、これはなんですか。」と聞きながら、40 から 90 までのカードで言い方を練習させる。上記と同様の形で練習させる。 ● 21 のカードを示し、2・10・1 という作り方を教える。22 も同じように作り方を確認しながら言わせ、23 以降は児童・生徒に言わせる。30 まで来たら、99 までの数字をランダムに示し、言わせたり、教師が示した数字を書かせたりする練習をさせる。 ★適宜、数字の作り方のルールを黒板に示す。 <例>20 → 2・10　　21 → 2・10・1 30 → 3・10　　35 → 3・10・5	ワークシート 1 すうじ
2	● 時刻の言い方を理解する。 学習項目 ❷	● 一日の様子が分かるイラストを使い、時刻の言い方を教える。（朝の絵…7時、昼の絵…12 時、夜の絵…9時） ● 時計の模型を使い、長針を動かしながら、1時から	ワークシート 2 いちにち

	主な学習活動	指導内容	教材
		12 時までの「○時」の言い方を教える。 ● 短針を5分・10分単位で読む練習をさせる。このとき、10のときは「ぷん」、5 のときは「ふん」と読むが同じ意味であること、「30 分」は「半」と同じ意味であることを教える。 ● 5分・10 分単位で時計の模型を用いて、時刻を読む活動を行う。 ● 「？」のカードを持ち、時計を指しながら、「今、何時ですか。」と尋ね、時間を言わせる。時刻を変え、何度か同じ質問をしたり、質問を児童・生徒に言わせたりして練習させる。 ● 世界地図と時刻が表示されているもの（スマートホンの時計アプリなど）を見せながら、児童・生徒と教師で役割を交代しながら「(国名／都市名）は今、何時ですか。」と聞き合わせる。 ★表現は適宜、黒板に掲示していく。	
3	● 相手の話が聞き取れなかったときの尋ね方を理解する。 学習項目 ❸	● 前の活動の続きで児童・生徒が発話した際に、聞き取れない様子を示すイラストなどを見せながら、「もう一度言ってください。」と言い、表現を黒板に掲示する。次は同じ活動で児童・生徒に質問させ、教師が小さい声で答え、児童・生徒から表現を引き出す。 ● それぞれの状況を示すイラストを示したり、教師が状況を作ったりして、言い方を教える。 「ゆっくり言ってください。」 「書いてください。」 「読んでください。」 「聞いてください。」 「見てください。」 教師が指示を出し、児童・生徒が行動をするような形で練習をさせる。 ● アクティビティ「何時？」に取り組ませる。 ● 教師が早口で話したりするなど、聞き手が困る場面をつくり、自分で必要な表現を選ばせるなど、繰り返し練習させる。	ワークシート 3 ゆっくり いってください アクティビティ 16
発展	● 学んだ数字を使い、足し算、引き算、かけ算、割り算などに関する表現を理解する。	● 学習状況に応じて、足し算、引き算、かけ算、割り算などの表現（たす、ひく、かける、わる、わ）を用いて練習などに取り組ませる。	

8 日付と曜日を言う

関連教材
「たのしいがっこう」❾

目標

◆ 日付と曜日の言い方などの表現ができる。

学習項目

❶ きょうは、○がつ○にちです
❷ あしたは、○ようびです

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• 日付と曜日の言い方などの表現を理解する。（１） 学習項目 ❶	• ワークシート「1　がっこうの　いちねん」を見せ、月の言い方を教える。カードをランダムで見せたり、言わせたりしながら練習をさせる。 • カレンダーやワークシートを見せ、日付の言い方を教える。カレンダーには予め読み方を書いておき、特に、1 日から 10 日まで覚えることまでは求めない。月と同様にカードをランダムに見せ、言わせたり、教師が発音したカードを取ったりする形で練習をさせる。 • 今日の日付をマークする。「今日は、○月○日です。」と言いながら板書する。「今日は○○です。」と「今日」を母語で示し、日付の言い方を教える。 • 教師が「？」を示しながら、「今日は、何月何日ですか。」「？」を示しながら尋ね、児童・生徒に「今日は、○月○日です。」と答えを言わせる。	ワークシート 1 がっこうの いちねん
2	• 日付と曜日の言い方などの表現を理解する。（２） 学習項目 ❷	• 「今日は何月何日ですか。」で答えさせた後、カレンダーの次の日を指して、「明日は、○月○日です。」と言い、板書して「明日」の意味を教える。 • 教師が「？」を示しながら、「明日は、何月何日ですか。」と尋ね、児童・生徒に答えを言わせ、ワークシートに書かせる。 • カレンダーを示しながら、曜日を教え、「今日は、○月○日です。」「今日は、○曜日です。」をワークシートに書かせる。アクティビティ「18　曜日・日付」に取り組ませてもよい。 • 教師が「明日は何曜日ですか。」と尋ね、児童・生徒に答えを言わせる。	ワークシート 2 なんがつ なんにちですか アクティビティ 18
発展	• 友達の誕生日を聞く活動に取り組む。	• 学んだ表現を使って、友達の誕生日を尋ねる活動に取り組ませたり、誕生月や誕生日を記入したビンゴカードを用意し、いろいろな人に聞いて、列を揃えたりするような活動に取り組ませる。	ワークシート 3 たんじょうび

9 時間割を説明する

関連教材
「たのしいがっこう」❾

目標

- 教科等の名前を言うことができる。
- 時間割に必要な言葉を使うことができる。

学習項目

❶ 教科等の名前
❷ 学校の一日に関する表現
❸ きりつ、れい、いただきます、ごちそうさま
❹ 時間割に必要な言葉

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• 教科等を表す言葉を理解する。 学習項目 ❶	• 「これを勉強しましょう。」など言いながら、時間割を示す。教科等の名称を表すイラストや教科書等を見せ、教師のあとについて言わせるなど練習の練習をさせる。 • 今日の時間割を例に、「1 時間目」から「○時間目」を指し、意味を理解させながら教師の後について言わせる。 • 今日の時間割を指しながら、「1 時間目は○○です。」と言い、児童・生徒に言わせる。その後、「2 時間目は…」と児童・生徒の発言を引き出す。 • カレンダーで明日を示し、「明日は国語がありますか。」「1時間目は何ですか。」などと質問し、児童・生徒に答えさせたり、お互いに質問をさせたりする。ワークシートに書かせてもよい。 • 「総合的な学習の時間、学級活動、クラブ活動、委員会活動」など、学年の実態に合わせて教える。 • 時間割を活用し、いろいろな教科の学習準備を練習させる。「使います。／使いません。」を選択するカードを提示し、教師のあとについて言わせる。その後、各教科で使うものを提示し、児童・生徒に「○○で使います。／○○で使いません。」と答えさせる。	ワークシート1 じかんわり
2	• 学校の一日に関する表現を理解する。 学習項目 ❷ ❸	• 学校生活の様々な場面のイラスト等（登校・朝の会・授業・給食・掃除等）を提示し、ジェスチャーを交えながら意味を理解させる。 • 「きりつ、れい、いただきます、ごちそうさま」等の挨拶も、朝の会や給食と関連させて紹介する。	ワークシート2 がっこう せいかつ

	主な学習活動	指導内容	教材
3	● 時間割に関する言葉を理解する。 学習項目 ④	● 曜日の読み方を復習する。 ● 日本語の授業が行われている時間を尋ねる。(「今、何時間目ですか。」「○時間目です。」) ● 児童・生徒の学級の時間割表を使って教師が質問したり、お互いに質問させたりする。 「今日は何曜日ですか。」「1時間目は何ですか。」「算数は何時間目ですか。」「明日は何がありますか。」など。	
発展	● 翌日の時間割を書く。	● ノートなどに翌日の時間割を書かせる。 ● 「1時間目は○時○分から○時○分までです。」の言い方も紹介する。	

10 過去のことを話す

関連教材
「たのしいがっこう」❾

目標

- ◆ 日付や曜日、天気に関する表現を使うことができる。
- ◆ 過去の表現を使うことができる。

学習項目

❶ 日付や曜日、天気に関する表現
❷「昨日は、○○でした。」などの過去の表現

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• 日付や曜日、天気に関する表現を理解する。 学習項目 ❶	• カレンダーを見せ、「今日は、何月何日ですか。」「今日は、何曜日ですか。」と質問し、答えさせて板書する。「明日」も同様に練習をさせる。 • 天気の言い方を教える。 • 「今日は、晴れです。」「今日は、雨ではありません。」などを練習させる。	ワークシート 1 てんき
2	• 過去のことを話す表現を理解する。 学習項目 ❷	• 「今日は、何月何日ですか。」に答えさせた後、カレンダーの前の日を指して、「昨日は、○月○日でした。」と言って板書する。母語を提示したりして、「昨日」の意味を教える。 • 教師が、次のような質問をし、児童・生徒に答えを言わせて板書する。 「昨日は、何月何日でしたか。」 「昨日は、何曜日でしたか。」 「昨日は、何曜日でした。」 「昨日の天気は？」 「昨日の天気は、雨でしたか。」 「はい、雨でした。」 「いいえ、雨ではありませんでした。」など • ノートやワークシートに文を書いて練習させる。	ワークシート 2 はれです

11 場所を聞く

関連教材
「たのしいがっこう」❼

目標

- 場所を尋ねる言葉や学校の施設の名前が分かる。
- 簡単な指示を表す言葉を理解して、動くことができる。

学習項目

❶ 学校の中の様々な場所の名前を知る。
❷ どこ、ここ、あそこ

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 場所を尋ねる表現や、学校の中の様々な場所の名前を理解する。 学習項目 ❶❷	● 教師と一緒に「学校探検」をする。 1階、2階、3階…、屋上、校庭等、様々な施設の名前を知る。 ● 学校探検の後、学校の地図やイラスト、写真等を使い、学校の中の様々な場所の名前を確認する。ワークシートに書かせてもよい。 ● イラストや写真等を見せ、神経衰弱やカルタなどの形式にしながら、繰り返し名前を言わせたり、ワークシートに取り組ませてもよい。 ● 学校の地図を指しながら、「(違う場所を指し) 校長室はここですか。(また違う場所を指し) ここですか。(全体を指しながら) どこですか。」と尋ね、地図で「ここ」と答えさせ、「どこ」と「ここ」を理解させる。他の場所についても、同様に確認する。 ● 「ここ」(話し手と聞き手の近くの場所)、「そこ」(話し手と聞き手から少し離れた場所) と「あそこ」(話し手からも聞き手からも遠い場所) の違いについて、イラスト等を使って確認する。(「たのしいがっこう」P.15) ★教師が十分に説明でき、児童・生徒も理解できると考えられる場合、ここ (話し手の近くの場所)、そこ (聞き手の近くの場所)、あそこ (話し手からも聞き手からも遠い場所) の用法も紹介し、練習してもよい。この時点では、上記の用法だけに留め、段階的に紹介していってもよい。 ● 窓から外を見たり、廊下を見たりして、「○○はどこですか。」「ここ／そこ／あそこです。」の練習をさせる。	ワークシート1 ばしょのなまえ ワークシート2 どこですか
発展	● 学校探検を通じて、本時で学んだことについて理解を深める。	● 学校の教室や施設が書かれたワークシートを作成・配布し、友達と学校探検をすることを伝える。ワークシー	

	主な学習活動	指導内容	教材
		トには、授業で扱わなかった場所の名前を記入したり、「？」を付けたりして、友達に名前や場所を教えてもらうよう伝える。 ● 児童・生徒がペアになり、校内を友達と一緒に回り、「ここ、どこ？」と聞いたりする。次に「音楽室、どこ？」「トイレ、どこ？」など場所を尋ねる表現を用いて使い方を教える。	

12 いるもの・できることを話す（給食・掃除）

目標

- 給食や掃除、遊びなどの場面で、「いる・いらない」「できる・できない・できた」などを使うことができる。
- 給食や掃除に関する言葉が分かる。

学習項目

❶ 掃除や授業に使う用具の名前
❷ いる（いります）、いらない（いりません）
❸ 給食に関する言葉
❹ できる、できない、できた

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 掃除や授業に関言葉を理解し、「いる・いらない」を伝える。 学習項目 ❶❷	● 掃除の絵を見せたり、時間割の掃除の時間を指して、掃除について話すことを理解させる。その上で、イラストや実物を見ながら「ほうき・雑巾・ちりとり」等、掃除に関する言葉を聞かせ、言わせる。 ● イラスト等を使い、児童・生徒が既に何度か受けている授業の中から教科を選び、授業に「使うもの／使わないもの」を見せ、「体育です。これはいります。これはいりません。」と言いながら、目の前で分類し、「いります。いりません。」の意味を理解させる。 ● 掃除の場面を提示し、ほうきなどのイラストを見せ、「これはいりますか?」と聞き、児童・生徒に「いります。いりません。」を選ばせ、言わせる。 ● 各教科で必要なもの／必要でないものについて、同様に考えて言わせる。復習として、ワークシートに記入させる。 ★掃除や給食を経験したことがない児童・生徒もいるため、活動の内容を考える際には配慮する。	ワークシート1 いるもの
2	● 給食に関する言葉を理解し、「いる・いらない」を伝える。 学習項目 ❸	● 給食に関する絵を見せたり、時間割の給食の時間を指したりして、給食について話すことを理解させる。その上で、イラスト等を見ながら「牛乳・ご飯・味噌汁」等、給食に関する言葉を聞かせ、言わせる。 ● イラスト等を使い、様々な料理を紹介し、「いります。／いりません。」の意味を理解させる。	ワークシート2 きゅうしょく

	主な学習活動	指導内容	教材
		● 給食の場面を提示し、食べ物などのイラストを見せ、「いりますか。」と聞き、児童・生徒に「いります。／いりません。」を選ばせ、言わせる。	
3	● 「できる・できない・できた」を伝える。 学習項目 ❹	● 「縄跳び」「お手玉」など、体を動かす活動を取り入れ、教師も例を見せ、「できます。」「できません。」を発話させながら理解させる。 ● 初めはできなくても、練習してできるようになったとき、「できた。」と声を掛け、「できた。」が「褒める／喜ぶ」の意味であることを理解させる。 ● おはじき、お手玉、けん玉なども「できます。」「できません。」「できました。」の練習として活用し、ワークシートに書かせる。実際に取り組ませてもよい。	ワークシート３ できます

13 好きなもの・ことを話す（給食・休み時間）

関連教材
「たのしいがっこう」❺

目標

- 「遊ぼう」「入れて」「いいよ」などの遊びに加わる表現を使うことができる。
- 「好き」「嫌い」の表現を使うことができる。

学習項目

❶ 動物の名前
❷ すき・きらい
❸ 給食に関する言葉
❹ あそぼう・いれて・いいよ

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• 好きな動物や嫌いな動物について伝える。 学習項目 ❶❷	• 動物の絵を見せ「いぬ・ねこ・かえる・へび」などの名前を紹介する。 • 教師が「私は犬が好きです。」「私は蛇が嫌いです。」と対となることが理解できるイラストなどを見せながら、「好き／嫌い」の意味を提示する。その他、児童・生徒がすでに知っている単語（果物や野菜など）を使って、他の「好き／嫌い」の例を提示する。 • 動物の絵を見せ、「○○さんは？」と尋ね、児童・生徒が「私は○○が好きです。」「私は○○が嫌いです。」で答えられるよう促す。 • 児童・生徒の発達段階に応じて、題材（動物、食べ物、スポーツ等）を選ぶ。「好き」「嫌い」の表現を様々な題材を用いて応用の練習をさせる。	ワークシート１ すきなもの
2	• 給食について自分の考えを伝える。 学習項目 ❸	• 児童・生徒に「○○さんは、給食が好きですか。」とイラストや時間割を提示しながら聞く。給食の食器やイラスト等を使って、「皿・箸・牛乳・パン・おかず」等、給食に関する言葉を理解させる。 • イラスト等を使い、給食を食べておかわりをついでもらう場面を理解させ、「いる・いらない」を言わせる。 • ワークシートに取り組ませてもよい。	ワークシート２ きゅうしょく ワークシート３ いります いりません

	主な学習活動	指導内容	教材
3	● 「遊ぼう」「入れて」「いいよ」などの遊びに加わる表現を理解し、使う。 学習項目 ④	● イラスト（様々な遊びを楽しむ子供たちの様子）を示し、スポーツや遊びに関する言葉（サッカー、バスケットボール、おにごっこ等）を理解させる。 ● 教師が「私はサッカーが好きです。」と言い、サッカーをやっている絵を見せ、「遊ぼう。」「入れて。」「いいよ。」という言い方を聞かせる。 ● 教師が児童・生徒に「○さんはサッカーが好きですか。」と尋ね、「はい。」と答えたら、「○さん、遊ぼう。」と誘う。児童・生徒に「いいよ。」と答えさせる。 ● 児童・生徒に好きなスポーツを確認後、スポーツや遊びの場面で「入れて。」「いいよ。」のやりとりを繰り返し練習させる。なお、高学年から中学生では、「いい?」「いっしょにいい？」「私もいい？」など、実際に使う言葉を必要に応じて指導する。	ワークシート 4 すぽおつ・あそび
発展	● 好きなものについて伝える。	● ワークシートを使い、好きなものを尋ねる活動に取り組ませる。	ワークシート 5 すきです

14 位置を説明する

目標

◆ 「右・左・上・下・前・後ろ・中・外」という位置を示す表現を理解し、指示を聞いて動くことができる。

学習項目

❶ 右・左・上・下・どっち
❷ 前・後ろ・中・外等の位置を示す表現

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 「右・左・上・下」の表現を使う。 学習項目 ❶	● 椅子の上に既習の文房具などを置き、「○○はどこですか。」と児童・生徒に尋ねる。「ここ／そこ／あそこ」などで答えられたら褒め、「いすの上」と言い、次に、文房具を椅子の下に移動させ、「いすの下」と言う。次に、文房具を移動させながら、「上」「下」という言葉を聞かせたり、言わせたりする。 ● 同じ要領で、机の上に文房具を置き、「机の…」と児童・生徒に発話を促す。「上」と言えたら、下に移動させ、同様に児童・生徒に言わせる。文房具を変えたり、置く場所を変えたりして、徐々に「○○の○○」が全て言えるようにする。 ● 最初の質問に戻り、「○○はどこですか。」と児童・生徒に尋ね、「○○の○○」と答えられたら、「です」を付けることを促し、「○○の○○です。」と言わせる。同じように、文房具を様々な場所に置きながら、「○○の○○です。」の練習をさせる。 ● 机の右側に椅子を置き、「椅子はどこですか。」と尋ねる。「机の…」が言えたら、「右」を提示し、「机の右です。」と言わせる。次に椅子を机の左に移動させ、同じ要領で「左」を提示する。 ● 「上・下」と同じように教室の中の具体物で練習をしたり、児童・生徒を起立させ、上・下・右・左の指示で動いたりして、「上・下・右・左」を覚えさせる。 ● ワークシートを使い、「右・左・上・下」を確認する。 ● アクティビティ「7　右・左・上・下・前・後ろ」 ★全て児童・生徒からの目線での位置関係になるように注意する。	ワークシート1 いち アクティビティ7 ワークシート2 うえ？した？みぎ？ひだり？

	主な学習活動	指導内容	教材
2	● 「つくえの前・後ろ・中」の表現を使う。 学習項目 ❷	● 「右・左」の導入と同じように、椅子を机の前後に置き、「椅子はどこですか。」と児童・生徒に尋ね、「前・後ろ・中・外」を導入し練習させる。 ★児童・生徒からの目線での位置関係に気を付けるとともに、「中・外」は「筆箱の中」「学校の外」などの例を使って理解を促す。 ● 「上下左右」と同じように、教室の中の具体物を用いたり、体を動かしたりして、練習をさせる。 ● アクティビティ「8　宝探しゲーム」 ● ワークシートに取り組ませてもよい。	ワークシート 3 うえ？　なか？ アクティビティ 8 ワークシート 4 りんごはどこ？
発展	● 場所を聞き合う活動に取り組む。	● 同じ部屋で、異なるものが異なる場所に置かれている2つのイラストを別々に示し、「○○はどこですか。」と聞き合う練習をさせたり、児童・生徒が自分の部屋の絵を描き、それを描写し、聞き取っているほうが正確にその絵を描けるのかといったような活動に取り組ませる。	

15 存在を説明する

目標

◆ 写真や地図を見ながら説明をすることができる。

学習項目

❶ ○○に○○がいます／あります
❷ ○○はどこにいますか／ありますか

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 「います」の用法を理解する。 学習項目 ❶	● 学校探検などで使用した学校の地図を用意し、その上に、切り抜いた○○先生・校長先生・○○さん（友達）などのイラストを地図の中の児童・生徒が知っているであろう教室等に並べる。○○先生を指しながら、「職員室に○○先生がいます。運動場に猫がいます。」と言い、「います」の意味を理解させる。その上で、他のイラストを示し、児童・生徒に描写させる。	
2	● 「あります」の用法を理解する。 学習項目 ❶	● 学校の近隣の地図を準備し、その中にいくつか児童・生徒が知っている施設（駅、図書館、公園等）のイラストを配置する。その上で、「○○（町名）に公園があります。○○に図書館があります。」と言い、「あります」の意味を理解させ、同じように児童・生徒に描写させる形で練習させる。 ● イラストや、動物カードと道具カード等を用いて「います」「あります」の使い分けを理解させる。 ★高学年や中学生には、生物・無生物の意味の母語を示すと分かりやすい。低学年には、学校探検で物の存在を体験的に話させると効果的である。	
3	● 場所を説明する。 学習項目 ❷	● 学校探検などで使用した学校の地図を用意し、その上に、切り抜いた○○先生・校長先生・○○さん（友達）などのイラストを地図の中の児童・生徒が知っているであろう教室等に並べる。そして、自分のイラストも配置し、「あれ、○○先生はどこですか。職員室ですか。体育館ですか。違います。○○先生はどこにいますか。」と「？」を示しながら、児童・生徒に尋ね、「○○にいます。」もしくは「○○です。」の答えを引き出す。教師の後について「います」を言う練習をした上で、地	

	主な学習活動	指導内容	教材
		図上の異なる人物を使って、場所を聞き合う練習をさせる。 ● 教室の中の具体物を使って、「○○はどこにありますか。」と児童・生徒に尋ねる。勉強した位置の言葉を使って、「○○は○○の○○にあります。（例：ペンは机の上にあります。）」という答えを引き出す。いくつか教師から問う形で練習した上で、教師に質問をさせたり、聞き合わせたりする形で練習をさせる。 ● 表現に慣れた時点で、学校探検の地図に戻り、二人の先生を同じ教室に配置し、「A 先生はどこにいますか。」と尋ねる。「A 先生は○○にいます。」と児童・生徒が答えたら、「B 先生はどこにいますか。」と尋ね、「B 先生も○○にいます。」と「も」も指導する。他の例でもいくつか「も」を使う練習をさせる。 ● ワークシートを使って、町の様子を説明させてもよい。 ★「どこですか。」「○○です。」との違いを尋ねられた場合は同じ意味であることを伝える。本課では教師はできるだけ「います／あります」を使うよう心掛ける。 ★「は」「が」の違いには、できるだけ触れず、何度も言う形で慣れるようにする。	ワークシート 1 います あります
発展	● 「います・あります」を活用した練習に取り組む。	● 児童・生徒の国と日本とを比較させる形で練習させる。まず教師が、イラストや写真を示し、日本や東京などで例を示す。「日本におすもうさんがいます。東京にスカイツリーがあります。」 <例>中国 中国にパンダがいます。中国に万里の長城があります。 バングラデシュ バングラデシュにトラがいます。バングラデシュ にモスクがあります。 ● ワークシートに文を記入させてもよい。 ★描写できるものがあれば、自分の国ではなく、日本の他の都市などでも構わない。	ワークシート 2 にほんと わたしのくに

16 時間と行動を説明する

目標

◆ 身近な動作の言葉を理解し、使うことができる。

学習項目

❶ ○○ます
❷ ○○を□ます
❸ ○○ません
❹ ○○を□ません

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• 「走ります・歩きます」を理解する。 学習項目 ❶	• 教材・ワークシートのイラスト等を使い、実際に教師に見せながら「歩きます／走ります／立ちます」の動作の意味を理解させる。児童・生徒も一緒に動きながら、練習する。 • 教師が「○○さんはロボットです。」と説明をした上で、児童・生徒に「歩きます／走ります／立ちます」などの指示をし、指示に従って動かせる。（慣れたら交替する。）	ワークシート 1 はしります・あるきます
2	• 「手を洗います・ご飯を食べます」を理解する。 学習項目 ❷	• イラスト等を使い、「食べます／飲みます／読みます／見ます／書きます／聞きます／洗います」など、生　活や日本語の授業で触れた可能性のある動詞を提示し、教師の後について言わせたりして練習させる。 • 「食べます」のイラストを黒板に貼り、その前に、児童・生徒が知っている食べ物のイラストを示す。その上で、「○○を食べます。」と言い、「食べます」のイラストの前に「を」を書く。食べ物のイラストを入れ替え、児童・生徒に言わせ、その後、他の動詞でも練習をさせる。 ★低学年の児童・生徒には動作を体験させながら文型を教えると効果的である。 ★「を」の発音に質問が出たら「お」と同じであることを教える。 ★「書きます」のように既習の目的語が少ない動詞の場合は、簡単に言わせる程度でよい。	ワークシート 2 てを あらいます・ごはんを たべます はしります・あるきます

	主な学習活動	指導内容	教材
3	● 「手を洗いません・ご飯を食べません」を理解する。 学習項目 ❸ ❹	● 児童・生徒が嫌いな食べ物のイラストを見せ、「○○さんは、○○を食べますか。」と「？」を見せながら質問をする。「いいえ。」までを児童・生徒に言わせ、その後について教師が「食べません。」と言い、否定形を提示する。同様に、「飲みません。」などでも児童・生徒が嫌いなもので練習をさせる。その後、全ての動詞のイラストカードを使って、肯定形・否定形を言う練習をさせる。 ● 板書した「○○を食べます。」を使い、児童・生徒が嫌いなものについて、「○○を食べますか。」と質問をし、児童・生徒が全て「いいえ。」で答えたら、「？」を空欄に示し、「何を食べますか。」と尋ね、「○○を食べます。」と答えさせる。	
発展	● 自分の予定などを話す。	● 「きょう／あした」などの言葉を使って、他の児童・生徒に「あした○○をしますか。」と聞かせる。	

17 日課を説明する

関連教材
「たのしいがっこう」❻

目標

◆ 身支度に関する動詞を使って話すことができる。

学習項目

❶ 時間の助詞「に」
❷ かおをあらいます／はをみがきます／ずぼんをはきます／ふくをきます

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• 時間の助詞「に」を理解する。 学習項目 ❶	• 一日の大まかな行動（起きます／給食を食べます／そうじをします／○○を勉強します／帰ります／寝ます）のイラストを時間とともに並べて示す。教師の後について言わせて、練習をさせる。 ★「行きます」はこの課では扱わないか、触れる程度にとどめる。 • 教師が図の中の時間とイラストを指しながら、「7時です。私は7時に起きます。9時です。私は9時に寝ます。」と言い、「起きます」「寝ます」のイラストを黒板に貼り、その前に「に」と書く。 • 児童・生徒に「○○さんは？」と尋ね、「○時に起きます。／寝ます。」と言わせる。その後、黒板に「給食」「掃除」のイラストを追加し、「？」を持ちながら、「何時に給食を食べますか。掃除をしますか。」と聞き、答えを引き出す。 • 「帰ります」のイラストを追加し、身振りで教師に質問をするように促す。その後、リピート練習をさせたり、児童・生徒同士で聞かせたりして、「何時に」「○時に」を使う練習をさせる。	ワークシート 7じにおきます
2	• 「服を着ます」「歯を磨きます」を理解する。 学習項目 ❷	• 「○○さんは、○時に起きますね。それから、何をしますか。」と児童・生徒に聞き、朝の話題だと理解させた上で、イラストを見せながら「起きます／顔を洗います／ご飯を食べます／歯を磨きます」などの練習をする。 • それから、「これは?」と聞きながら、「服、靴下、靴、帽子、メガネ」などイラストを見せる。その上で、名前をリピートさせるなどして練習させる。 • 「はきます／かぶります／着ます／かけます／しま	ワークシート 2 みにつけるもの

	主な学習活動	指導内容	教材
		す」などの動詞も同様にイラストで提示し、繰り返し練習をさせる。その上で、動詞のイラストを黒板に貼り、次に最初に提示した名詞のイラストを見せ、児童・生徒に予想させながら、動詞に対応させていく。 ズボン・靴下は、「はきます」 帽子は、「かぶります」 服は、「着ます」など ★低学年には、動作とともに表現や文型を覚えさせる方法が効果的である。 ★身に着けた物をとる場合は、「ぬぎます／はずします」などを用いることを教える。	
発展	● 写真を用いて伝える活動に取り組む。（1の発展学習）	● 日本の祭りの写真や児童・生徒が関係する国の観光ガイドブックを活用し、「これは、日本の祭の写真です。」等と言って、児童・生徒に「着物を着ます・はっぴを着ます・草履をはきます」などと説明させる。	

18 過去の行為を話す

関連教材
「たのしいがっこう」❽

目標

◆ 身支度に関する動詞を使って話すことができる。

学習項目

❶ 色の名前に関する表現
❷ ○じにおきました／○じにごはんをたべました

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 色の名前に関する表現を理解する。 学習項目 ❶	● 教材・ワークシートの○に色鉛筆で色を付けながら「赤・青・黄・白・黒」など色の名前を教える。リピートの練習をしたり、教師が言った色の物を教室の中で探したりして、色の名前を理解させる。 ● 自分が身に着けている物について説明させる。 ● 赤い服・緑のズボンのように名詞を修飾する際に「い」や「の」が付くことを確認させる。 ★形容詞は別の課で扱うため、簡単に触れる程度にする。	ワークシート1 いろ
2	● 「○じにおきました。」や「○じにごはんをたべました。」などの過去を表す表現を理解する。 学習項目 ❷	● カレンダーなどを指しながら、「今日です。昨日です。明日です。」と言い、「きのう」の意味を理解させる（きょう・あしたは既習とする）。 ● 教師が今日これからする行動について、「今日」を意識させながらいくつか話す（○時に寝ますなど）。その上で、同じ行動を「昨日です」などと言い、カレンダーを指したりして、過去の話題であることを意識させた上で、いくつか話す（○時に寝ましたなど）。 ● 板書の際には、「ました」の部分に下線を引いて強調する。「かおを　あらいました。」のように助詞の後に空白を入れて示すと分かりやすい。 ● 児童・生徒にも昨日の行動を表現させる。 「私は、○時に起きました。」 「顔を洗いました。」 「服を着ました。」 「○時にご飯を食べました。」など ● 教師に質問をさせたり、児童・生徒同士で聞き合わせたりする形で「何時に」の練習もさせる。 ● ワークシートを使って復習させる。	ワークシート2 あさのできごと

	主な学習活動	指導内容	教材
発展	• 日記を書く。	• 本日学んだ表現等を使って、一日を振り返り、日記を書かせる。絵日記でもよい。	

19 様子を説明する

目標

◆ 形容詞を使って、物の様子を話すことができる。

学習項目

❶ 大きいです・小さいです
❷ 大きくないです・小さくないです

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• 形容詞について理解し、物の様子を話す。 学習項目 ❶	• 大きいＴシャツと小さいＴシャツのように対になっているものを提示し、「大きいです。小さいです。」と言う。 • 最初は意味的に対になっているイラスト等を見せ、様々な形容詞を紹介する（新しい／古い、あつい／さむい・つめたい、はやい／おそい、高い／安い、対になっていないものでは「おいしい」程度に留める）。イラストを見ながら、教師のあとについて言わせるなどして練習させる。 • 洋服や靴を見せ、「どうですか。」「大きいです。／小さいです。」と答えさせる、カード合わせゲームやカードめくりゲームを用いて様々な形容詞を言う練習をさせる。	ワークシート１ おおきいです・ちいさいです アクティビティ１ アクティビティ３
2	• 形容詞の否定形を理解する。 学習項目 ❷	• 対義語探しゲームに「おいしい」を入れておき、対義語がないことに気付かせる。その上で、表情などで意味を伝えながら「おいしくないです。」という形を示す。黒板には「おいしいです。」と書き、「い」の部分に下線を引き、「おいしくないです。」と書く。 • 実物やイラストなどを見せ、否定の答えが出る質問を児童・生徒にする。（例：「小さい」のＴシャツやイラストを見せ、「大きいですか。」と聞く）。その他、習った形容詞を使い、児童・生徒同士で聞き合う練習をさせる。	ワークシート２ おおきくないです・ちいさくないです
発展	• 形容詞を使った学習に取り組む。	• いくつかの種類のカバンが描かれているプリントなどを準備し、一人の児童・生徒に黙って、その中から一つ選ばせる。教師やその他の児童・生徒は「大きいですか。古いですか。黒いですか。」といった質問をしながら、その児童・生徒がどれを選んだのか推測させる。	

20 気持ちを伝える

目標

◆ 形容詞を使って、気持ちを表すことができる。

学習項目

❶ どうですか
❷ うれしいです・かなしいです
❸ どうでしたか
❹ うれしかったです・かなしかったです

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• 気持ちを表す形容詞理解する。 学習項目 ❶❷	• 笑っている顔と泣いているイラストを提示し、それぞれの顔に「うれしい」、「かなしい」と書く。 • イラスト等を見せ、様々な気持ちを表す形容詞（楽しい、怖い、面白い、難しい）を紹介し、教師の後について言わせたりして練習させる。 • 児童・生徒が「たのしい」「むずかしい」「こわい」と考えるようなイラスト（例：たのしい=昼休み、むずかしい=勉強、こわい=おばけ）を黒板に貼り、「どれがうれしいですか。」と児童・生徒に聞く。児童・生徒が選んだら、二つのイラストを並べて貼り、「昼休みは楽しいです。」と教師が例文を示す。その後、「勉強は？」「おばけは？」と教師が尋ね、児童・生徒の発話を促す。 • 次に「?」を示しながら、「○○の勉強はどうですか。」と聞き、「楽しいです。」などと答えさせたり、その他のイラストを提示し、児童・生徒同士で聞き合わせたりして練習させる。 • 児童・生徒が関係する国のガイドブックを見せ、国や町の特徴について、形容詞を用いて言わせる。	ワークシート1 うれしいです・かなしいです
2	• 形容詞の過去形を理解する。 学習項目 ❸❹	• 昨日の給食の写真などを見せ、「昨日の給食は…」と児童・生徒に発話を促す。「おいしいです。」という答えが出たら、「昨日」という部分に意識を向けさせ、「おいしかったです。」という形を示す。「おいしいです。」と板書し「い」に×を記し、「かった」を付ける。 • 昨日や先週など、過去にあったことを話題にして、イラストや写真を見せながら、「?」を示し、「どうでしたか。」と聞いていく。児童・生徒には「楽しい・怖い・	

	主な学習活動	指導内容	教材
		面白い・難しい」などのイラストから適当なものを選ばせ、言わせる。 ★適当な場面で否定の「〇〇くなかったです。」も導入し、リピート練習などを取り入れる。 ● 絵カードを用いて形容詞を用いた過去の表現を練習させる。 ★単調な活用の練習になるため、学習した単語ではないが「あたたかいです。」などを混ぜたりし、意欲を保つ。	ワークシート2 どうでしたか

21 値段を聞く

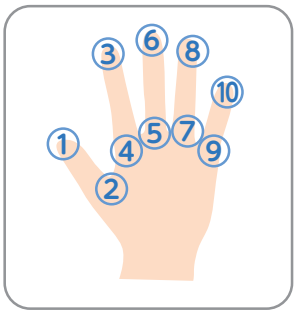
目標

- 買い物をするときの表現を使うことができる。
- 助数詞「個」の使い方や 100 から 1000 までの数の言い方が分かる。

学習項目

❶ 助数詞
❷ 買い物をするときの表現（「○を○こください／いくらですか／○えんです」）

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• 助数詞を使って表現することができる。 学習項目 ❶	• 買い物の場面の絵を見せ、吹き出しの中の金額と助数詞の部分に下線を引きながら、学習項目が助数詞と数字であることを示す。 「プリンを 3 こください。」 「ひまわりを 4 ほんください。」 「780 えんです。」など • 金額と助数詞の表を見せ、「いっこ」「にほん」など、教師の後について復唱させ、繰り返し練習させる。 • 助数詞などが特殊な読み方（ぽん・ぼん、ぴゃく・びゃく）になる場合が多いことから、以下のような図を使って一緒に練習させたりする。  2, 4, 5, 7, 9：「本」を「ほん」と読む 1, 3, 6, 8, 10：特殊な読み方（ぽん、ぼん） • 児童・生徒の負担を考慮し、助数詞の種類を増やし過ぎないよう注意する。 • 1～100 までを復習し、その上で、99 までと同じように作り方（239=2・100・3・10・9）を示す。ひととおり、100 の位の読み方を練習した上で、教師が示した数字を読んだり、聞いたものを書き取ったりする練習をさせる。児童・生徒同士がお互いに言い合わせてもよい。	ワークシート 1 かいもの ワークシート 2 すうじ （100 から）

	主な学習活動	指導内容	教材
		★100 と 1000 のときは 1 を読まないことに気を付ける。 ● アクティビティ「2　カード取りゲーム」	アクティビティ 2
2	● 買い物をするときの表現を使う。 学習項目 ❷	● 買い物の場面（店員に数を言う必要がある場面）のイラストを見せ、買い手と売り手の役割を交換しながら、買い物のときに用いる表現を練習させる。 「コロッケを3個ください。」 「いくらですか。」 「400円です。」など ● 近隣の商店やコンビニエンスストアなど、児童・生徒がよく行きそうな場所の情報（メニューや新聞の折り込みチラシなど）を活用し、様々な商品を買う場面を設定する。 ● 形容詞を用いて商品について詳しく言う練習をさせる。 「おいしいトマトを2個ください。」 「赤いバラを5本ください。」など	

22 行き方・移動を説明する

目標

- 「○は、○で○に行きます。」を使って話したり書いたりできる。
- 移動手段を表す表現を使うことができる。

学習項目

❶ ○に行きます
❷ ○は、□で△にいきます

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	・「○へいきます。」を理解させる。 学習項目 ❶	・「○○さんは、昨日何をしましたか。」という会話から始める。「○○をしました。」という答えをいくつか引き出す。その中に、どこかに行ったというニュアンスの答えがあればそこから、もし出てこなければ、教師の前日の行動として、「○○に行きました。」という文を提示する。黒板に「行きます」のイラスト、場所のイラストを貼り、間に「に」と書く。 ★意味の理解が難しい場合は、「行きます」のイラストを場所を示すイラストの方へ動かしながら、「○○に行きます。」と言う。 ・場所のイラスト（コンビニ、スーパー、駅、公園など）をいくつか見せ、場所の言葉を簡単に練習する。その後、「に行きます。」の前にかざし、「○○に行きます。」という文を次々に言わせる。途中で「家」も提示し、「家に帰ります。」の文も練習させる。 ・「今日」「明日」「○曜日」などカード等を示し、「?」を示しながら、「どこに行きますか。」という質問の形を提示する。児童・生徒が答えられたら、教師に質問をさせたり、児童・生徒同士で質問をさせたりして、練習をさせる。 ★この課では「へ」は特に扱わないが、疑問が出てきた際には、意味としてはだいたい同じであること、「え」と発音することを簡単に説明する。	ワークシート1 ばしょ
2	・「おにいさんは、でんしゃでがっこうにいきます。」を理解する。 学習項目 ❷	・児童・生徒の「○○に行きます。」という発話を取り上げ、交通手段のイラストを見せながら「バス、自転車、車、地下鉄…何で○○に行きますか。」と質問をする。児童・生徒が指せたり、単語で答えられたりしたら、	ワークシート2 のりもの

	主な学習活動	指導内容	教材
		「そうですか。○○さんは○○で○○に行きます。」と文を提示し、児童・生徒にも言わせる。黒板にも交通手段のイラストを貼り、その後ろに「で」と書く。 ● 交通手段のカードを見せながら、教師の後について言わせる。 ★「歩いて」も付け加え、この場合、「で」は必要ないことを説明する。 ● 上の練習で作った「昨日」「今日」「明日」「○曜日」の文を取り上げ、交通手段を付け加えて、もう一度言わせる。「?」を示しながら、「何で○○に行きますか」という質問の形を提示し、教師に質問させたり、児童・生徒で質問をさせたりする。 ● 「大阪に新幹線で行きます。」「速い電車」「青い車」など形容詞等を用いて表す方法を紹介する。 ● ワークシートで復習させる。	
発展	● 学んだ表現を使って文を作る。	● 時間カード、手段カード、場所カードで山をつくり、1枚ずつカードをめくりながら、「○○、私は○○で○○に行きます。／行きました。」の文を作る練習をする。 ● 短文作りや一行日記に取り組ませる。	ワークシート3 ○は、 ○で ○に いきます。

23 願望・希望を言う

目標

◆ ほしい物やしたいこと等の希望を言うことができる。

学習項目

❶ ○がほしいです
❷ ○たいです

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• ほしい物を伝える。 学習項目 ❶	• 教師がイラストなどを使い、自分の誕生日が近いことと「たんじょうび」という単語と母語訳を示したりしながら理解させる。その上で、何かを欲しがっているイラストを提示しながら、「私は誕生日に○○がほしいです。」という文を提示する。イラストなどを提示しながら、「○○がほしいです」という文を表現を練習させる。 • 誕生日のプレゼントに何が欲しいかを尋ね、児童・生徒に答えさせる。 「何が欲しいですか。」「本が欲しいです。」「服がほしいです。」など、「名詞+が+ほしい」の形を練習させる。	ワークシート 1 ○が ほしいです
2	• したいことや したくないことを 伝える。 学習項目 ❷	• 夏休みや冬休みなど、近い休みを取り上げ、「行きます」と「欲しいです」のイラストを提示しながら、児童・生徒が関係する国の観光地を例に挙げ、教師が「○○に行きたいです。」と文を提示する。さらに、食べ物の写真を示し、「○○が食べたいです。」と例を示す。 • 動詞カードを使い、「○○たいです。」の言い方を練習させる。 ★文法の明示的な説明が理解できる場合は、動詞の敬体「ます」の部分に二重線を引いて板書する。 「○に行きまーすたいです。」 「○を食べまーすたいです。」 • 観光ガイドブックや世界地図を提示して、行きたいところや見たい物について話させる。 • 「食べたくないです。」「行きたくないです。」など否定の形を紹介する。 ★「ほしいですか。」「○○たいですか。」などの質問	ワークシート 2 ○に いきたいです

	主な学習活動	指導内容	教材
		の形は理解する必要はあっても、使うことは少ないと考えられるので、質問を作る練習をたくさんする必要はない。	

24 予定について質問する

目標

◆ 分からないことを質問したりできる。

学習項目

いつですか／どこにいきますか／だれがいきますか／なにでいきますか

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 遠足や旅行のしおりを読んで、内容を理解することができる。	● 年間行事予定表を基に、校外での学習に関する行事を確認する。(「4月は？」、「遠足」、「6月は？」、「校外学習」等) ● 「遠足」について取り上げ、実際に行く場所のイラストや写真等を示し、行き先について述べる表現を確認する。 ＜例＞ 1年生は、動物園に行きます。 2年生は、水族館に行きます。 ● ワークシートを見せ、校外に出る行事に様々な物があることを紹介する。 ● しおり等を活用し、「いつですか。」と質問して、しおりの内容について児童・生徒に答えさせる。「いつ・どこへ・誰と・何を・どのように」の情報を正しく理解させ、答えさせる。 「いつですか。」 「○月○日です。」 「どこに行きますか。」 「○に行きます。」 「誰が行きますか。」 「○年生と先生が行きます。」など ● しおり特有の表現も必要に応じて指導する。 ● しおり、リュックサック、弁当、水筒、敷物、エチケット袋、ゴミ袋、おやつ、ハンカチなど、実物やイラスト等を示し、理解させる。 ● 敷物、エチケット袋、ゴミ袋の使い方についてジェスチャーを交えて理解させる。 ● 学んだ内容をワークシートで復習させる。	ワークシート1 いろいろなぎょうじ ワークシート2 いつですか ワークシート3 えんそくのしおり ワークシート4 こうがいがくしゅう ワークシート5 えんそく

	主な学習活動	指導内容	教材
2	● 前時の内容を復習する。	● 遠足があること、遠足の行き先と日時、持ち物等を確認し、文型を復習をさせる。 ● 絵を見て、天気を言わせ（「雨です。」「晴れです。」）、「晴れ」→○「行く」、「雨」→×「行かない」など天候により、行くか行かないかを判断することを理解させる。 ● 実物や絵カードを示し、洋服に関する言葉を聞いて、覚えさせる。 ズボン・長ズボン・半袖・長袖・上着・靴など ● 時計を用意して、集合時刻を分からせる。 「○時○分に学校へ来ます。」 ● 「しおり」を使い、1日のおおよその活動予定を理解させる。 ● 歩き方、信号の渡り方、電車の約束、ゴミの持ち帰り方など集団行動のマナーについて理解させる。	

25 知っていることを紹介する

関連教材
「たのしいがっこう」⑩

目標

◆ 季節や年中行事についての表現を理解することができる。

学習項目

四季と身近な年中行事

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 日本の四季「春」「夏」「秋」「冬」の言葉を知り、身近な季節の行事について、その意味と言い方を覚える。	● イラスト等を用い、日本には四つの季節があることを示す。 ● 「たのしいがっこう」⑩「がっこう　の　いちねん」を活用し、それぞれの季節の行事について、その意味と言い方を理解させる。「正月」「鯉のぼり」「ひな祭り」…など、児童・生徒に関わる楽しい行事を教え、興味をもたせるようにするとともに、進んで参加する意欲を喚起させる。	ワークシート1 にほんの春夏秋冬
2	● 母国の学校生活や季節の行事について紹介する。	● ワークシートに、母国の学校生活や季節の行事について記入させ、互いに紹介させる。	ワークシート2 私の国の春夏秋冬

◆1 ひらがな（五十音）

目標

◆ 平仮名五十音の発音と筆順を理解することができる。

学習項目

平仮名五十音

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• 平仮名五十音の発音と筆順を理解する。 • 「あ行」の文字を覚える。	• 「ひらがな表」を指しながら、各文字の発音を1回聞かせる。（明確な発音でゆっくりと読み聞かせる。） • 「あ行」の文字カードを 1 枚ずつ見せ、児童・生徒に発音させる。何度か読めたら、ランダムで提示し、練習する。教師の後について「あえいうえおあおあいうえお」と言うような練習をしたりし、まず音に慣れさせる。 • 練習帳を用いて、「あ行」の各文字の発音と筆順を理解させる。最初に、「いち、に、さん」と言いながら筆順どおりに書き、手本を示す。 • 「あ」を筆順どおりになぞらせたり、空書きさせたりする。その後、自分で複数回練習させる。 • 絵カードを見ながら、「あ」を用いた単語「あり」の発音を指導者の後から復唱させ、文字と意味を覚えさせる。（できるだけ既習の文字や身近な単語を使って練習する）教師が発音したものを書き取らせる練習も入れる。 • 宿題として、練習してくるよう伝える。 ★小学校低学年が使用する中心線入りマス目を利用して複数回練習させると、字形指導もしやすい。 ★同様の手順で定着度などを見ながら、全てを一度に教えるのではなく、授業の一部を使うなどして、2 行ずつなど少しずつ数回に分けて練習をする。書かせるだけではなく、ゲーム（ひらがなカルタ、ビンゴ、早読み、ディクテーション）などを使い、単調にならないように心掛ける。ひらがな練習用のアプリなどを紹介してもよい。 ★似たような文字（あ・お、い・こ、き・さ等）が出てくる時は、文字の一部を見せて何の文字かを考えさせたりして、違いを意識できるようにする。	平仮名・片仮名練習帳
2	• ひらがなで自分の名前を書く。	• 五十音表を基に、自分の名前を平仮名で書かせる。	

	主な学習活動	指導内容	教材
発展	● 「ぐるぐるひらがな」に取り組む。	● 「ぐるぐるひらがな」に取り組ませ、平仮名の定着度を確認させる。	平仮名・片仮名練習帳
	● 教科書を読む。	● 平仮名の学習を生かし、国語の教科書に掲載された短めのもの（文章、俳句や詩、早口言葉等）を音読させる。デジタル教科書の振り仮名表示機能等も活用可能である。	

◆2 ひらがな（濁音、半濁音、拗音、長音、促音）

目標

◆ 濁音、半濁音、拗音、長音、促音を理解することができる。

学習項目

濁音、半濁音、拗音、長音、促音

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 濁音、半濁音、拗音、長音、促音について理解する。	● 例語の中に、濁音、半濁音、拗音、促音を含むものを示し、今まで学んだひらがなと表記として何が違うかに気付かせる（「゛」がある、「゜」があるなど）。児童・生徒が気付くことができたら、「か」と「が」の文字を見せながら教師がそれぞれ発音し、音の違いに気付かせる。 <例語の例＞ 濁音：うさぎ 半濁音：えんぴつ 拗音：じてんしゃ 促音：きって ★違いに注意が向くように、他の特殊音を含まない身近な単語を選ぶようにする。 ★拗音の発音が難しい場合は「きや」を少しずつ早く発音し、「きゃ」に近づけていくようにする。 ★促音の理解が難しい場合は、手を叩くなどしてリズムを取りながら、何も発音しない空白を入れるということを理解できるように一緒に発音する。 ★長音は、表記上は違いがないので、下の活動などで、促音と同様に、手を叩いたりしながら、長さの違いに気を付けられる練習に取り組む。発音を示す際には、「せんせい」ではなく「せんせー」と長音に注意する。 ● 例語を一緒に発音し、が行のカードを 1 枚ずつ見せながら、それぞれ発音させる。 ● 取り上げる特殊音の部分だけ違う対（ミニマルペア）を見せ、違いに注意を向けながら、発音させる。 <ペアの例＞ 濁音：てんき／でんき 半濁音：ふん／ぷん 拗音：りゆう／りゅう 促音：さか／さっか 長音：おじさん／おじいさん ● 濁音、半濁音、拗音を含む単語を練習させる。	平仮名・片仮名練習帳

	主な学習活動	指導内容	教材
発展	● 長音（伸ばす音）のルールが分かり使える。	● 長音について、以下の説明をしてもよい。 ● 伸ばす音のルールを確認させる。 ○「あ段」の長音→「あ」　例「おばあさん」 ○「い段」の長音→「い」　例「おじいさん」 ○「う段」の長音→「う」　例「ふうせん」 ○「え段」の長音→「い」　例「とけい」（とけー） ○「お段」の長音→「う」　例「とうきょう」（とーきょー） ● 例外については、児童・生徒から質問があったときには、以下の内容等を活用し、説明する。 ○「え段」の長音だが、「え段」に「え」 <例>　お姉さん→おねえさん 感動詞の「ええ」「ねえ」「へえ」 ○「お段」の長音だが、「お段」に「お」 <例>　多い→　おおい 狼→　おおかみ 大きい→おおきい 覆う　→おおう 氷　→こおり 凍る　→こおる 通る　→とおる 頬　→ほお 炎　→ほのお　等	

◆3 カタカナ（五十音）

目標

◆ 片仮名五十音の発音と筆順を理解することができる。

学習項目

片仮名五十音

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 片仮名五十音の発音と筆順を理解する。 ● 「ア行」「カ行」の文字と単語を覚える。	● 野菜の一覧などを見せ、勉強していない文字が含まれていることに気付かせる。 ● カタカナを勉強することを伝えた上で、平仮名五十音表と片仮名五十音表で「あ」と「ア」が同音であることを確認する。 ● 練習帳を用いて、「ア行」を一度、全て言わせる。その上で、各文字の発音と筆順を理解させる。最初に、「いち、に、さん」と言いながら筆順どおりに書き、手本を示す。小学校低学年が使用する中心線入りマス目を利用して複数回練習させると、字形指導もしやすい。 ● 「ア」を筆順どおりになぞらせたり、空書きさせたりする。その後、自分で複数回練習させる。 ● 絵カードを見ながら、「ア」を用いた単語「アルバム」の発音を指導者の後から復唱させ、文字と意味を覚えさせる。（できるだけ既習の文字や身近な単語を使って練習する。）教師が発音したものを書き取らせる練習も入れる。 ★同様の手順で定着度などを見ながら、全てを一度に教えるのではなく、授業の一部を使うなどして、少しずつ（2行程度）数回に分けて練習をする。書かせるだけではなく、ゲーム（カタカナカルタ、ビンゴ、早読み、聞き取り、ひらがなとのマッチング／神経衰弱）などを使い、単調にならないように心がける。カタカナ練習用のアプリなどを紹介してもよい。 ● 宿題として、練習してくるよう伝える。	平仮名・片仮名練習帳
発展	● 片仮名で自分の名前を書く。	● 五十音表を基に、自分の名前を片仮名で書かせる。	
	● 「ぐるぐるカタカナ」に取り組む。	● 「ぐるぐるカタカナ」に取り組ませ、片仮名の定着度を確認させる。	平仮名・片仮名練習帳

	主な学習活動	指導内容	教材
	● 「カタカナさがし」に取り組む。	● 学校の中を探検し、カタカナで書かれているものを探して、読む。複数児童・生徒がいる場合は、写真などを撮ってこさせ、クイズ形式にしてもよい。 ★高学年・中学生であれば、それらをもとに「ひらがな」「カタカナ」が使われるルールを考えてみることもできる。 ★教科書などでは目にすることが少ない可能性があるが、日常生活（レストランのメニューなど）では活用する場面が多いことにも気付かせ、学習することの重要性の理解につなげる。 ★特殊音を含むものを見付けてきた場合は、次のカタカナの特殊音の授業につなげる材料とする。	

◆4 カタカナ（濁音、半濁音、拗音、長音、促音）

目標

◆ 濁音、半濁音、拗音、長音、促音について理解することができる。

学習項目

濁音、半濁音、拗音、長音、促音

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• 濁音、半濁音、拗音について理解する。	• 例語の中に、濁音、半濁音、拗音、促音を含むものを示し、表記の違いに気付かせる。そのことに気付いたら、どのように発音するかを考えさせ、基本的にひらがなと同じであることを理解させる。その上で、カ行とガ行を見ながら、発音の練習をさせる。 • 指導は、ひらがなの特殊音の指導と同様に、例語での導入、文字単位の発音の練習、学習する特殊音を含む単語での練習、「バス」と「ハス」のように、発音の違いを意識できる一文字だけ異なる単語のペアを使った練習といった流れで少しずつ行う。 <例語の例>　濁音：ランドセル 半濁音：パン 拗音：シャツ 促音：スイッチ <ペアの例>　濁音：バス／ハス 半濁音：ポテト／ホテト 拗音：チャイム／チヤイム 促音：マッチ／マチ 長音：ノート／ノト ★長音だけが、平仮名と表記が異なり、片仮名は「ー」を使うことを、単語などで例を見せ、音を聞かせながら理解させる。 • 濁音、半濁音、拗音を含む単語を練習させる。	平仮名・片仮名練習帳

◆5 数の数え方

目標

◆ 数える対象によって、異なる数詞を使うことを理解することができる。

学習項目

数詞（枚、台、冊、個、羽、回、匹、杯、本、足）

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• 物を数えるとき、数える対象によって単位が異なることを理解する。	• 児童・生徒の身の回りの物を使い、数える対象によって単位が異なることを気付かせる。 • 実物等を示した上で、「枚、台、冊、個、羽、回」の中で、何にどの助数詞を使う必要があるのか、実物を分類しながら機能的に理解させる。 • ノートに数詞の読みを平仮名で書かせ、教師について言わせる。 • 「ください」を使い、店での買い物を想定した会話をする（例：ハンバーガーを 2 個ください。）ことで、学んだ表現を練習させる。 • 実物等を示しながら、「匹、杯、本、足」で数える対象を理解する。その際、「3」では、数字の後ろにつく単位が濁音に、「1、6、8、10」では、促音+半濁音になることに注意させる。 • ノートに数詞の読みを平仮名で書かせ、教師について言わせる。 • 「います。」「あります。」を使って、絵を描写する（例：猫が 3 匹います。ジュースが 2 本あります。）ことを通して、使う練習をさせる。 • 教師が作った千の位までの数字を読み上げ、児童・生徒に書き取らせたり、児童・生徒に作らせ、お互いに作ったものを読み上げ、書き取らせたりする。 <例> 4096（よんせんきゅうじゅうろく） 154（ひゃくごじゅうよん） • 上記の買い物の場面の会話（例：4096 円です。）を使い、練習をさせる。	

◆6 反対の意味の言葉

目標

◆ 反対語を集めることを通して、使える語彙数を増やすことができる。

学習項目

反対語

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 反対語の意味を知り、様々な言葉の反対語を理解する。	● 「かばは　おもいです。うさぎは　かるいです。」や「きりんの　あしは　ながいです。さいの　あしは　みじかいです。」のような例文を基に、イラスト等を用いるなどして、「反対語」について理解させる。 ● ワークシートに取り組ませ、反対語を記入させる。 ● イラスト等を用いて、反対語を言わせたり、ペア作りのアクティビティなどをして、表現に慣れさせる。 ● 学習した反対語を用いて簡単な文を作らせる。	ワークシート 1・2 反対の言葉を書きましょう

◆7 日記を書こう（1）

目標

- ◆ 心に残った出来事や経験したことを書くことができる。
- ◆ 書いたことを声に出して読み、間違いを直すことができる。

学習項目

❶ 出来事や経験したことを観点に基づき、書く。
❷ 間違いを直す。

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 心に残った出来事について話す。 ● 日記に書きたいことを決める。 学習項目 ❶	● 児童・生徒が話しやすい雰囲気をつくり、休みの日のことや、友達と遊んだことなど、心に残った出来事について話させる。 ● 心に残った出来事のうち、日記に書きたいことを決めさせ、観点（いつ、どこで、誰と、何をした、どうだった）を基に、短冊に記入させる。 ★最初は教師が短冊に書き、それを書き写し、次の段階では、「〇〇で〇〇しました。」のように児童・生徒が穴埋めで短冊を書けるようにし、最終的に児童・生徒が話したことを自分で全て書けるように徐々に必要な支援する。 ★学習状況に応じて、日記を書く中で接続詞（そして、それから、しかし等）であったり、文をつなげる表現（〜して、〜しました、〜したり、〜したりしました、〜してから、〜しました）、少し難しい表現（〜してしまいました、〜たら）など、未習のものを使えるように支援する。	
	● 書いた文章を声に出して読み、書き間違えたところを直す。 学習項目 ❷	● 書いた文章を声に出して読み返させ、拗音、長音、濁音、促音、拗長音等の書き間違いに気付かせる。	
	● 書いた内容を発表する。	● 短冊に書いた内容を友達の前で発表させるとともに、互いの発表についても感想を言わせる。 ● 時間があれば、短冊の内容を基に、ノートにまとめさせる。	
発展	● 日記を基に、スピーチを行う。	● 何度か日記に取り組ませ、その中からスピーチを行わせる。	

◆8 日記を書こう（2）

目標

◆ 心に残った出来事や経験したことを書くことができる。

学習項目

出来事や経験したことを観点に基づき、書く。

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• 習った漢字や言葉を使って、短文作りの練習をする。	• 学校行事の後などに、関連して覚えさせたい言葉や漢字を提示し、それを使って、一行作文のワークシートに取り組ませる。	ワークシート1 一行作文
2	• 日記を書く。	• 観点（いつ、どこで、誰と、何をした、どうだった）を基に、自分が話したいことや気持ちを文に書かせる。 • 日記を互いに読ませ、感想を一言コメントに記入させる。	ワークシート2 日記を書こう
発展	• 日本語学級ノートを書く。	• 学んだことを生かし、自分が話したい出来事や気持ちを日本語学級ノートに順番に書かせる。	

◆9 観察カードを書こう

目標

◆ 色・形・大きさ・高さ等の観点に基づき、観察したことを表現することができる。

学習項目

❶ 色に関する表現（○○は～です）
❷ 大きさ、高さに関する表現（○○は～です）
❸ 手触り等に関する表現（○○は～します）

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 観察の観点を確認する。	● イラスト等で色や形、大きさが異なるいくつかの図形を示す。その上で、それらは何が違うのかを児童・生徒に尋ね、観察する際には、色、形、大きさ、高さ等に注目して観察することを確認する。 ★一度に全ての観点を探すのではなく、色のみ異なる２つの図形など、観点を絞って何が違うのかを考えさせられるようにしてもよい。	
	● 色の名前を覚える。 学習項目 ❶	● 既習の色の言葉を上記の図形などで確認し、さらに折り紙、色えんぴつ等カラフルな学用品などを使って、それ以外の色の名前にも触れる。 「何色ですか。」 「○色です。」 ● 覚えた色の名前を使って、折り紙取りゲーム（教師が行った色の折り紙を取る）等に取り組ませ、色の名前を覚えさせる。	
	● いろいろな違いを表現する。 学習項目 ❷	● 最初の図形を使い、形（四角いです、丸いです、三角です等）の言葉を教える。 ● 教師が示した形のものを教室の中で探し、それについて「○○は○○です」の形で報告をさせる。 ● 大小の消しゴムやスポンジとベニヤ板等、二つの物を用意して、「大きい、小さい」「重い、軽い」「硬い、柔らかい」等、いろいろな違いを表現させる。 ● 教室の中や児童・生徒の持ち物などを使い、大きさを表現する練習をさせる。	
	● 手触り等に関する表現を知る。 学習項目 ❸	● 実際に物に触りながら、感触の違いを比べさせる。 ● ざらざら・すべすべ・つるつる・ちくちく等の表現を理解させる。ワークシートに取り組ませてもよい。 「○○はざらざらします。」	ワークシート１

	主な学習活動	指導内容	教材
		「○○はすべすべします。」 「○○はつるつるします。」 「○○はちくちくします。」 ● 教室の外で、習った触感に当てはまるものを探させ、ワークシートに「○○は～です。」「○○は～します。」と記録させる。	
2	● 学んだ表現を使って観察カードを書く。	● 月日、天気、曜日、気温、観察するものを書かせる。 ● 観察の観点を復習させる。 「何を見ますか。」 「色、形、大きさ（高さ）です。」 ● 教室や屋外で、いろいろな物を観察し、色や形の名称をワークシートに書き込ませる。 ● 観察カードに書いたことを発表させる。 ★発表の際には、言語能力に応じて、比較（○○より○○のほうが○○です）や対比（でも、○○ですが）報告の表現（○○と思います、○○ということがわかりました）などを使えるように支援する。	ワークシート 2
発展	● 身近な生き物や物など、観察する対象を替えて観察カードを書く。	● 身近な生き物や物など、観察する対象を替えて観察カードを書かせる。 ● 観察カードに書いたことを発表させる。	

参考　言葉のルールについて

日本語の助詞や仮名遣いの中には、文字と音が異なるものがあります。
以下の内容について、必要に応じて指導する際に、参考にしてください。

1　助詞「わ」と「は」、「お」と「を」、「え」と「へ」

- 「わたし[は]　こうえん[へ]　ともだち[を]　さがしに　いった。」と板書し、四角で囲んだり、下線を引いたりするなど、文字と音が異なる箇所を確認する。または、「わたしは　こうえんへ　ともだちを　さがしに　いった。」と板書し、読むときに音が変わる部分を児童・生徒に確認させる。
- 「～は」（なになにわ）のときは、「くっつきのわ」で「わ」と発音して「は」と書くこと、「～へ」（なになにえ）も「くっつきのえ」で「え」と発音して「へ」と書くこと、「～を」（なになにお）も「くっつきのお」で「お」と発音して「を」と書くことを確認する。
- 必要に応じて、口頭で言え、正しく書けるように、反復練習をさせる。

2　仮名遣い「じ」「ず」「ぢ」「づ」

- 原則として「じ」「ず」で表記されるが、例外がいくつかあることを必要に応じて伝える。

例外 1　同音の連呼によるもの

縮む → ちぢむ　続く → つづく

例外 2　二語の連合によるもの

湯飲み・茶碗 → ゆのみぢゃわん
小・包 → こづつみ
鼻・血 → はなぢ
かな・遣い → かなづかい
小・遣い → こづかい

参考　合わせ言葉

目標

◆ 複合語を集めることを通して、使える語彙数を増やすことができる。

学習項目

複合語

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 複合語の成分を考え、仲間分けをする。	● 複合語は、(名詞+名詞)(動詞+名詞)(名詞+動詞)(形容詞+名詞)(動詞+動詞)の5つのグループに分けられることを確認する。 ● 複合語の成分を考え、仲間分けをさせる。 たけうま　→　(たけ+うま) ゆきだるま　→　(ゆき+だるま) あおむし　→　(あおい+むし) はなび　→　(はな+ひ) とびばこ　→　(とぶ+はこ) やまのぼり　→　(やま+のぼる) むしとり　→　(むし+とる) もちあげる　→　(もつ+あげる) ● そのまま合わせる場合、合わせるときに濁音に変化する音便等のあることを理解させる。＜例　花火等＞	ワークシート 1・2・3
	● 本時の学習を振り返る。	● ワークシートに取り組み、理解を確認させる。	ワークシート 1・2・3
発展	● 複合語を見付ける。	● 身の回りのものの中から、合わせ言葉を見付けさせる。 ＜例＞　窓ガラス　黒板拭き　筆入れ 本棚　消しゴム　下駄箱	
	● 既に学習した漢字を使い、複合語を作る。	● 既に学習した漢字を使い、複合語を作らせる。 ＜例＞　飲み水　魚つり　水やり 虫とり　犬小屋　長ぐつ 古本　竹やぶ　麦ごはん　等	
	● 漢字２字の複合語を理解する。	● ワークシートに取り組ませ、漢字２字の複合語を理解させる。 ❶ 関係のある漢字を組み合わせて漢字2字の言葉を	ワークシート 4

	主な学習活動	指導内容	
		作らせる。 ❷ 反対の意味になる漢字を入れて、漢字2字の言葉を作らせる。 ❸ 上と下の言葉のつながりを考えて、漢字2字の言葉を書く。	

参考　漢字の組み立てと部首

目標

- 漢字の「へん」や「つくり」等に着目させ、「パーツ表」を使って漢字を組み立てることで、漢字を覚える。
- 基本的な部首の名称と共に、どのような事柄と関係があるかが理解できる。
- 小学校2年生までの漢字を習得できる。

学習項目

漢字の組み立てと部首

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• へんとつくりを理解する。	• 「漢字のパーツ表」1と36を組み合わせて「にんべん」の欄に書く。「人が木に寄りかかって休む」ことの意味を理解させる。 • 次に「にんべん」で作れる部品を表から探し、「にんべん」の欄に書かせる。「何」「体」「作」を作れたら、「きへん」に進む。 • 「へん」に「木」、「つくり」に「木」では何になる?（さらに木がもう一つ加わると?）「村」「校」を組み立てさせる。 • 順次、他の「へん」についても組み立てさせる。 ※ごんべん等 • つくりの部首を理解し、順次組み立てさせる。 ※さんづくり等	ワークシート
2	• たれ、にょう、かまえ、あし、かんむり等を理解する。	• 「たれ」−「まだれ」と「がんだれ」を81から100の中から探して、「広」「店」「原」を組み立てさせる。 • 「にょう」−「しんにょう（しんにゅう）」を81から100の中から探して、「遠」「近」「道」「通」を組み立てさせる。 • 「かまえ」−「もんがまえ」「くにがまえ」も同様に作らせる。 門・間・開・閉・関を作らせる。 図・国・園を作らせる。 ※「聞」は「耳」、「問」は「口」であることを教える。 • 「あし」−105から132の中から、「こころ」を探し「思」を作らせる。 • 「かんむり」−「ウかんむり」「くさかんむり」「たけかんむり」「あめかんむり」「なべぶた」を順次作成させる。 字・室（「空」は「あなかんむり」） 花・草・茶	

	主な学習活動	指導内容	教材
		答・算 雪・雲・電 交・京 ● その他を完成させる。 「魚」と「黒」はそれ自体が部首で、点は「れっか」であり、「空」は「あなかんむり」で、「夜」の部首は「夕」部であることを理解させる。	
3	● 漢字パズルに取り組む。	● 漢字パズルに取り組ませる。	ワークシート

第１部

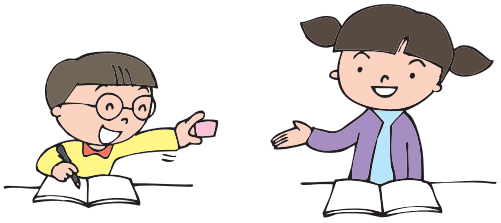
2 日本語指導事例集

ワークシート

1 あいさつを　する

／

1 あいさつ

1		お	は	よ	う		
2		さ	よ	う	な	ら	
3		あ	り	が	と	う	
4		ご	め	ん	な	さ	い

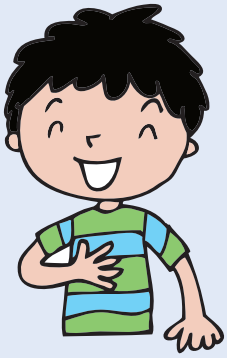
2 わたしの　なまえ

3 よろしく　おねがいします



wa ta shi wa
わたしは＿＿＿＿＿＿＿＿ de su です。

yo ro shi ku, o ne ga i shi ma su
よろしく、おねがいします。



＿＿＿＿＿＿＿＿ ka ra から

ki ma shi ta
きました 。

2 きょかを　もらう

／

1 いいです　だめです

i　i　de　su
いいです。



da　me　de　su
だめです。



2 といれに　いって　いいですか

to　i　re　ni　itte
といれに　いって

i　i　de　su　ka
いいですか。



mi　zu　o　no　n　de　i　i　de　su　ka
みずを　のんで　いいですか。



3 わかります　わかりません

wa　ka　ri　ma　su
わかります。



2+3=

wa　ka　ri　ma　se　n
わかりません。

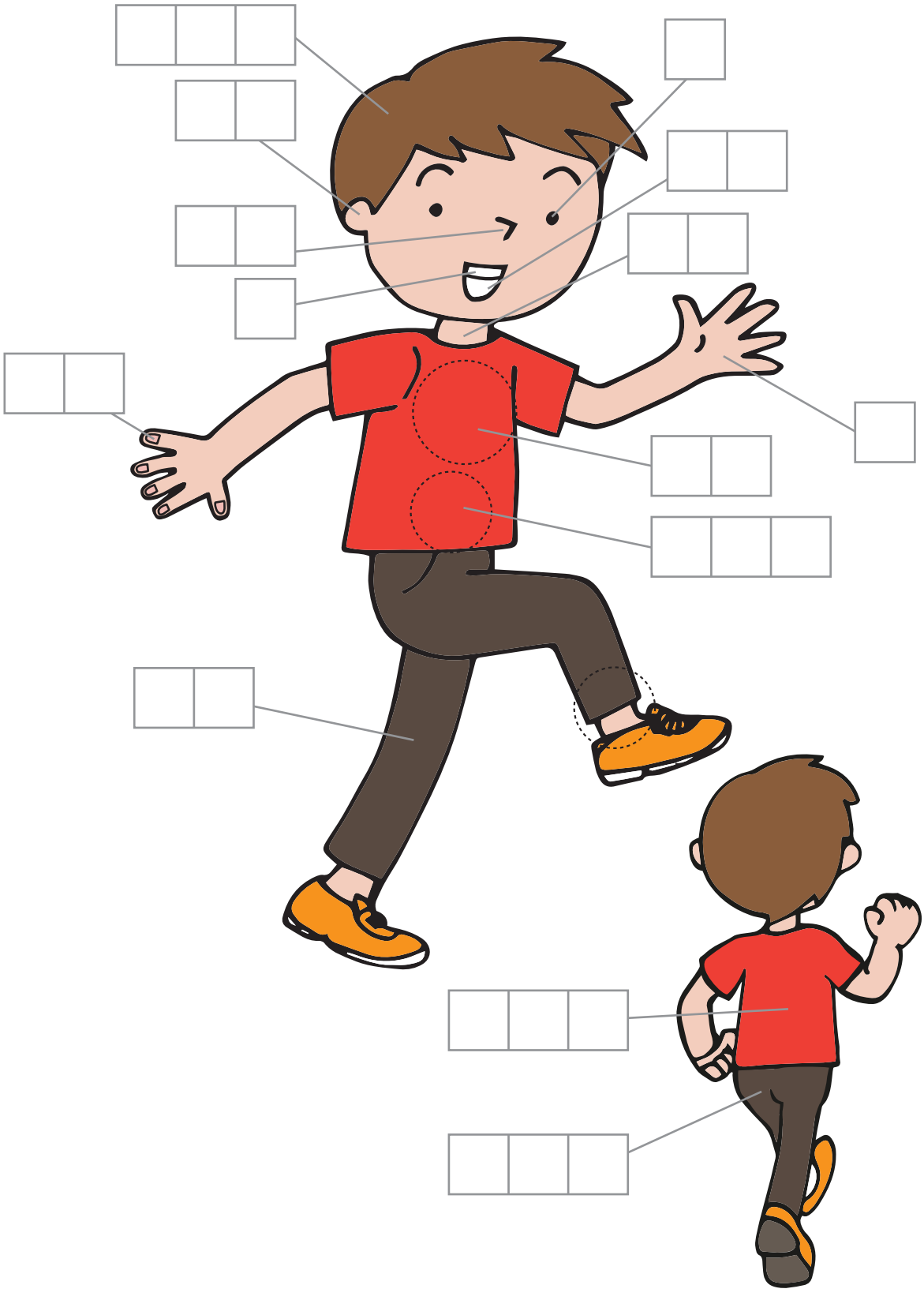


768+0.47=

3 たいちょうを　せつめいする

／

1 からだ



2 おなかが　いたいです



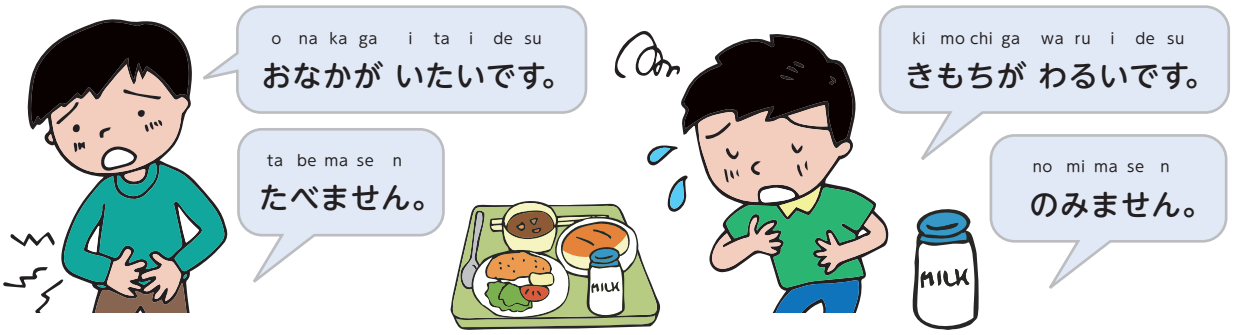
ど	う	し	ま	し	た	か	。		
だ	い	じ	ょ	う	ぶ	で	す	か	。

	おなかが　いたいです。
	あたまが
	めが
	いたいです。
	いたいです。
	

4 がっこうに　れんらくする

/

1 きもちが　わるいです



からだの　ちょうしを　あらわす　ことば



ge n ki de s(u)
げんきです



a ta ma ga i ta i
あたま（が）いたい



o na ka ga i ta i
おなか（が）いたい



ha ga i ta i
は（が）いたい



se ki ga de ru
せきが　でる



ne tsu ga a ru
ねつ（が）ある



ki mo chi ga wa ru i
きもち（が）わるい



sa mu i
さむい



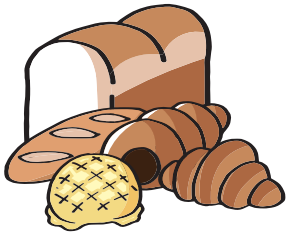
ka yu i
かゆい

2 たべません　のみません

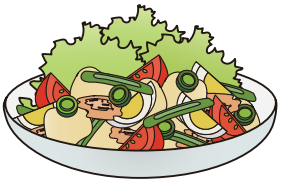
たべもの



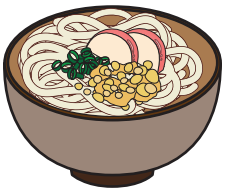
go ha n
ごはん



pa n
ぱん(パン)



sa ra da
さらだ(サラダ)



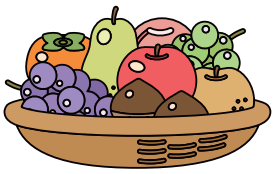
u do n
うどん



ka rē
かれえ(カレー)



na ttō
なっとう



ku da mo no
くだもの

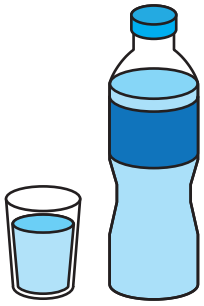


te n pu ra
てんぷら

のみもの



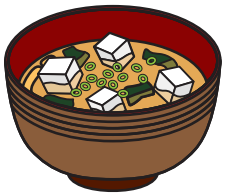
gyū nyū
ぎゅうにゅう



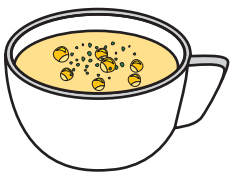
mi zu
みず



jū su
じゅうす(ジュース)



mi so shi ru
みそしる



sū pu
すうぷ(スープ)



kō hī
こおひい(コーヒー)



o cha
おちゃ

3 あたまが　いたいです。

（　　）が　いたいです。

めが　いたいです。

（きょうしつ）

A　だいじょうぶ？

B　せんせい、［　　］が　いたい。

A　ほけんしつへ　いこう。

（ほけんしつ）

B　せんせい、［　　］が　いたいです。

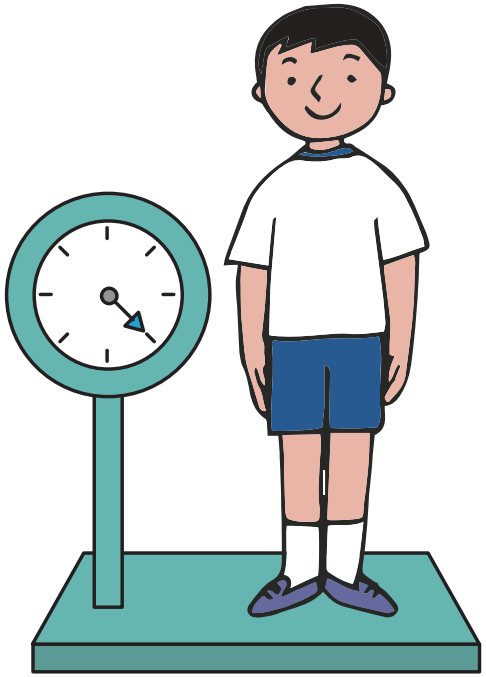
C　ここで、すこし　やすみましょう

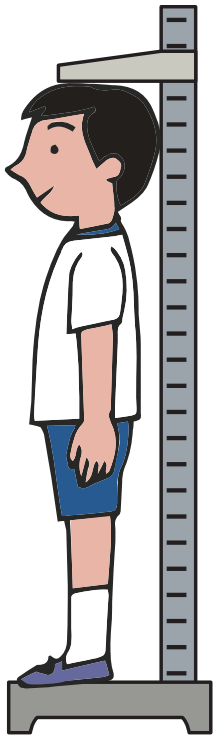
B　ありがとうございます。

●きょうすること 身体測定（しんたいそくてい）

保健室（ほけんしつ）

しんたいそくていは
「ほけんしつ」でします。







❶ 体の重さ（からだおもさ）をはかります。

体重測定（たいじゅうそくてい）

❷ 背の高さ（せたか）をはかります。

身長測定（しんちょうそくてい）

★静（しず）かにすわって待（ま）ちましょう。

くつはぬいでそろえます。

くつ下（くつ）もぬぎます。

5 ものの しょゆうを せつめいする ／

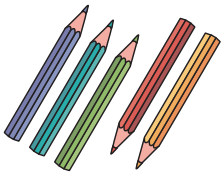
1 なんですか ★せんでむすびましょう。



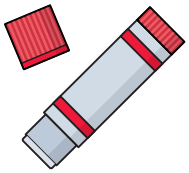
・ ・ ほん



・ ・ つくえ



・ ・ えんぴつ



・ ・ のり



・ ・ けしごむ



・ ・ いす



・ ・ のおと



・ ・ はさみ

2 あります　ありません

a ri ma su
あります



a ri ma se n
ありません



3 かしてください　みせてください

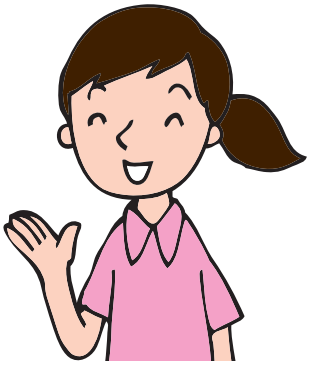
ka shi te ku da sa i
かしてください。



mi se te ku da sa i
みせてください。



ī de su yo
いいですよ。



da me de su
だめです。

i ya de su
いやです。



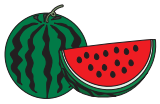
6 だれの　もちものかを　つたえる　／

1 1ねんせい　ですか

			
ねんせい 1年生	ねんせい 3年生	ねんせい 5年生	ねんせい 6年生
6さい	8さい	10さい	11さい

2 これは　なんですか

これは　なんですか

	❶ これは、さかな　です。
	❷
	❸
	❹
	❶これは、にく　ですか。 ●
	❷ ●
	❸ ●
	❹ ●

※❹は、教師が写真や絵を描いたものに答えさせる。

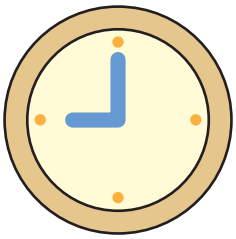
3 おなじです　ちがいます

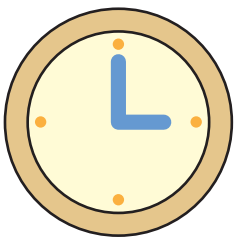
a na ji de su
おなじです。

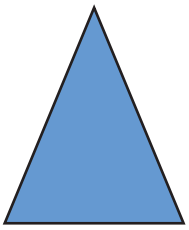


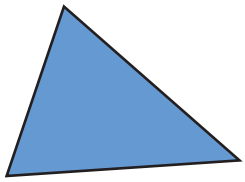
chi ga i ma su
ちがいます。









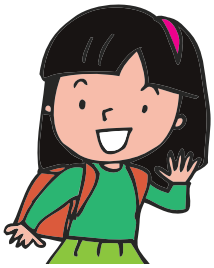


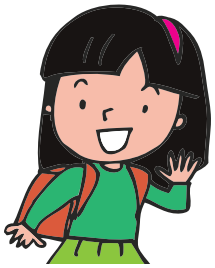


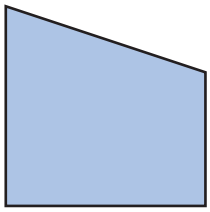


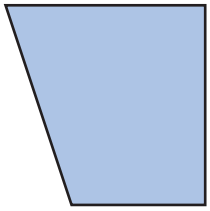
め

ぬ

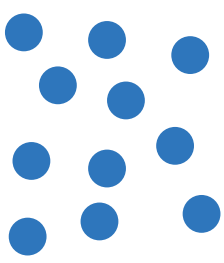












し

つ

4 なまえを おぼえよう

1 です。

2 です。 の べんきょうで つかいます。

3 です。

4 です。

5 です。 の べんきょうで つかいます。

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

ペン
さんかくじょうぎ
セロテープ
ノート
けんばんハーモニカ

クリップ
コンパス
けしごむ
えんぴつ
ピアノ

つくえ
たいそうぎ
いす
のり
クレパス

ゆせいペン
いろえんぴつ
カッター
はさみ
ボール

❶
❷
❸
❹

❺
❻
❼
❽
❾
❿
⓫
⓬
⓭
⓮
⓯
⓰
⓱
⓲
⓳
⓴

5 だれの　ほんですか



④	③	②	①
の	の	の	の
です。	です。	です。	です。

7 じかんを　いう・おねがいする　／

1 すうじ（0から10）

1	いち	1	
2	に	2	
3	さん	3	
4	し／よん	4	
5	ご	5	
6	ろく	6	
7	しち／なな	7	
8	はち	8	
9	く／きゅう	9	
10	じゅう	10	

2 いちにち



a sa
あさ



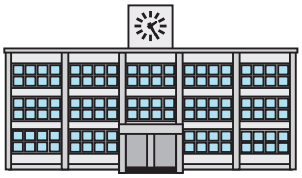
hi ru
ひる



yo ru
よる



i e
いえ



gakkō
がっこう



i ku
いく



ka e ru
かえる

3 ゆっくり　いってください

ka i te ku da sa i
かいてください。



yo n de ku da sa i
よんでください。





yu tt ku ri
ゆっくり

itte ku da sa i
いってください。



mi te ku da sa i
みてください。

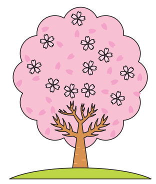


ki i te ku da sa i
きいてください。

8 ひづけと　ようびを　いう

/

1 がっこうの　いちねん

	よみかた		ぎょうじ（がっこう　であること）		
4月	shi ga tsu しがつ	はるやすみ いちがっき	にゅうがくしき	にゅうがくしき 	はる 
5月	go ga tsu ごがつ				
6月	ro ku ga tsu ろくがつ				なつ 
7月	shi chi ga tsu しちがつ			なつやすみ 	
8月	ha chi ga tsu はちがつ	なつやすみ			
9月	ku ga tsu くがつ	にがっき			あき 
10月	jū ga tsu じゅうがつ			うんどうかい 	
11月	jū i chi ga tsu じゅういちがつ				
12月	jū ni ga tsu じゅうにがつ	ふゆやすみ			ふゆ 
1月	i chi ga tsu いちがつ	さんがっき		そつぎょうしき 	
2月	ni ga tsu にがつ				
3月	sa n ga tsu さんがつ		そつぎょうしき		

日 にち ようび	月 げつ ようび	火 か ようび	水 すい ようび	木 もく ようび	金 きん ようび	土 ど ようび
	1 ついたち	2 ふつか	3 みっか	4 よっか	5 いつか	6 むいか
7 なのか	8 ようか	9 ここのか	10 とおか	11 じゅういち にち	12 じゅうに にち	13 じゅうさん にち
14 じゅうよっか	15 じゅうよご にち	16 じゅうろく にち	17 じゅうしち にち	18 じゅうはち にち	19 じゅうく にち	20 はつか
21 にじゅういち にち	22 にじゅういち にち	23 にじゅうさん にち	24 にじゅう よっか	25 にじゅうご にち	26 にじゅうろく にち	27 にじゅうしち にち
28 にじゅうはち にち	29 にじゅうく にち	30 さんじゅう にち	31 さんじゅういち にち			

2　なんがつ　なんにちですか

○　きょうは、なんがつ　なんにち　ですか。

○　きょうは、なんようび　ですか。

○　あしたは、なんがつ　なんにち　ですか。

○　あしたは、なんようび　ですか。

3　たんじょうび

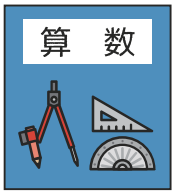
たんじょうびは　なんがつ　ですか。
たんじょうびは　なんがつ　なんにち　ですか。

なまえ	たんじょうび

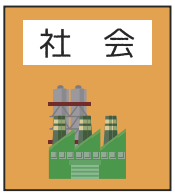
9 じかんわりを　せつめいする　／

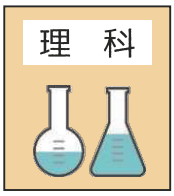
1 じかんわり



























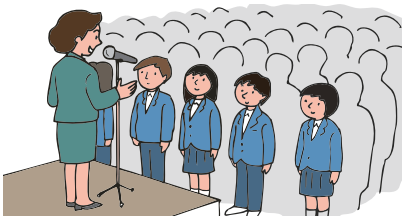
	月	火	水	木	金
1					
2					
3					
4					
5					
6					

2　がっこう　せいかつ

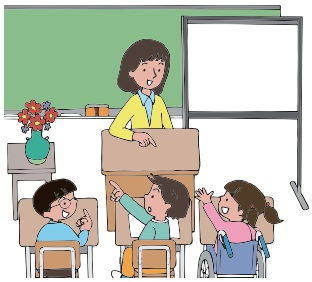
登校



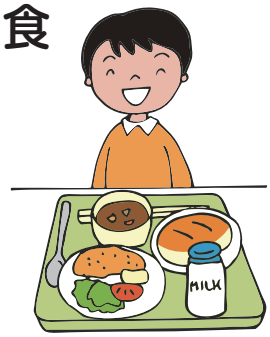
朝の会



授業

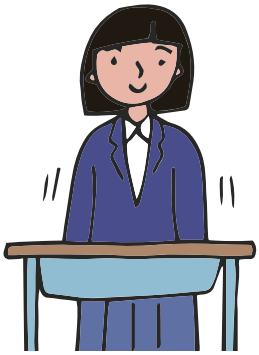


給食



掃除





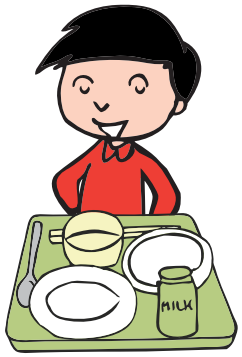
ki　ri　tsu
きりつ



re　i
れい



i　ta　da　ki　ma s(u)
いただきます

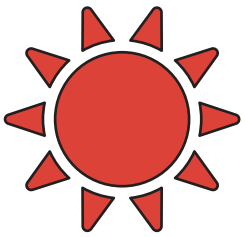


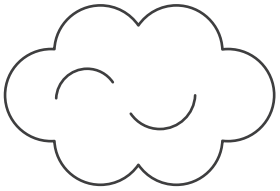
go chi　sō　sa ma
ごちそうさま

10 かこの　ことを　はなす

／

1 てんき

はれ 

くもり 

あめ 

ゆき 

2 はれです

○ きょうは(wa)、なんがつ　なんにち　ですか。

きょうは、　　です。

○ きょうは(wa)、なんようび　ですか。

きょうは、　　ようびです。

○ きょうの、てんきは、なんですか。

きょうは、　　です。

○ きのうは(wa)、なんがつ　なんにち　でしたか。

きのうは、　　がつ　　にち　　でした。

○ きのうは(wa)、なんようび　でしたか。

　　は、　　ようびでした。

○ きのうの、てんきは(wa)、なんでしたか。

　　は、　　でした。

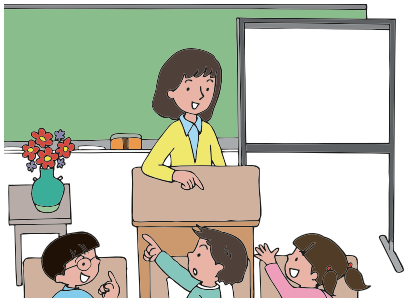
○ きのうは(wa)、あめでしたか。(はい・いいえ) きのうは(wa)、(あめでした。・あめではありませんでした。)

　　、きのうは、

11 ばしょを　きく

／

1 ばしょの　なまえ



kyō　shi tus
きょうしつ



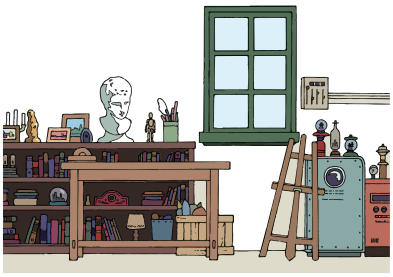
kō　chō　shi tus
こうちょうしつ



sho　ku　i　n　shi tsu
しょくいんしつ



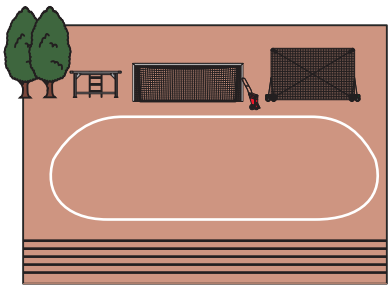
o　n　ga　ku　shi tsu
おんがくしつ



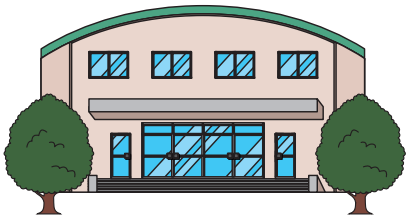
zu　kō　shi tus
ずこうしつ



to　sho　shi tsu
としょしつ



kō　tē
こうてい



ta　ī　ku　ka　n
たいいくかん

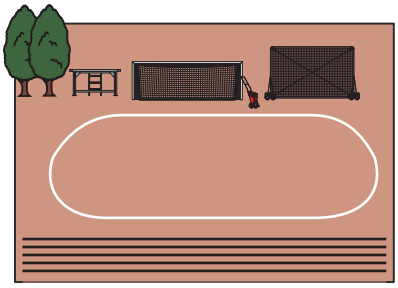


ho　ke　n　shi tsu
ほけんしつ

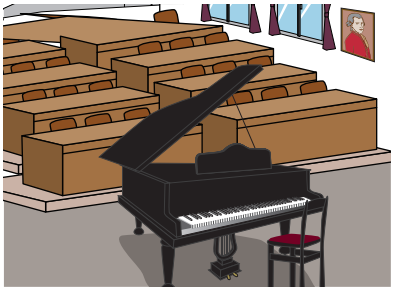


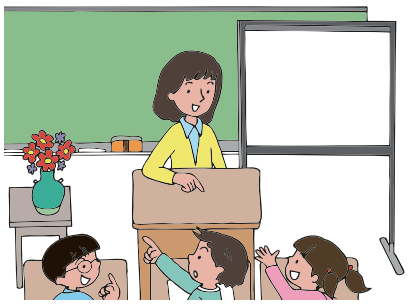
pū　ru
ぷうる

2 どこですか

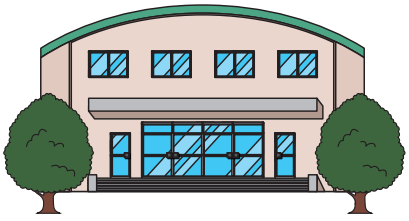






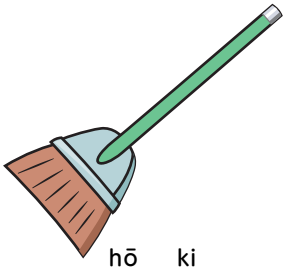




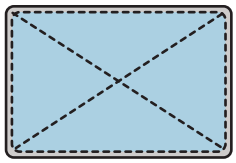


12 いるもの・できることを　はなす　／

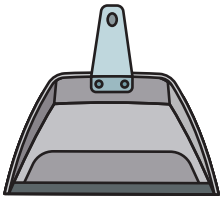
1 いるもの



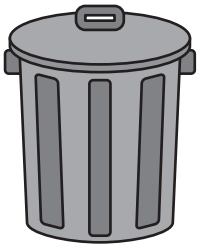
hō　ki
ほうき



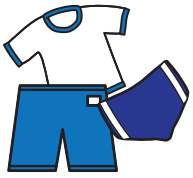
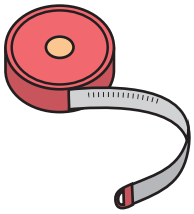
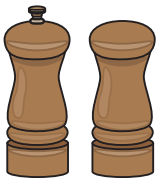
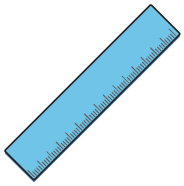
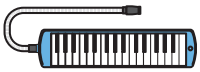
zō　ki　n
ぞうきん



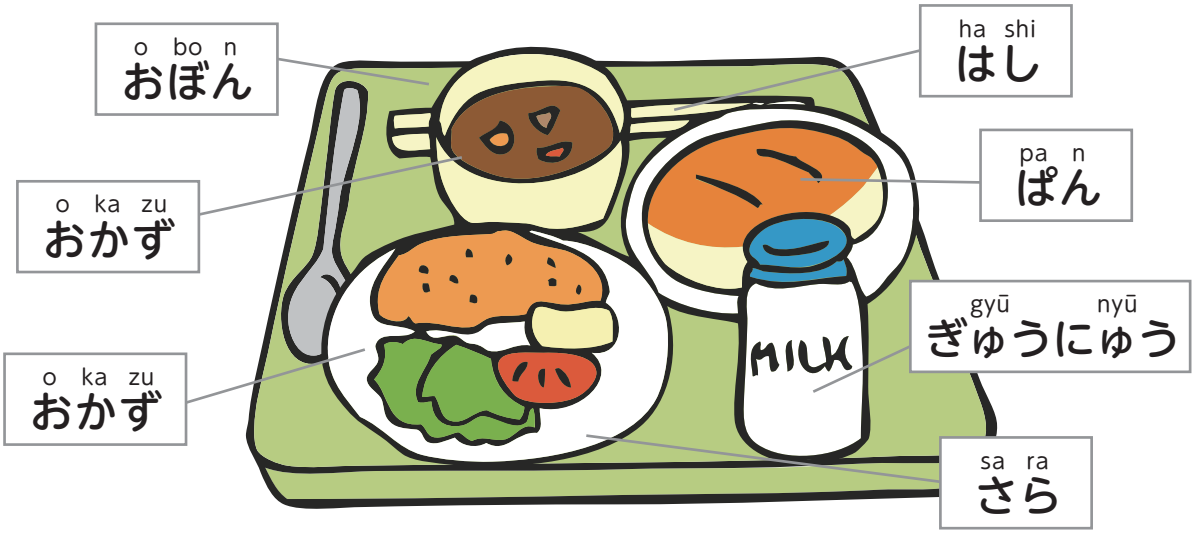
chi　ri　to　ri
ちりとり



go　mi　ba　ko
ごみばこ

①					
②					
③					

2 きゅうしょく

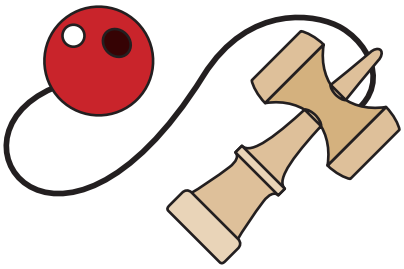


3 できます





けんだま



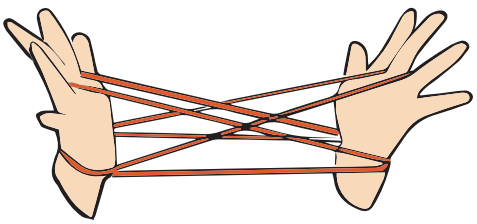
できます　できました

おてだま



できます　できました

あやとり

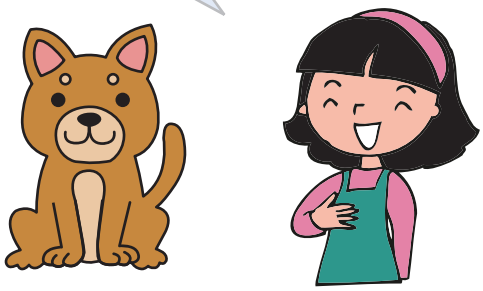


できます　できました

13 すきなもの・ことを　はなす　／

1 すきなもの

wa ta shi wa　i nu ga　su ki de su
わたしは、いぬが　すきです。

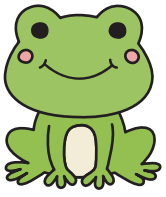


wa ta shi wa　he bi ga　ki ra i de su
わたしは、へびが　きらいです。

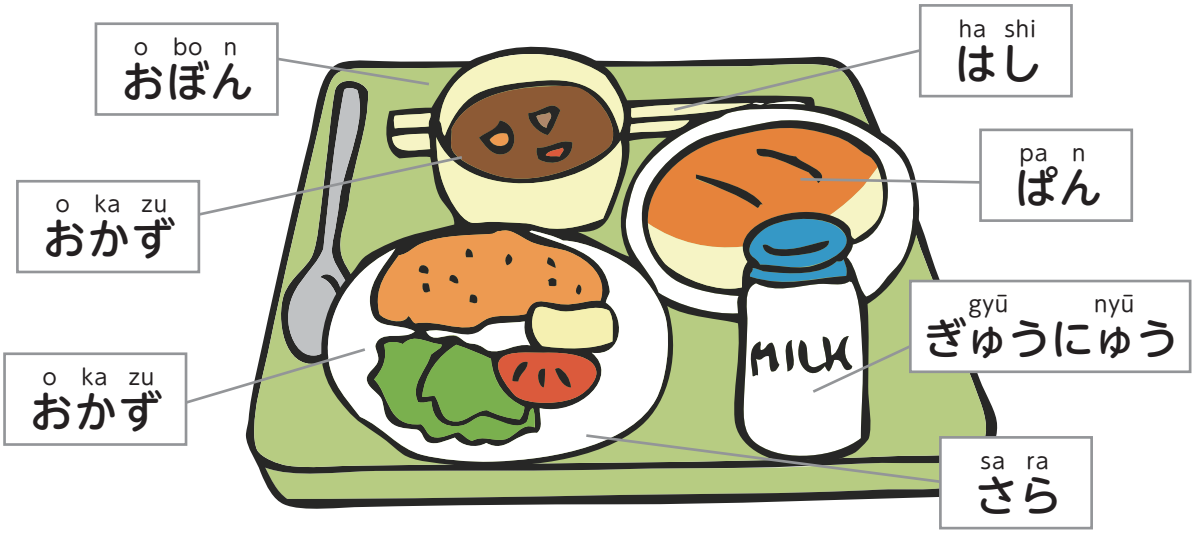
i ya de su
いやです。



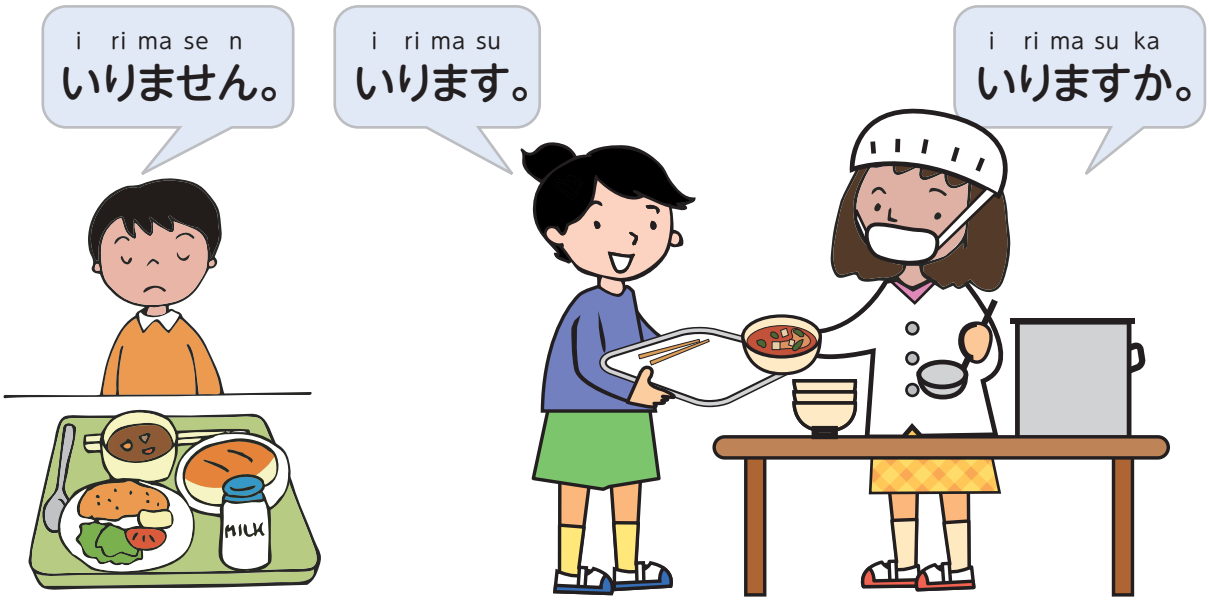
どうぶつ

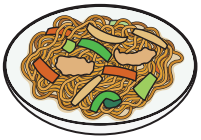
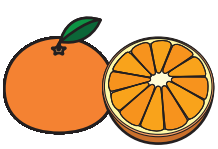
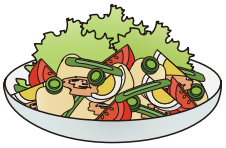
 i nu いぬ	 ne ko ねこ	 ku ma くま	 sa ru さる
すきです きらいです	すきです きらいです	すきです きらいです	すきです きらいです
 ri su りす	 ne zu mi ねずみ	 he bi へび	 ka e ru かえる

2 きゅうしょく



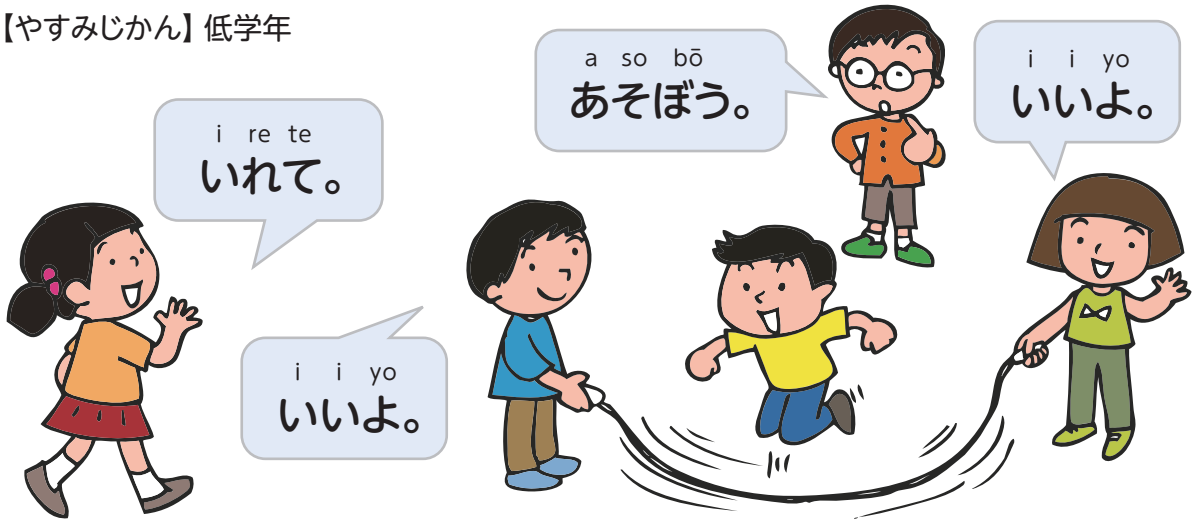
3 いります　いりません



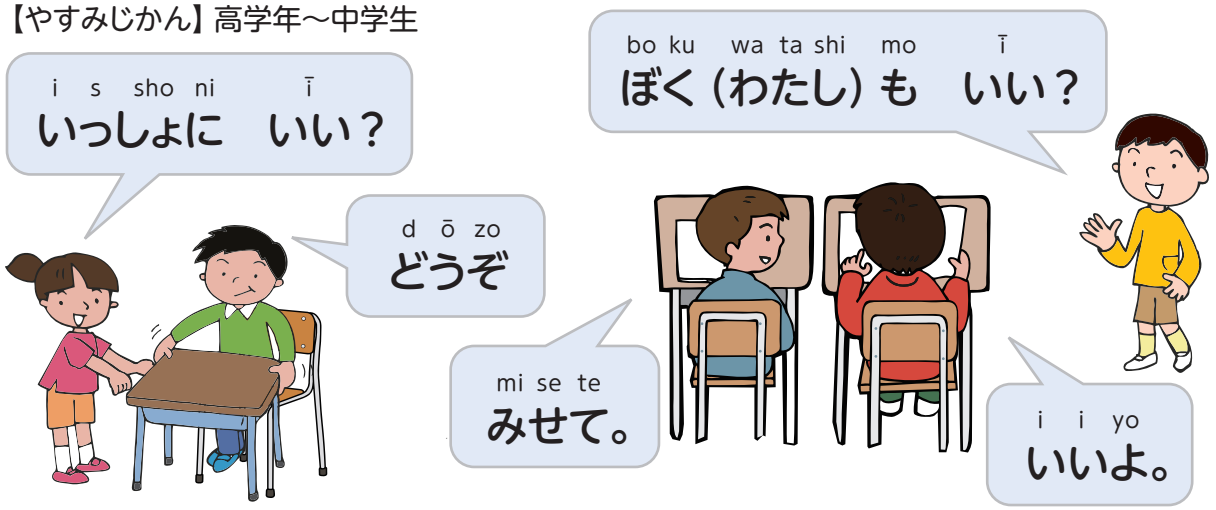
やきそば	みかん	カレー	サラダ
			
いります いりません	いります いりません	いります いりません	いります いりません

4 すぽおつ・あそび

【やすみじかん】低学年



【やすみじかん】高学年～中学生



すきな ものに ○を しましょう。



sa kkā
さっかあ
（サッカー）



ba su ketto bō ru
ばすけっとぼおる
（バスケットボール）



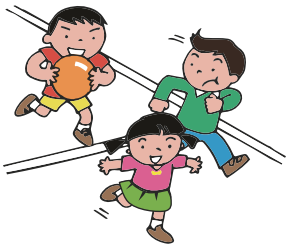
ba rē bō ru
ばれえぼおる
（バレーボール）



ya kyū
やきゅう



su i ē
すいえい



dojji bō ru
どっちぼおる



na wa to bi
なわとび



o ni go k ko
おにごっこ

5 すきです

なんですか。

わたしは、［　　］です。／わかりません。

［　　］がすきです。

どうぶつ
きりん
とんぼ
うま
りす
かえる
しか
うし
かぶとむし
いぬ
ねこ
そのほかの　どうぶつは？

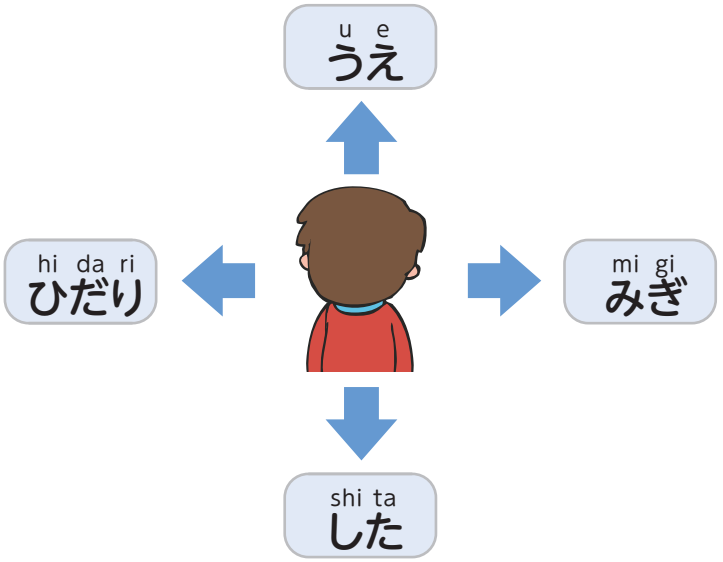
あなたは、なにが　すきですか。
インタビュー（いんたびゅう）しよう。

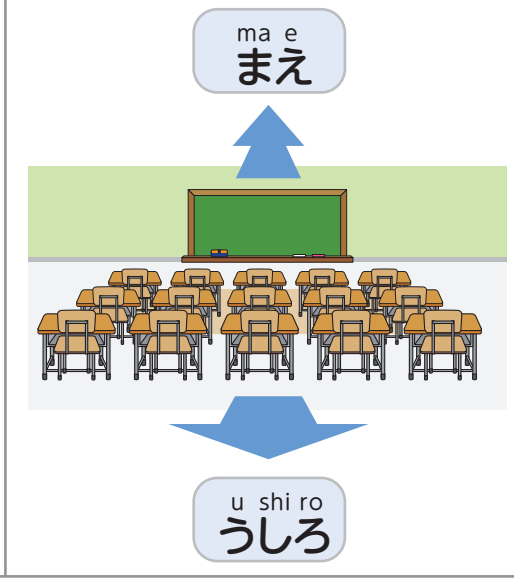
さん		
さん		
さん		

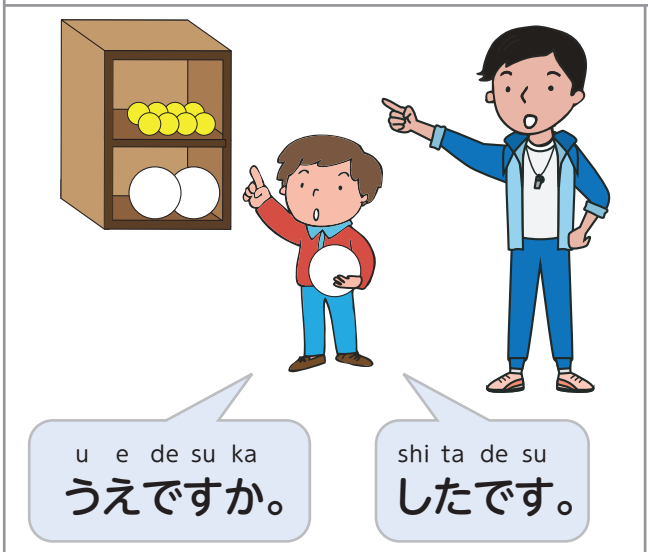
14 いちを　せつめいする

／

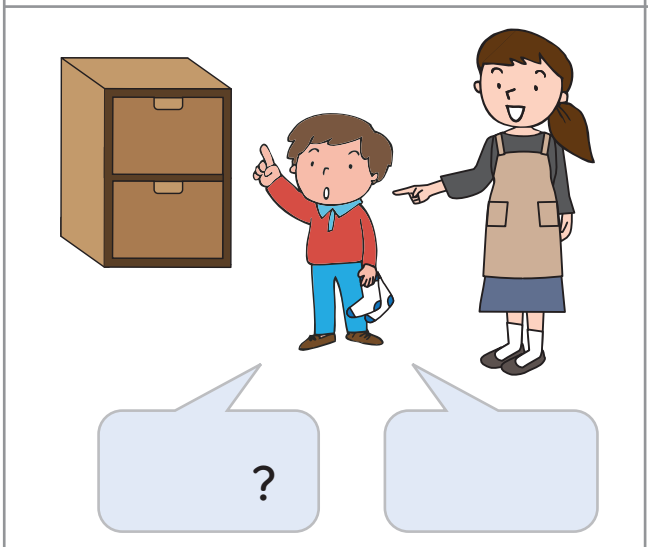
1 いち

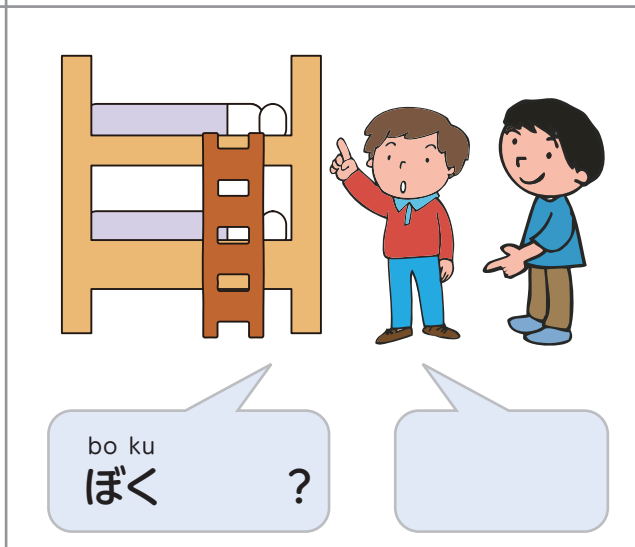






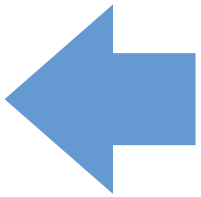


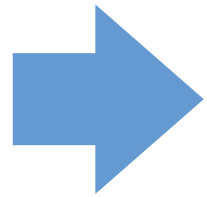




2 うえ？ した？ みぎ？ ひだり？







( ) ( )

( ) ( )

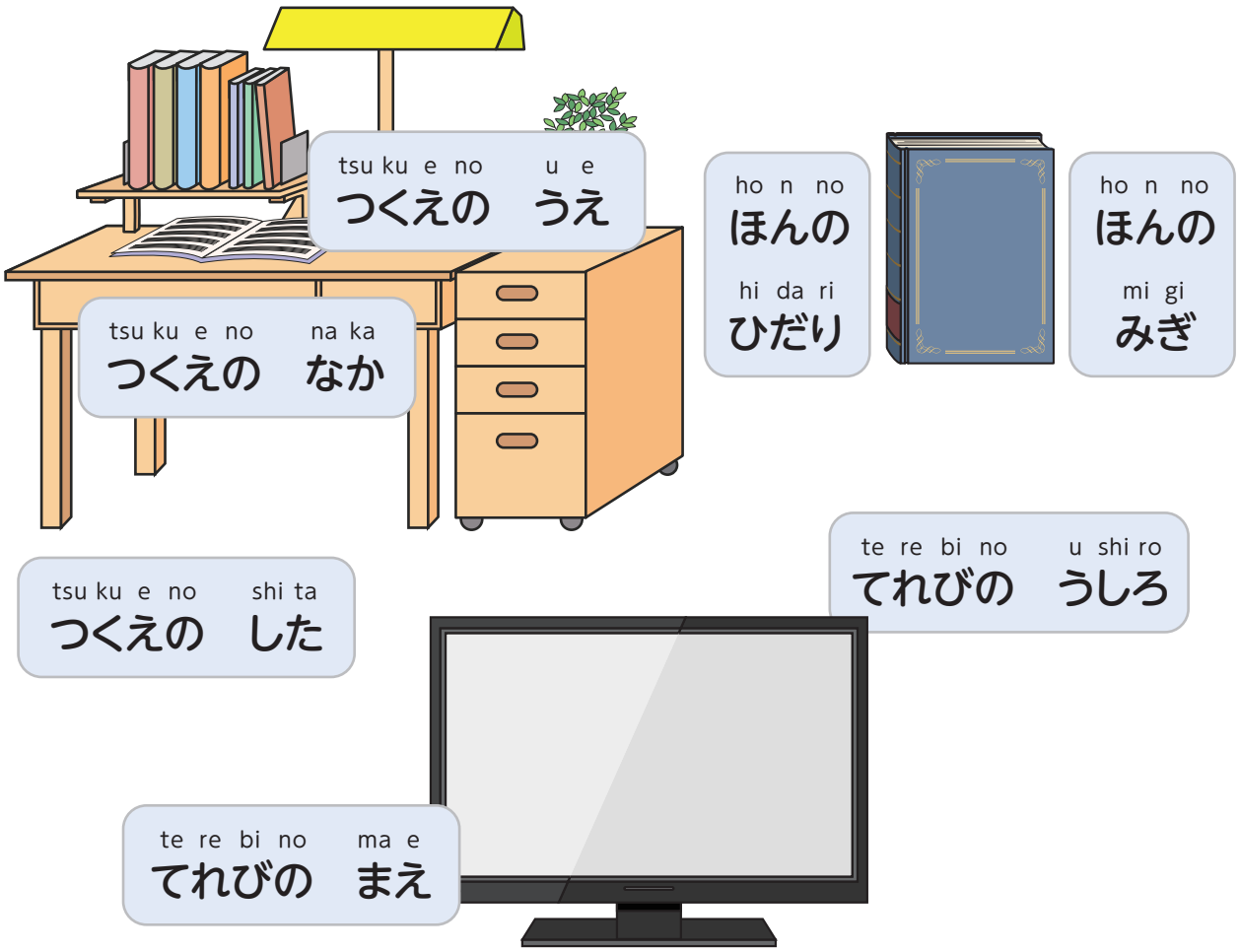
( ) ( )

( ) ( )

( ) ( )

( ) ( )

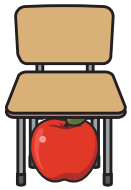
3　うえ？　なか？

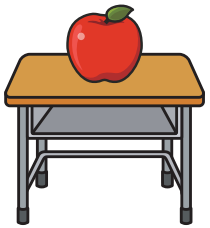


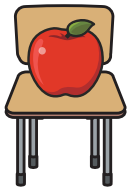
どこに　あるかな？

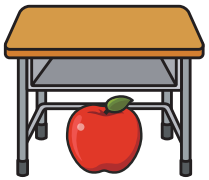
1. つくえ　の　うえ。
2. 　　の　した。
3. 　　の
4. 　　の
5. 　　の
6. 　　の

うえ、した、みぎ、ひだり、まえ、うしろ、そと、なか





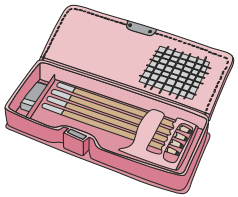


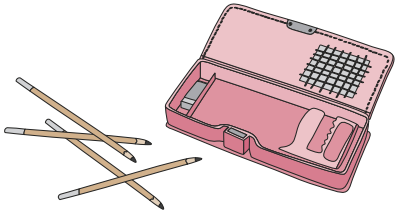


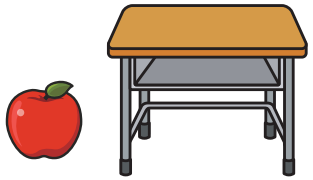
つくえの　した

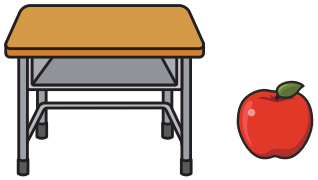




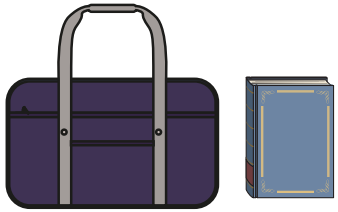












15 そんざいを　せつめいする

／

1 います　あります



2 にほんと　わたしの　くに

にほんに　おすもうさんが　います。

とうきょうに　スカイツリーが　あります。

16 じかんと こうどうを せつめいする

1 はしります・あるきます



はしります



あるきます



たちます



すわります



ねます



おきます



あそびます



やすみます



わらいます



おこります



なきます



うたいます



2　てを　あらいます・ごはんを　たべます



てをあらいます。



ごはんをたべます。



みずをのみます。



にほんごを
べんきょうします。



ほんをよみます。



えをかきます。



テレビをみます。



おんがくをききます。



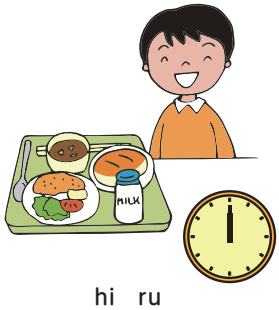
17 にっかを　せつめいする

／

1　7じに　おきます



a sa
あさ



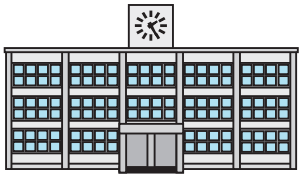
hi ru
ひる



yo ru
よる



i e
いえ



gākkō
がっこう



i ku ma su
いきます



ka e ri ma su
かえります

7じに　おきます。
8じに　がっこうに　いきます。
12じに　ごはんを　たべます。
4じに　いえに　かえります。
9じに　ねます。

わたしは・・・

2 みに　つける　もの



くつした



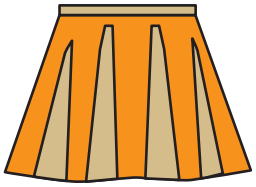
しゃつ



ぱんつ



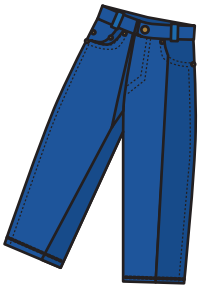
じゃけっと
うわぎ・ジャケット



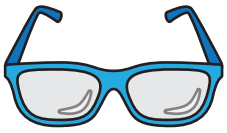
すかーと
スカート



ぼうし



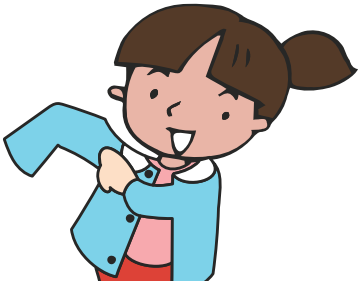
ずぼん
ズボン



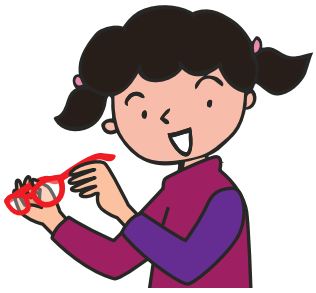
めがね



ずぼんを　はきます



ふくを　きます



めがねを　かけます



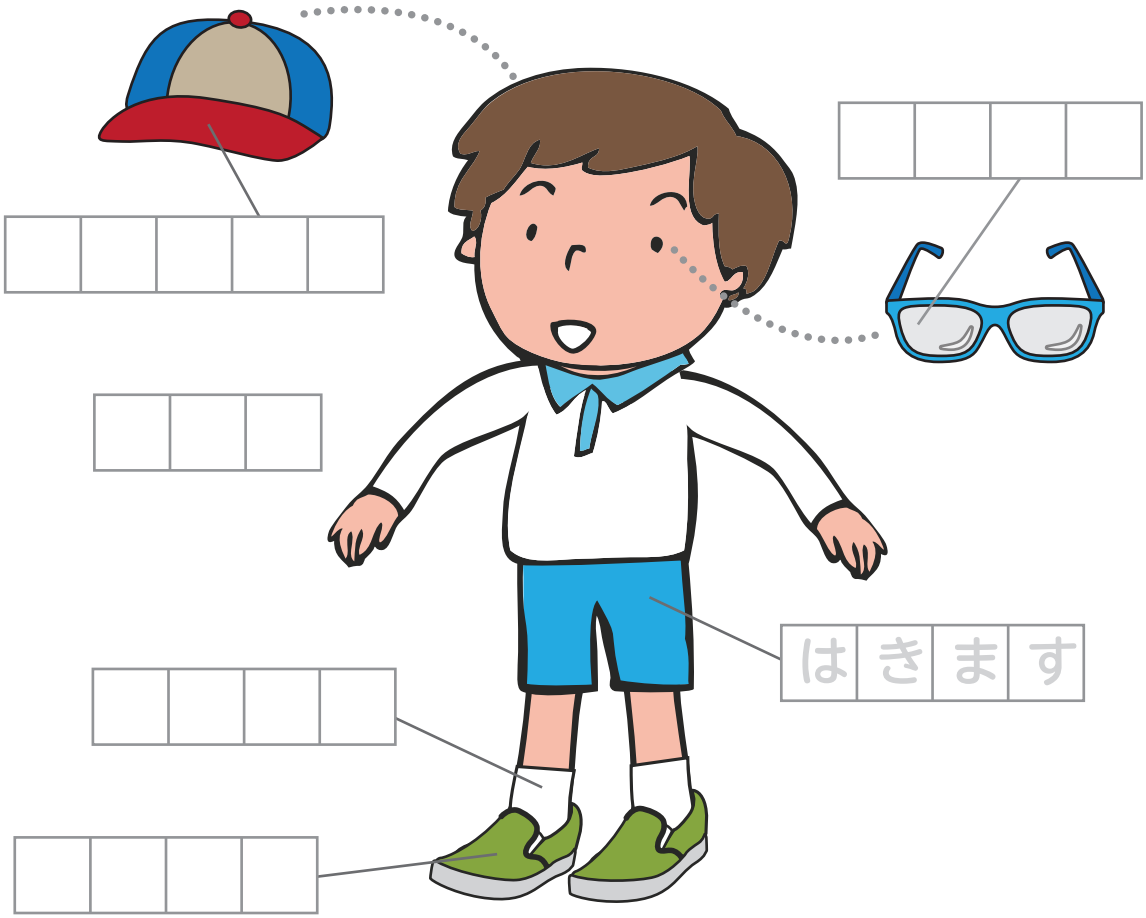
くつを　はきます



ぼうしを　かぶります



手ぶくろを　します



○ ぼうしを　　かぶります。

○ ズボンを

○

○

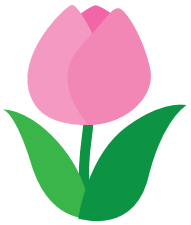
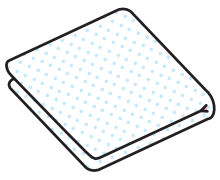
○

○

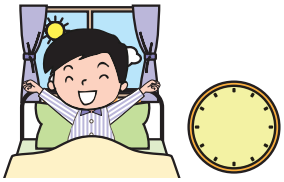
18 かこの　こういを　はなす

／

1 いろ

あか ○	あかいぼうし 	ピンク ○	ピンクのはな 
あお ○	あおいふく 	みどり ○	みどりのふく 
きいろ ○	きいろいぼうし 	みずいろ ○	みずいろのくつ 
くろ ○	くろいくつ 	ちゃいろ ○	ちゃいろいくつ 
しろ ○	しろいハンカチ 	（　　） ○	（　　）

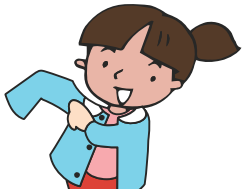
2　あさの　できごと



何時に　　おきましたか。

わたしは、　　に　　おきました。

何をしましたか。（○ました。・○ませんでした。）



どんな　いろの　ふくを　きましたか。

●



●



●

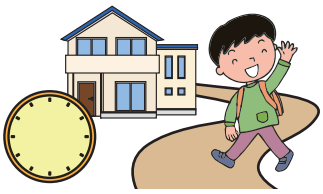


●



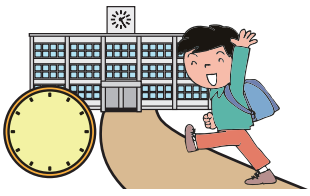
どんな　いろの　くつを　はきましたか。

●



なんじに　なにを　しましたか。

●　　じに　　ました。



なんじに　なにを　しましたか。

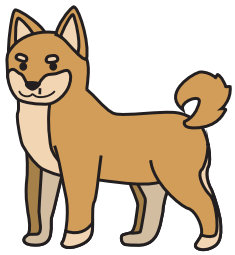
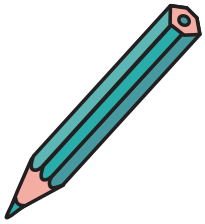
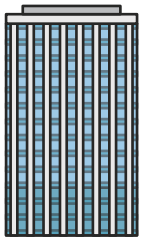
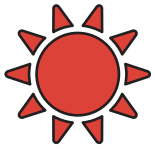
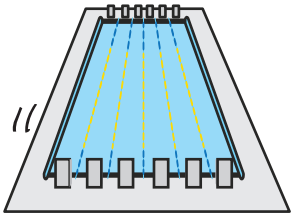
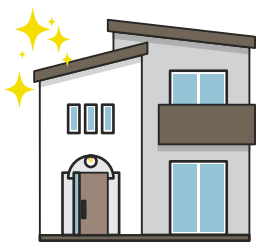
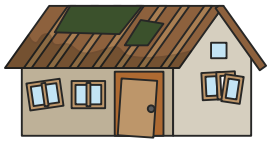
●

ねます　おきます　ごはんをたべます　ふくをきます　はをみがきます　はきます
ぬぎます　あらいます　（家を出ます・学校へいきます・家へ帰ります。）

19 ようすを　せつめいする

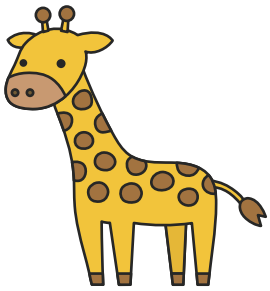
／

1 おおきいです・ちいさいです

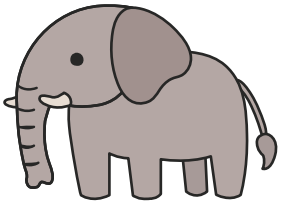
おおきい 	ちいさい 	ながい 	みじかい 
たかい 	ひくい 	あおい 	すくない 
いい/よい 	わるい 	ひろい 	せまい 
あつい 	さむい 	おいしい 	まずい 
あたらしい 	ふるい 	おもい 	かるい 

2 おおきくないです・ちいさくないです

どうですか。（○いです。・○くないです。）







ぞうは、　おおきいです。

そうのはなは、　ながいです。

うさぎは、

うさぎのみみは、

きりんは、

きりんのくびは、

（○くないです。）



- あついですか。
- あつくないです。



- わるいですか。
-



- ちいさいですか。
-



- おもいですか。
-

20 きもちを　つたえる

／

1 うれしいです・かなしいです


（　　）


（　　）


（　　）


（　　）


（　　）


（　　）


（　　）


（　　）



（　　）



（　　）


（　　）


（　　）


（　　）


（　　）


（　　）

（　　）

うれしい　かなしい　おもしろい　つまらない　はずかしい

さびしい　くやしい　こわい　むずかしい　やさしい

いそがしい　くるしい　つらい　うつくしい　やさしい

2 どうでしたか

	（こわい）	 768+0.47=	（むずかしい）
	こわかった		
	（くるしい）		（おもい）

～い	～くない	～かった	～くなかった
おもしろい	おもしろくない	おもしろかった	おもしろくなかった
こわい			
いそがしい			
さびしい			
おおきい			
おいしい			

21 ねだんを　きく

／

1 かいもの

おみせの　ひと　　かう　ひと



2 すうじ（100から）

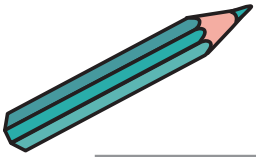
★100以上（いじょう）の数（かず）を正（ただ）しく言（い）えるようにしましょう。

100	ひゃく	1000	せん	10000	いち　まん
200	に　ひゃく	2000	に　せん	20000	に　まん
300	さん　びゃく	3000	さん　ぜん	30000	さん　まん
400	よん　ひゃく	4000	よん　せん	40000	よん　まん
500	ご　ひゃく	5000	ご　せん	50000	ご　まん
600	ろっ　ぴゃく	6000	ろく　せん	60000	ろく　まん
700	なな　ひゃく	7000	なな　せん	70000	なな　まん
800	はっ　ぴゃく	8000	はっ　せん	80000	はち　まん
900	きゅう　ひゃく	9000	きゅう　せん	90000	きゅう　まん

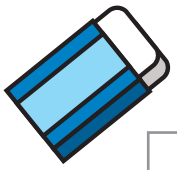
★100以上の数の正しい言い方を、ひらがなで書こう。

100		1000		10000	
200		2000		20000	
300		3000		30000	
400		4000		40000	
500		5000		50000	
600		6000		60000	
700		7000		70000	
800		8000		80000	
900		9000		90000	

「〇を〇こ（〇ほん・〇まい）ください。」「いくらですか。」「〇円です。」



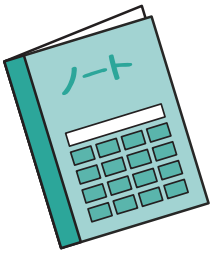
50円



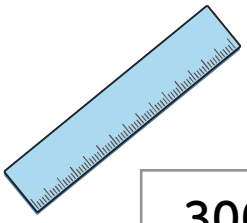
90円



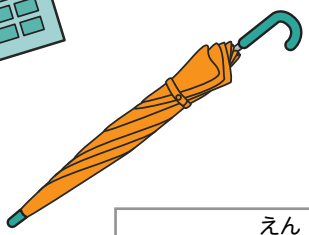
400円



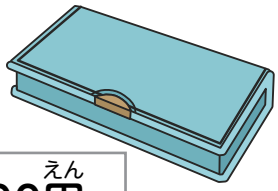
150円



300円



1000円



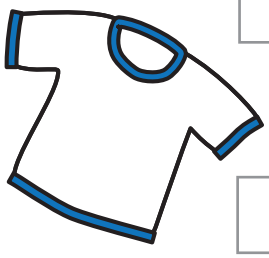
800円



100円



3600円

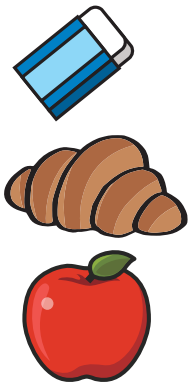
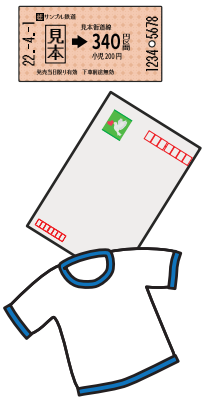


1980円

ノートは、1さつ・2さつ
くつは、1そく・2そく

〇を（〇こ・〇ほん・〇まい……）ください。

- けしごむを　2こ　ください。

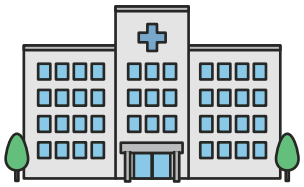
					
1	ひゃくえん	せんえん	いっこ	いっぽん	いちまい
2	にひゃくえん	にせんえん	にこ	にほん	にまい
3	さんびゃくえん	さんぜんえん	さんこ	さんぼん	さんまい
4	よんひゃくえん	よんせんえん	よんこ	よんほん	よんまい
5	ごひゃくえん	ごせんえん	ごこ	ごほん	ごまい
6	ろっぴゃくえん	ろくせんえん	ろっこ	ろっぽん	ろくまい
7	ななひゃくえん	ななせんえん	ななこ	ななほん	ななまい
8	はっぴゃくえん	はっせんえん	はちこ	はっぽん	はちまい
9	きゅうひゃくえん	きゅうせんえん	きゅうこ	きゅうほん	きゅうまい
10	せんえん	いちまんえん	じっこ	じっぽん	じゅうまい

22 いきかた・こうどうを せつめいする ／

1 ばしょ



がっこう



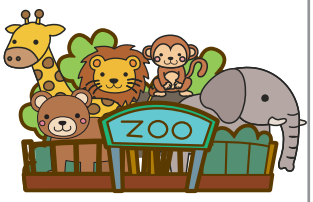
びょういん



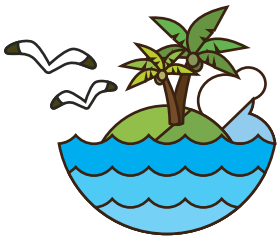
スーパーマーケット



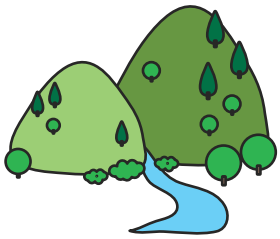
こうえん



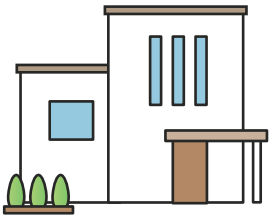
どうぶつえん



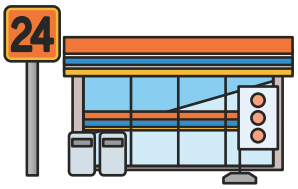
うみ



やま



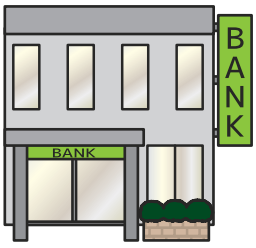
いえ



コンビニ



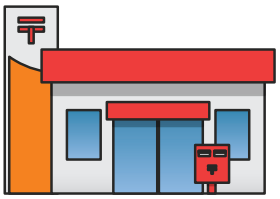
レストラン



ぎんこう

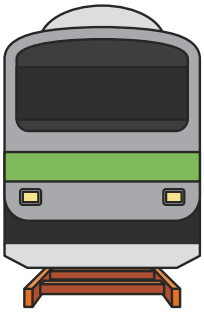
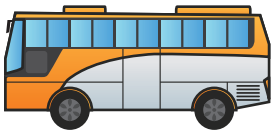
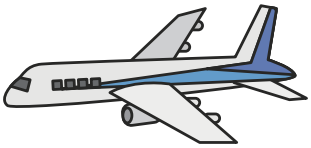
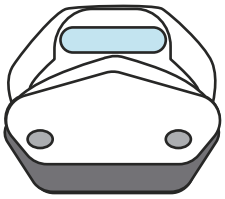
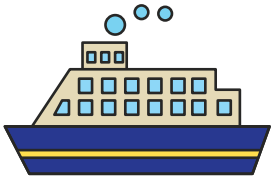
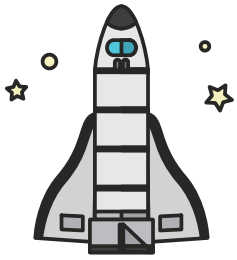
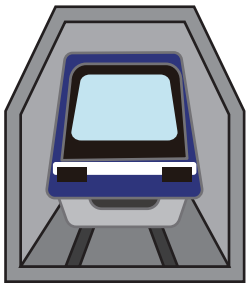


えき



ゆうびんきょく

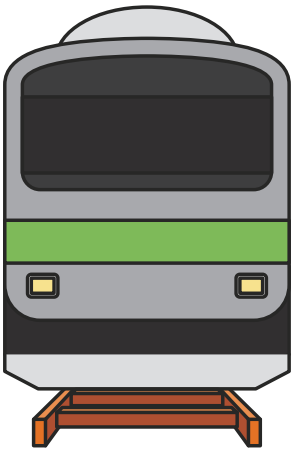
2 のりもの

 じてんしゃ	 でんしゃ	 くるま	 バス
 タクシー	 ひこうき	 しんかんせん	 ふね
 ロケット	 あるいて	 はしって	 ちかてつ

3 ○は、○で　○に　いきます。

おにいさんは、でんしゃで　がっこうに　いきます。





で



に

は

いきます。

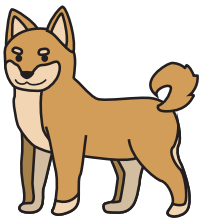
わたしは、でんしゃでがっこうにいきます。

23 がんぼう・きぼうを　いう

／

1 ○が　ほしいです



1 かばん	2 犬	3 本	4 スマホ	5 サッカーボール
				

1　たんじょうびに　　が　ほしいです。

2

3

4

5

2　〇に　いきたいです

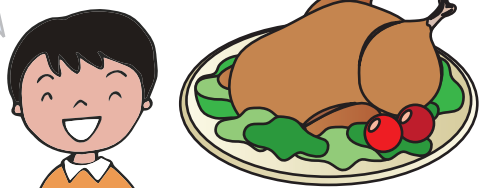
＿＿＿＿＿＿＿に
いきたいです。







＿＿＿＿＿＿＿が
たべたいです。



＿＿＿＿＿＿＿が
みたいです。



に、　いきたいです。

が、　見たいです。

が、　食べたいです。

24 よていに　ついて　しつもんする　／

1 いろいろな　ぎょうじ



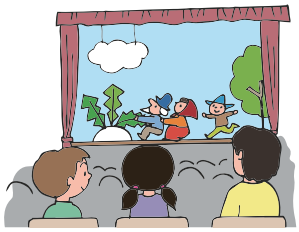
えんそく



しゃかいか
けんがく



いどうきょうしつ
しゅうがくりょこう

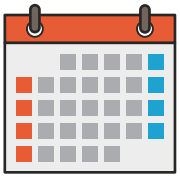


えんげきかんしょうかい
がくげいかい

2 いつですか

いつ ですか。





だれと いきますか。

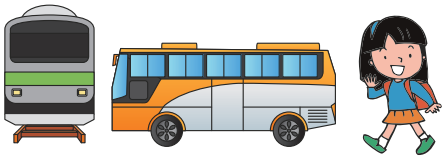




どこに いきますか。

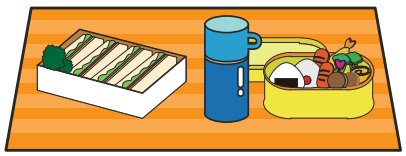


なにで いきますか。



もちもの は、　なんですか。

べんとう・すいとう



しきもの

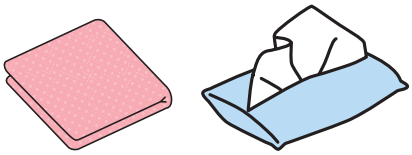
おやつ



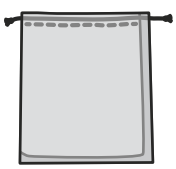
あまぐ

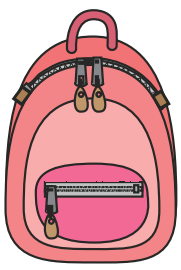


ハンカチ・ティッシュ



エチケットぶくろ





リュックサック

3　えんそくの　しおり



3年生　遠足のしおり

日時：11月11日（木）

場所：東京遊園地

引率の先生（いっしょに行く先生）

校長先生・○○先生・○○先生

- 学校集合：8時15分
  8時30分にバスに乗ります
- 学校解散：15時30分

持ち物

リュックサック・弁当・水とう

おやつ

エチケットぶくろ・雨具

しきもの・ハンカチ・ティッシュ

いつ　行きますか。	
どこに　行きますか。	
なにで　行きますか。	
だれと　行きますか。	
いつ　行きますか。	
学校へ何時に来ますか。	
学校へ何時に帰りますか。	
持ち物は、何ですか。	

4 こうがいがくしゅう

校外学習（こうがいがくしゅう）に　出（で）かけます。

月（がつ）　日（にち）、

［　　］へ　いきます。

学校（がっこう）の　外（そと）で、たのしく　べんきょうします。

遠足（えんそく）

社会科見学（しゃかいかけんがく）

生活科見学（せいかつかけんがく）

移動教室（いどうきょうしつ）

もちもの

おべんとう　すいとう　しきもの　ごみぶくろ

ふでばこ　しおり　リュックサック　おやつ

はんかち　ティッシュ（ちりがみ）

あつまる時間（　　）

わからない　ことは　先生（せんせい）に　ききましょう。

あしたは　楽(たの)しい　えんそく

ふくそう



もちもの



25 しっていることを　しょうかいする　／

1　にほんの　「はる」「なつ」「あき」「ふゆ」

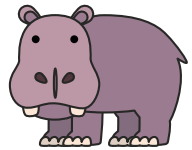
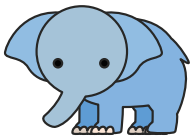
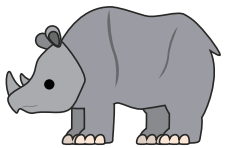
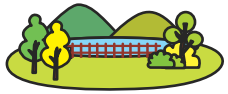
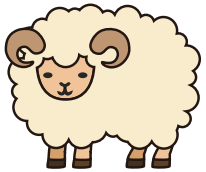
きせつ	がっこうのぎょうじ	みんなのあそび	おいしいたべもの
はる			
なつ			
あき			
ふゆ			

2　わたしの　くにの　「はる」「なつ」「あき」「ふゆ」

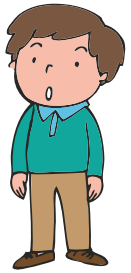
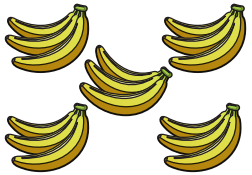
きせつ	がっこうのぎょうじ	みんなのあそび	おいしいたべもの
はる			
なつ			
あき			
ふゆ			

◆6 はんたいの いみの ことば

1 はんたいの ことばを かきましょう（A）

(れい)	1	2	3	4	5	6
						
おもい	ながい	○○○○	たかい	○○○	はやい	あつい
↕	↕	↕	↕	↕	↕	↕
						
かるい	○○○	ちいさい	○○○	よわい	○○○	○○○

2 はんたいの ことばを かきましょう（B）

(れい)	1	2	3	4	5	6
						
まえ	○○	○○○	みぎ	おおい	たつ	かるい
↕	↕	↕	↕	↕	↕	↕
						
○○	した	みじかい	○○○	○○○○	○○○	○○○

◆8 にっきを　かこう

／

1 いちぎょうさくぶん

一行作文（いちぎょうさくぶん）

（　　）

（習った漢字や言葉を使って文を作ったり、日記を書いたりします。）

（使い方例）

窓	窓を開けて、空気の入れかえをする。
不安	家に一人でいると不安になる。
ほっと	お母さんが、帰ってきてほっとした。
ようやく	宿題が、ようやく終わった。
9月8日	こうていでサッカーをした。友だち5人であそんだ。
9月9日	きょうの給食は、きなこあげぱんととんじるだった。おいしかった。
～たり～たり	きょうは、友達と勉強したり遊んだりして楽しかった。

一行作文（いちぎょうさくぶん）

（　　）

2 日記を書こう

なまえ（　　）

いつ？（きのう、にちようび…など）

どこで？（こうていで、がっこうで、いえで…など）

だれと？（友だちと、おかあさんと、先生と…など）

なにをした？（おにごっこをした…など）

どうだった？（おにになってつかれた。楽しかった。…など）

さあ、ぶんをかいてみよう。

◆9 かんさつ　カードを　かこう

／

1 様子(ようす)を　表(あらわ)す　言葉(ことば)を　使(つか)って　文(ぶん)を　作(つく)ろう

なまえ（　　）

（　ぼくの　消しゴム　）は（　　）です。

（　先生の　消しゴム　）は（　　）です。

（　　）は（　　）です。

（　　）は（　　）です。

（　　）は（　　）です。

（　　）は（　　）です。

（　　）は（　　）です。

（　　）は（　　）です。

（　　）は（　　）です。

（　　）は（　　）です。

（　　）は（　　）です。

（　　）は（　　）です。

（　　）は（　　）です。

2 観察（かんさつ）　カード　（　　）

月（がつ）　日（にち）（　　）曜日（ようび）　天気（てんき）　気温（きおん）　度（ど）

観察（かんさつ）した　もの

【　　】

色（いろ）	形（かたち）
大（おお）きさ	

気付（きづ）いたこと・思（おも）ったこと

参考

言葉のルールについて

1 「わ」と「は」、「お」と「を」、「え」と「へ」

一　ただしい　ものに　○を　つけましょう。

❶ わたし［わ・は］　こうえん［へ・え］　おとうさん［を・お］　さがしに　いった。

❷ ぼく［わ・は］　かわ［へ・え］　いき　さかな［を・お］　とりました。

❸ 鰐［わ・は］　に　い［わ・は］　に　います。　こ［わ・は］　い　です。

❹ たろうくん［わ・は］　にもつ［を・お］　もつ。

❺ ［わ・は］　たしの　なまえ　［わ・は］　山田（やまだ）　花子（はなこ）です。

二　□の　なかに　ただしい　もじを　かきましょう。

❶ ライオン［　］　どうぶつ　です。

❷ うた［　］　うたいます。

❸ こうえん［　］　いって［　］　お［　］　かきましょう。

❹ ほん［　］　かいに　ほんやさん［　］　いきます。

❺ おかあさん［　］　りょうり［　］　つくります。

一　ただしい　ものに　○を　つけましょう

❶〔　　〕じぶん　　〔　　〕ぢぶん

❷〔　　〕かんじ　　〔　　〕かんぢ

❸〔　　〕はなじ　　〔　　〕はなぢ

❹〔　　〕みかずき　　〔　　〕みかづき

❺〔　　〕ちじむ　　〔　　〕ちぢむ

❻〔　　〕おこづかい　　〔　　〕おこずかい

❼この本の［つずき／つづき］を［お／を］はやく　よみたい。

❽この本は［とても／わ］［むずかしい／むづかしい］ので［すこしずつ／すこしづつ］読んでいる。

❾へや［お／を］きれいに［かたづける。／かたずける。］

二　のばす

「あ」のだん→「あ」をつける。
「い」のだん→「い」をつける。
「う」のだん→「う」をつける。
「え」のだん→「え」をつける。
「お」のだん→「う」をつける。
★とくべつ「お」→「お」そのまま

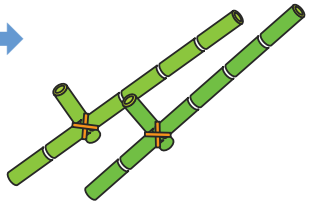
❶おか□□さん　⬅
❷おに□□さん　⬅
❸ふ□□　⬅
❹け□□　⬅
❺ろ□□　⬅
❻お□□□　⬅

❼ちょ□□□さ
❽ぶ□□さ
❾りょ□□さ
きゅ□□さ

参考　あわせ　ことば

1　名まえことば＋名まえことば

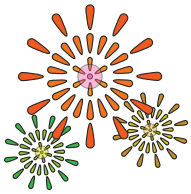
(1) たけ＋うま ➡



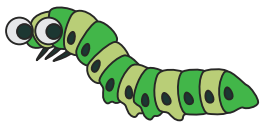
(2) ゆき＋だるま ➡



(3) はな＋火 ➡



(4) 青い＋虫 ➡



2　うごくことば＋名まえことば

(1) とぶ＋はこ ➡



(2) 山＋のぼる ➡



(3) 虫＋とる ➡

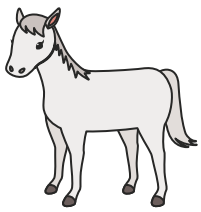


(4) 物＋語る ➡



3　れんしゅう

(1) 白い＋馬 ➡



(2) もつ＋上げる ➡



ふたつの 漢字(かんじ)で できた 言葉(ことば)

名まえ（　　）

一 □から関係のある漢字を組み合わせて、漢字二字の言葉を作りましょう。

① 手（　）	② 身（　）	③ 河（　）	④ 図（　）	⑤ 手（　）	⑥ 金（　）	⑦ 田（　）	⑧ 風（　）	⑨ 品（　）	⑩ 場（　）
足（　）									

体	足	銀	畑	山	所	物	雨	川	画

二 反対の意味になる漢字を◎に入れ、二字の言葉を書きましょう。

① 左＋◎→（　　）
② 上＋◎→（　　）
③ ◎＋小→（　　）
④ ◎＋外→（　　）
⑤ 長＋◎→（　　）
⑥ 遠＋◎→（　　）
⑦ 明＋◎→（　　）
⑧ 強＋◎→（　　）
⑨ 売＋◎→（　　）
⑩ ◎＋低→（　　）

三　上と下の言葉のつながりを考えて、漢字二字の言葉を書きましょう。

れい

❶ 軽い ＋ 石 → （　　）

❷ 小さい ＋ 川 → （　　）

❸ 白い ＋ 馬 → （　　）

❹ 小さい ＋ 鳥 → （　　）

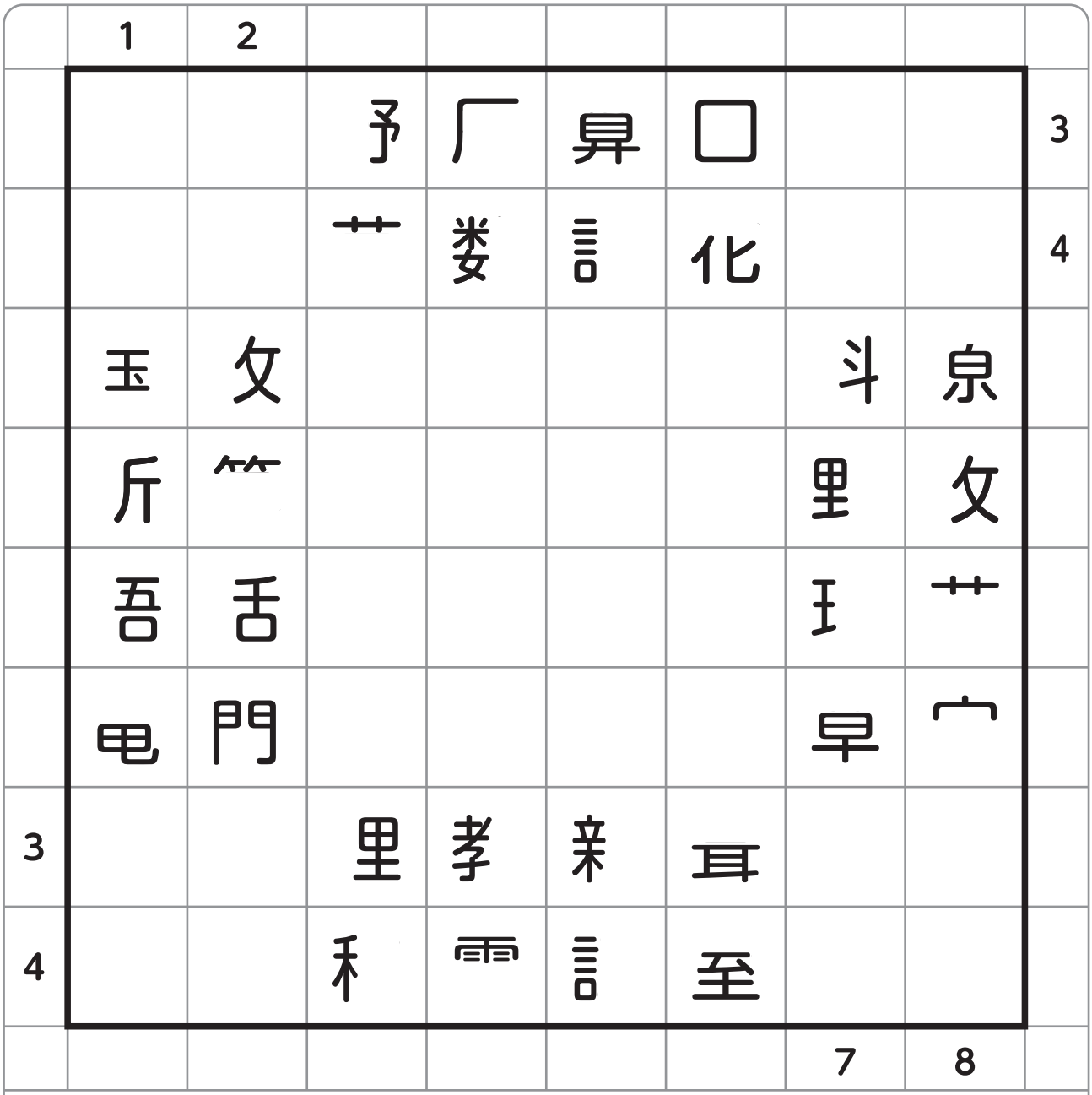
❺ 青い ＋ 空 → （　　）

❻ 若い ＋ 葉 → （　　）

漢字の組み立て
にょう・たれ・かまえ・かんむり・あし

广 まだれ	店	店	店	店	厂 がんだれ	原	原	原	原
辶 しんにょう					口 くにがまえ				
門 もんがまえ					疒 やまいだれ（発展学習）				
心 こころ									
宀 うかんむり					⺾ くさかんむり				
竹 たけかんむり					雨 あめかんむり				
土 なべぶた									
その他									
角	里	占	尚	尘	夜				

漢字のパズル表



	1	2							
			予	厂	昇	口			3
			⺾	娄	言	化			4
	玉	攵					斗	泉	
	斤	⺮					里	攵	
	吾	舌					王	⺾	
	电	門					早	宀	
3			里	孝	亲	耳			
4			禾	雨	言	至			
							7	8	

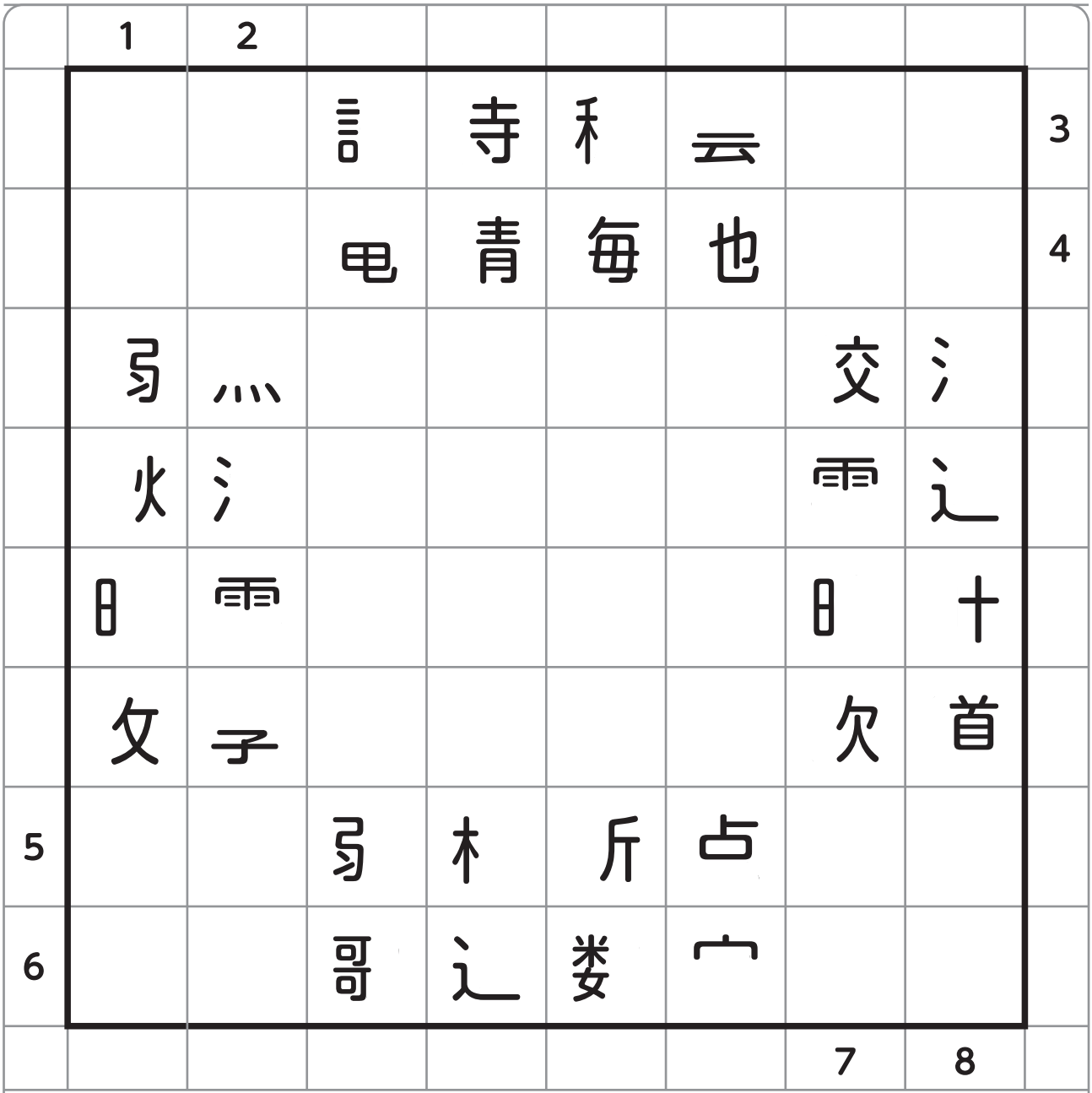
パズルの解き方

四すみの空らんには2文字のかん字が入ります。かん字を作っているパーツがマス目の上下左右に分かれています。これらは同じれつにある四すみの白マスのどこかに入り、かん字を作ります。でき上がると、太い線でかこまれた白いマスにはじゅく語が8こできます。

ヒント

1. 左上と右下は小学校とつながりがあります。
2. 右上はしぜんがいっぱいあります。
3. 左下は大切なことをみんなにつたえます。

漢字のパズル表



パズルの解き方

四すみの空らんには2文字のかん字が入ります。かん字を作っているパーツがマス目の上下左右に分かれています。これらは同じれつにある四すみの白マスのどこかに入り、かん字を作ります。でき上がると、太い線でかこまれた白いマスにはじゅく語が8こできます。

ヒント

1. うんどう会はこのような日がいいですね。
2. 高い山の上からのながめはいいですね。
3. チク タク チク タク
4. たん1・たん2・たん3・たん4・アルカリなど　いろいろ
5. わたしはかけっこがにがてです。
6. １２３４５ −−−−−
7. ○○がっこうのひとはみんなうたえます。
8. ここはとおってはいけません。つうがくろをとおってください。

漢字のパーツ表

左と右を合わせる

1	亻	2	木	3	氵	4	彳	5	日	6	言	7	土	8	糸
9	禾	10	礻	11	王	12	弓	13	女	14	舟	15	矢	16	口
17	里	18	卓	19	小	20	彦	21	娄	22	豆	2	哥	24	开
25	亲	26	里	27	田	28	見	29	寺	30	斤	331	交	32	攵
33	泉	34	亍	35	寸	36	木	37	虫	38	月	39	也	40	乍
41	鳥	42	会	43	可	44	彡	45	十	46	丨	47	市	48	未
49	火	50	舌	51	爻	52	己	53	弓	54	里	55	斗	56	口
57	吾	58	予	59	欠	60	壳	61	頁	62	帚	63	且	64	翟
65	谷	66	每	67	孝	68	土	69	頁	70	氏	71	圣	72	本
73	青	74	易	75		76		77		78		79		80	

外と内を合わせる

81	門	82	口	83	辶	84	广	85	厂	86	义	87	玉	88	厶
89	占	90	衾	91	甬	92	廾	93	才	94	关	95	曰	96	耳
97	泉	98	斤	99	首	10	周	101		102		103		104	

上と下を合わせる

105	雨	106	宀	107	竹	108	艹	109	亠	110	尝	111	龟	115	力
113	彐	114	电	115	云	116	心	117	早	118	占	119	里	120	田
121	至	122	合	123	子	124	昇	125	灬	126	化	127	尘	128	余
129	攸	130	父	131	力	132	尒	133		134		135		136	

漢字の組み立て（へん・つくり）

亻 にんべん	亻				日 ひへん	日			
木 きへん	木				彳 ぎょうにんべん	彳			
言 ごんべん	言				氵 さんずい	氵			
糸 いとへん	糸				土 つちへん	土			
禾 のぎへん	禾				弓 ゆみへん	弓			
礻 しめすへん	礻				女 おんなへん	女			
矢 やへん	矢				王 たまへん	王			
口 くちへん	口				舟 ふねへん	舟			
扌 てへん （発展学習）	扌				里 さとへん	里			
彡 さんづくり	彡				刂 りっとう	刂			
欠 あくび	欠				頁 おおがい	頁			
斤 おのづくり	斤				見 みる	見			
攵 ぼくづくり	攵				月 にくづき	月			

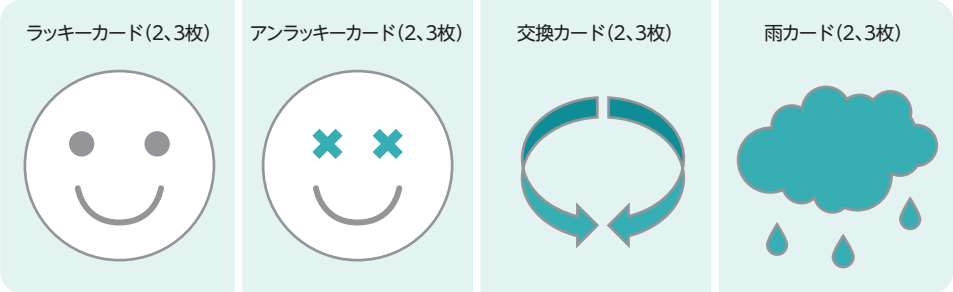
第１部

2 アクティビティ（ゲーム）

2 アクティビティ

活動名	1	カード合わせゲーム
内　容	複数のカードを裏返して机の上に置き、表に返しながらペアになる2枚のカードを探す。絵カード（牛の絵を描いたカード）と言葉カード（「うし」と書いた文字カード）を合わせたり、形容詞の対義語「大きい」、「小さい」の絵カード同士を合わせたりする。	
関連する学習項目	• 名詞、形容詞、対義語等	

活動名	2	カード取りゲーム
内　容	数に関係のあるカード（数カードや助数詞カード）を用いる。1人5枚程度配り、掛け声に合わせて全員が1枚ずつ出す。出したカードの大きい者が、カードを取ることができる。カードに示された数や助数詞を正しく「言う」練習になる。	
関連する学習項目	• 数字、助数詞	

活動名	3	カードめくりゲーム
内　容	文字カードや動詞カード、名詞カード、形容詞カードなど、種類の同じ30 から 40 枚のカードを中央に置く。カードを1枚ずつめくって言葉を正しく言うことができたら、そのカードを取ることができる。正しく言えない場合には、横にカードを置く。また、下図のような「ラッキーカード」や「アンラッキーカード」、「交換カード」、「雨カード」を混ぜておく。「アンラッキーカード」は持ち札を出す、「ラッキーカード」はカードを取る（ただし、カードがなかったら、もう一枚めくることができる）、「交換カード」は自分の持ち札を誰かと交換することができる、「雨カード」は全員3枚ずつ出すなど、ルールを工夫する。 
関連する学習項目	• 文字、動詞、名詞、形容詞等	

活動名	4	はいはいゲーム
内　容	複数の児童・生徒がいた場合、「○○さん」「はい」とそれぞれの顔を見て名前を呼ぶ。それができたら、役割を交替する。また、顔の向きと呼ぶ名前を違えて返事をさせると、ゲームのような感覚で練習ができる。	
関連する学習項目	・「○○さん」 ・「はい」	

活動名	5	ある・ないゲーム
内　容	消しゴムやおはじき等、身近にある物を右手か左手のどちらかの手に握り、右にあるか左にあるかを当てさせる。教師が初めはない方の手から開いて「ない」と言い、次にある方の手を開いて「ある」と言う。「ある？　ない？」と尋ね、「ある」「ない」を言わせるよう促す。慣れてきたら役割を交替すると、意欲が高まる。	
留意点	「ノートある？」「鉛筆ある？」「消しゴムある？」などと尋ねられたときに、所有を「ある」「ない」で答えられるように様々な物を用いて練習させ、文房具の名前が言えるよう指導する。	
関連する学習項目	・「ある」／「ない」 ・身近にある物の名前	

活動名	6 同じ・違う
内　容	見本のカードを見せ、「同じ・違う」が言えるようにする。その後、カードを2枚ずつコピーして用意し、カード合わせゲームをする。カードをめくる度に何度も「同じ・違う」を発話できるよう指導する。複数の児童・生徒がいれば、教師がめくった2枚を見て、早く「同じ」か「違う」か言えた方がカードをもらえるゲームをする。
留意点	国語や算数（数学）などの他の教科の学習の中で「ここが同じです。」「ここが違います。」を使うことも多い。また、学校生活の場面で「これと同じ物はありますか。」と聞かれることもあるので、「同じ・違う」という言葉を理解して、使えるようにする。
関連する学習項目	• 「ここ」 • 「同じ」「違う」

活動名	7 右・左・上・下・前・後ろ
内　容	● 児童・生徒を教師と同じ向きに立たせ、「右、右、左、左」と2拍ずつ声を掛けながら動く。慣れたら手拍子も入れ、リズミカルに「右・右・左・左・右・右」と動く。動くときに、一緒に「右」「左」と言わせると、動作と共に方向を表す表現を覚えさせることができる。 ● 「上」「下」の表現は、手を上げたり下げたりして、手拍子で「上・下・上・下」を加え、「前」「後ろ」の表現と合わせて「右・左・上・下・前・後ろ」の練習を行う。 ● 十分なスペースがあれば、スイカ割りの要領で、「前」「右」などと声を掛け合って、教室の中に作ったゴールを目指すゲームをする。
留意点	「右、右、左、左」は、児童・生徒の発達段階に応じて、カードゲームで練習させるのもよい。
関連する学習項目	● 「右・左・上・下・前・後ろ」

活動名	8	宝探しゲーム
内　容	予め教室内の数カ所にお手玉などを隠し、「つくえのなか」「いすのうえ」「ほんだなのなか」など、隠し場所を書いた紙を児童・生徒に渡して、お手玉の隠し場所を当てさせる。	
留意点	「ほんだな」など、物の名前が分からない場合は、「ほんだなはなんですか。」と質問させて、「これが本棚です。」と示して説明する。慣れてきたら、役割を交替し、児童・生徒に隠し場所を決めさせると、「○○の上」などの言葉を書く練習をさせることができる。	
関連する学習項目	・「○○の中・上」	

活動名	9 いる・ある
内　容	• 日本語では、物の存在を生物と無生物に区別して「いる」「ある」と表現する。外国語ではこの区別をしない言語も多いため、児童・生徒が「いる」「ある」を区別して使うことは難しい。 • 黒板に「いる」コーナーと「ある」コーナーを設け、「いる」コーナーに「動物・虫・人」、「ある」コーナーに「鉛筆・机・家・菓子」などの絵を貼って分類する。 • 使い分けが概ね分かったら、教師が見せるイラストにできるだけ早く「あります。」「います。」と言うゲームをする。児童・生徒が複数いる場合は、競わせてもよい。
留意点	小学校低学年には、学校探検に出かけ、「職員室に先生がいます。」「体育館に跳び箱があります。」など、体験的に学ばせると理解を促すことができる。また、小学校高学年や中学生には、児童・生徒が関係する国のガイドブックなどを使い、「中国にパンダがいます。」「日本に東京タワーがあります。」など、児童・生徒が関心のある事物について表現できるようにする。
関連する学習項目	• 「いる」「ある」 • 「○に○がいる」「○に○がある」

活動名	10 これは誰の〇〇ですか？
内　容	鉛筆・本・かばん・筆箱など、身近にある学習用具を使って、一つを持って示し、「これは誰の〇〇ですか。」と尋ね、児童・生徒が「私（僕）の〇〇です。」と答えられるよう練習を行う。いくつかの学習用具を袋に混ぜて入れ、一瞬だけ見せて「これは誰の〇〇ですか。」と聞くなどの練習を行う。
関連する学習項目	・「これ」 ・「誰の」「私の」「僕の」

活動名	11 学校探検
内　容	• 教師が教室の前に立ち、「来てください。」と手招きをする。給食室や職員室など外から見て、中の活動が分かる所の前で「見てください。」と目を指して、児童・生徒に見ることを促す。また、音楽室など音の聞こえる場所では、耳に手を当てて「聞いてください。」と言って、児童・生徒に音を聞かせる。 • 教師と児童・生徒がペアになり、学校の教室などを歩いて回る。「ここは音楽室です。」と教えたり、「ここは?」と聞いたりする。次に「音楽室はどこですか。」「トイレはどこですか。」など、場所を尋ねる表現を用いて使い方を教える。
留意点	「ここ」は、話し手の近くの場所、「そこ」は、聞き手の近くの場所、「あそこ」は、話し手からも聞き手からも遠い場所を意味する。この活動では、「ここ」と「そこ」が使えるようになればよい。
関連する学習項目	• 「来てください。」「見てください。」「聞いてください。」 • 「ここ」「そこ」

活動名	12　できる？　できない？
内　容	● あやとりの簡単な技をやって見せ、「私はできます。」と言い、児童・生徒に「できますか。」「できませんか。」と尋ねる。児童・生徒ができたら、「○さん、できる」と誉める。その後、難しい技をやって見せ、「私はできます」と言い、児童・生徒に「できますか。」「できませんか。」と尋ねる。児童・生徒ができなかったら、「○さんはできません。」と言い、難易度を上げたり下げたりして「できる・できない」を理解させる。 ● 既習の名詞（おはじき、お手玉等）を使って、ビンゴ表を作り、色々な人に「○○できますか。」という形で質問をし、できる人を見つけるビンゴゲームの要領で遊ぶ。
留意点	● おはじき、お手玉、算数の問題なども活用する。児童・生徒の発達段階に応じて、課題を選ぶ。また、練習してできるようになった　ら、「できた」も教える。 ● 文字や文を書く練習を行う際、「できましたか。」と声を掛け、児童・生徒に「できました。」と答えさせる。
関連する学習項目	● 「できる」「できない」「できた／できました」

活動名	13 大きいです・面白いです
内　容	● 対義になる形容詞の絵カードを使って神経衰弱の要領でカード取りゲームを行うなど、楽しみながら形容詞の語彙を増やす。 ● 教師や複数児童・生徒がいる場合は、そのうちの一人が形容詞のカードを取り、そのカードの形容詞を口には出さず、体などを使って表現する。見ている児童・生徒はその形容詞が何か推測する。
留意点	「大きい・小さい」「高い・安い」「長い・短い」などの形容詞は、買い物などの日常生活の中で頻繁に使う。また、理科の観察や算数の文章題など、学習の理解にもつながる表現である。
関連する学習項目	● 形容詞（「大きい・小さい」「高い・安い」「長い・短い」）

活動名	14 数字（1から100）
内　容	• 教師が、「1・2・3… 10」、児童・生徒が、「11・12・13 … 20」と交互に数を読み上げて練習する。10 ごとに交替したり、1ずつ交替したり、3ずつ交替したりして繰り返し練習を行う。 • 児童・生徒が中学年以上で複数いる場合、一人ずつ 1 から数字を言っていき、7 がつく数字、もしくは 7 の倍数では数字は言わず、代わりに手を叩くゲームをする。
関連する学習項目	• 数字（1から 100）

活動名	15　数字（11 から 20）
内　容	教師は 11 から 20 までのカードを5枚ずつ配る。児童・生徒は掛け声に出しながら、自分のカードを出し、カードに書かれた数を読む。
留意点	正しく読め、数の大きいカードを出した者が、その場のカードを取る「カード取りゲーム」を活用するのもよい。
関連する学習項目	• 数字（11 から 20）

活動名	16 何時？
内　容	• 時刻を表す絵や時計の模型を使い、教師が「○時」「○時半」など、時刻の表し方や読み方を教える。デジタル式の表示のある絵を用いると、「分」の表示を理解しやすくなる。 • 「学校」「家」など、場所を表す絵と時計の模型を使い、時刻に合わせて二つの目的地の間を移動する表現を教える。 • 二つの世界地図を作り、情報に差ができるように、異なる都市を選び、時間を書いておく。教師と、もしくは児童・生徒同士で、「(都市名) は今、何時ですか。」と聞き、地図を埋めていく。
留意点	• 「○時」の表現「4時」、「9時」、「7時」は、書く場合は「4じ」「9じ」「7じ」でよいが、読むときは「よんじ」ではなく「よじ」、「ななじ」ではなく「しちじ」、「きゅうじ」ではなく「くじ」であることを指導する。平仮名で書かせると、印象付けられる。 • 話し手の言葉が聞き取れないときに「もう一回言ってください。」「ゆっくり言ってください。」など、繰り返し言ってもらうための表現を教える。教師が意図的に小さい声で児童・生徒に話し掛け、「もう一回言ってください。」又は「書いてください。」と言わせる練習をしてもよい。
関連する学習項目	• 時刻を表す表現 (「時」「時半」) • 「もう一回言ってください。」「ゆっくり言ってください。」「書いてください。」

活動名	17 今、何時間目？
内　容	実際の時間割を活用して、「今、何時間目?」「今日は、算数ある?」など、児童・生徒に質問をして答えさせる。教科等の名前を書いたカードと絵や教科書を提示し、教科の名前を言わせる。
留意点	総合的な学習の時間やクラブ活動などは、児童・生徒の発達段階に応じて取り上げる。 ワークシートの時間割表に開始時刻を書き込み、「1時間目、○時○分から」など、発展学習を行うのもよい。
関連する学習項目	● 時間割に関する表現（何時間目、教科等の名前）

活動名	18 曜日・日付
内　容	曜日や日付の言い方については、歌やリズムに乗せて覚えさせると効果的である。「ロンドン橋おちた」の替え歌で「げつようび・かようび・すいようび…にちようび」と歌いながら練習する。小学校の低学年に曜日を教える際には、絵本「はらぺこあおむし」の読み聞かせも役に立つ。
留意点	「今日は、何月何日ですか。」「今日は何曜日ですか。」については、毎時間授業の開始時に質問して答えさせるとよい。「ついたち・ふつか・みっか」など、特別な言い方は少しずつ覚えさせるようにする。 更に、「今日の天気は何ですか。」などと質問し、板書したりカードを提示したりして、毎日の指導の中に取り入れると効果的である。
関連する学習項目	• 曜日に関する表現 • 日付に関する表現

活動名	19 買い物
内　容	買い物の場面の絵を見せ、教師が「○を○個ください。」「いくらですか。」と尋ね、児童・生徒に「ななひゃくえんです。」と答えさせる。役割を交替して様々な物を買う場面を設定して反復練習をさせる。
留意点	・買い物の際には、金額、助数詞（個・枚・本など）という数に関係する表現を多く用いる。金額、助数詞共に、1・3・6・8・10の後は、（さんぼん、ろっぽん）のように、音便で「濁音」になったり「促音+半濁音」になったりすることが多い。これらの学習については、小学校高学年の児童や中学生には、表に整理して見せ、規則性を理解して覚えさせたりするなど、小学校の低学年には、折に触れ長期的に指導していく。 ・1から10までの助数詞カードを作り、児童・生徒に5枚ずつ配って1枚ずつカードを出し合わせ、「さんぼん」「はっぽん」というように、助数詞を付けて言い、正しく言って数の大きいカードを出した者がその場のカードを取ることができる「カード取りゲーム」を用いても効果的である。
関連する学習項目	・「○を○個ください。」 ・「いくらですか。」

活動名	20 体の部分の名前
内　容	● 体の部分の歌：「ロンドン橋落ちた」の替え歌で、「頭・肩・手・足、手・足、手・足、頭・肩・手・足、目・耳・鼻・口」と体の部分を手で示しながら歌う。 ● 自分の体の部分を触りながら「目目目目、肩」「耳耳耳耳、口」などの掛け声を出して、最後に言った体の部分の名前を相手に言わせるゲームを用いると、身体の部分を覚えたか確認ができる。
留意点	● 児童・生徒の発達段階に応じて活動内容を取捨選択して柔軟な姿勢で指導に当たる。
関連する学習項目	● 体の部分の名前（頭・肩・手・足・目・耳・鼻・口）

活動名	21	食べる？　食べない？
内　容	● 「食べる・食べない」「飲む・飲まない」の意味を理解させた後で、「食べ物カード」や「野菜・果物・菓子」などのカードも混ぜて、「○○さんは食べますか。食べませんか。」と尋ね、「食べる」、「食べない」を答えさせる。慣れたら、絵を見せないで「食べる？食べない？」の質問に答えさせると、ゲーム的な面白さを加えて指導できる。 ● 知っている食べ物・飲み物の名前でビンゴ表を作り、色々な人に「○○を食べますか／飲みますか」と質問をし、ビンゴゲームの要領で遊ぶ。	
留意点	● 体調が悪いときには、給食を食べたくなかったり、牛乳を飲むことができなかったりする。そのような場合に、「気持ちが悪い」と言ったり、「給食を食べる・食べない、飲む・飲まない」といった意思表示をしたりすることが大切である。また、話せなくても、「気持ちが悪い?」「食べる・食べない?」「飲む・飲まない?」という問いを理解できれば、首を振るなどの合図で答えることもできる。	
関連する学習項目	● 「食べる／食べない」、「飲む／飲まない」 ● 「気持ちが悪い」	

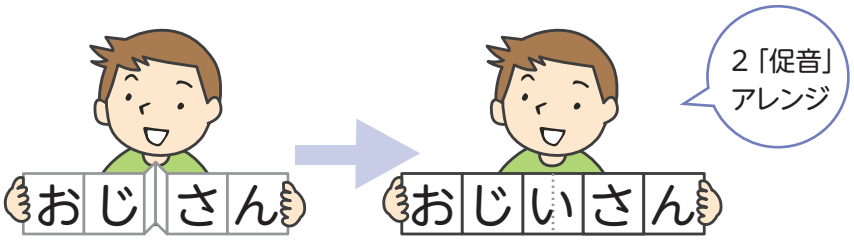
活動名	22　（人物）は、（場所）に行きます。
内　容	• 場所カードを掲示し、そこに人物カードを近付けながら「（人物）は、（場所）に行きます。」と言って、「に」が目的地を表すときに用いる場所ということを視覚的に理解させる。その後、人物カードと場所カードをめくりながら、「○は○に行きます。」と言う練習を行い、ノートに書かせる。 • 場所カードと手段カードを作って、それぞれの山を一枚ずつめくり、出たもので文を作る。
留意点	• 移動の目的地を表す場合に「に」を用いることを教える。 • 英語などの前置詞と異なって、日本語の助詞は、名詞の後に付くことを意識させながら「（人カード）は、（手段）で、（場所カード）に行きます。」のような文を練習させる。また、手段を表す「で」を教えるときに「走って」「歩いて」も併せて示す。
関連する学習項目	• 「○は、○に行きます。」

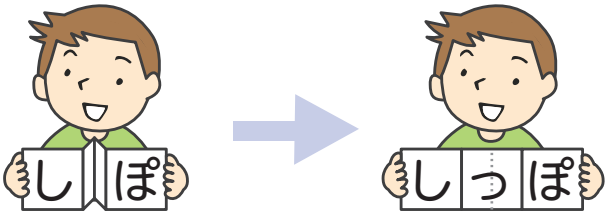
活動名	23	服を着ます・着ました
内　容	• 日本語では、身に付ける物や動作によって用いる動詞が異なる。例えば、帽子のように上から覆う動作は、「かぶります」、メガネのように引っかける動作は「かけます」、シャツのように上半身に身に着ける動作は「着ます」、ズボンのように下から身に着ける動作は「はきます」、時計やアクセサリーは「つけます」を用いる。 • これらを学習させる場合には、教材・ワークシートの輪郭だけの人間の絵を使って、「帽子をかぶります・メガネをかけます・服を着ます」などと言いながら板書し、児童・生徒にもノートに書かせる方法や、拍手をしながらリズミカルに教師が「帽子を・かぶります」と言って、児童・生徒に「帽子を・かぶります」と復唱させる方法がある。 • 名詞のイラストを見せ、適当な動詞も選ばせる。できるだけ早く言えるようにすることでゲーム性を持たせる。	
留意点	• 小学校低学年の児童には自分が着ているものを説明させたり、高学年の児童や中学生には、自分が関係する国の民族衣装の写真を見せ、それらを説明させたりするなど、児童・生徒の発達段階に応じた活動を取捨選択する。	
関連する学習項目	• 衣類等の着脱に関する表現（「服を着ます・着ました」「帽子をかぶります」「めがねをかけます」「シャツを着ます」「時計をつけます」など）	

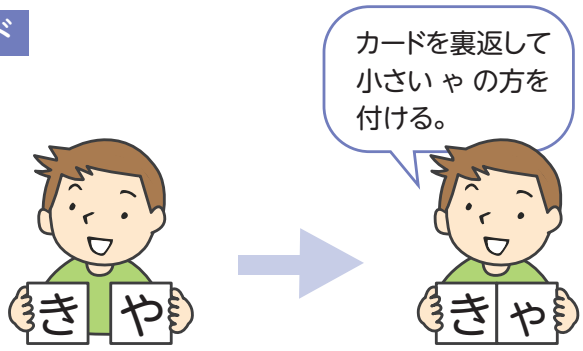
第１部

3 発音の学習

3 発音の学習

活動名	1 長音
内　容	長音は、拍感覚がつかめると正しく表記できるようになるので、手を叩きながら「おかあさん」と言う練習や、「折りたたんで伸ばすフラッシュカード」（「２　発音『促音』」のアクティビティ参照）などが効果的である。
留意点	● 長音の指導に当たっては、次のような仮名遣いの原則と例外があることを踏まえて指導する。 あ列の長音「あ」を添える。おかあさん・おばあさん い列の長音「い」を添える。おにいさん・おじいさん う列の長音「う」を添える。くうき・せんぷうき え列の長音「え」を添える。おねえさん 「い」を添える。せんせい・けいさん・れいぞうこ お列の長音「お」の代わりに「う」を添える。おとうさん・おとうと 「お」を添える。おおきい・おおかみ 
関連する学習項目	● 長音

活動名	2 促音
内　容	促音「っ」の指導に当たっては、手を叩いて表すと1拍分あるが、実際には読まない文字であることを理解させる必要がある。「っ」の文字に×を記したり、5本の指を胸の前で開いた状態から、小さい「っ」できゅっと引く動作をして見せたり、折り畳みのフラッシュカード（促音カード）を用いたりして教える。
留意点	**促音カード** 小さい「っ」を折りたたんだカードを用意する。 
関連する学習項目	• 促音

活動名	3	拗音・拗長音
内　容	拗音とは、音節の一種で「曲がった音」を意味し、直音の対語である。い列の音に小さく書く「や・ゆ・よ」が付く音で、手で叩くと一拍分に当たる。例えば、「おちゃ」は2拍、「じてんしゃ」は4拍である。拍の感覚を体得できると「きょうしつ」（4拍）や「ぎゅうにゅう」（4拍）のような拗長音の表記で「う」を正しく書けるようにする。	
留意点	**い段の音と拗長音カード** 「き」のカードと、裏表に大きい「や」と小さい「ゃ」を書いたカードを用意する。  付けたり離したりしながら、「き・や・き・や・・・」と言う　　くっつけて、「きゃ」と言う ※拡大して半分に折り、同サイズのい段の平仮名と組み合わせて使う。	
関連する学習項目	• 拗音・拗長音	

第１部

4 文字の学習

4 文字の学習

活動名	1 自分の名前を書く
学習内容	• 自分の名前
指導内容	• 50 音をカードにし、児童・生徒が発音する名前を聞きながら、どの音が自分の名前に近いか一緒に並べていく。完全に合う音がない場合、教師が発音する近い音をいくつか聞かせて、本人にどれが一番近いか判断させる。 • 名前の確認後、ノートやワークシートに書く練習をさせる。
発展 宿題等	• 色々な名前を書いたカードから、自分の名前を選ばせる。 • 名前の練習

活動名	2	ひらがなを書く（し・あ・い・う）	★ゆっくりコース
学習内容	・平仮名（し・あ・い・う）		
指導内容	・「し」の書き方を「しー静かに」と言う形から導入し、「し」と「あ」「い」「う」を組み合わせて、「あし」「いし」「うし」ができることを示す。		
発展宿題等	・カード合わせなどのゲーム（イラストと平仮名カードを選ぶなど）を活用する。 ・「し」のみ先に示しておき、教師が「あし」「いし」「うし」の中から一つ発音し、それを聞いて選ぶ。 ・「し」「あ」「い」「う」の4枚のカードを並べ、教師が「あし」「いし」「うし」の中から一つ発音し、それを聞いて適当なカードを選ぶ。 ・机の上に並べられたバラバラの文字カード（難易度を上げたい場合は並べるカードの数を増やす）の中から、提示された単語の文字を探し、並べる。 ・4つの平仮名をそれぞれ2枚ずつカードにしておき、それを神経衰弱の要領で遊ぶ。 ・練習で使った単語の絵カード（足、牛、石）を作っておき、それをカルタの絵札とし、教師が言ったものを選ぶ。 ・以下のようにクロスワードのような形で示されたものの中から、提示された単語を探す。 ・既習の文字が増えたら、平仮名の文字でビンゴカードを作成し、教師がランダムに言い、ビンゴの要領で遊ぶ。 ・字の一部だけを見せたり、文字全体を一瞬だけ見せたりして、どの文字か早く答えさせる。 ・片仮名を学んだ際には、平仮名と片仮名でマッチングをさせたりするなど、神経衰弱の要領で遊ぶ。 ・文字学習用のアプリなども自習などに適宜活用する。 日本語学習アプリ（国際交流基金） https://minato-jf.jp/Home/JapaneseApplication ・【宿題】「平仮名・片仮名の練習帳」		

い	し	こ	け
う	つ	う	お
へ	あ	し	の
り	え	つ	い

※文字の学習に時間をかけて指導していくことが可能な場合は、本事例を参考に、児童・生徒の様子を見ながら、3～5文字ずつ指導していく。その際、「め」と「ぬ」、「ね」と「わ」、「る」と「ろ」など、似ている文字を指導する際には注意する。また、児童・生徒が学んだことを生かし、文字を組み合わせ、読める単語を積極的に増やしていく。

活動名	3	ひらがな清音のテスト
学習内容	● 平仮名（五十音）	
指導内容	● 平仮名の清音の復習を兼ねて、テストを行う。 あ➡＿➡う➡え➡お➡＿➡き➡＿➡け➡こ・・・のように、＿に入る平仮名を記入させたり、平仮名の学習で用いたイラストの名前を平仮名で答えさせたりする問題を出題する。	
発展 宿題等	● 覚えられなかった文字をノートに練習させる。	

活動名	4	ひらがなを書く（濁音・半濁音）
学習内容	● 平仮名（濁音・半濁音を含む単語）	
指導内容	● 平仮名一覧表の濁音・半濁音の部分を読む。 ● 濁音・半濁音の書き方を練習する。 ● 「かぎ・りんご・かぜ」など、濁音を使った言葉の読み書きを練習する。 ● 「ぱんだ・ぴあの」など、半濁音を使った言葉の読み書きを練習する。	
発展 宿題等	● カード合わせなどのゲーム（イラストと平仮名カードを選ぶなど）を活用する。 ● 【宿題】「平仮名・片仮名の練習帳」	

活動名	5 ひらがなを書く（長音）
学習内容	● 平仮名（長音を含む単語）
指導内容	● 「おかあさん」「おばあさん」などの「あ」の音、「おにいさん」「おじいさん」の「い」の音などを言うときは「せんせー（え）」、書くときは「せんせい」、言うときは「おとー（お）さん」、書くときは「おとうさん」と言いながら指導する。
発展 宿題等	● 【宿題】「平仮名・片仮名の練習帳」

活動名	6 ひらがなを書く（促音）
学習内容	● 平仮名（促音を含む単語）
指導内容	● 「しっぽ」「きっぷ」「せっけん」など、促音を使った言葉の読み書きを練習する。 ● 折りたたみカードや板書、ジェスチャーなどで、促音の「っ」は一拍休む音であることを体得させる。
発展 宿題等	● 【宿題】「平仮名・片仮名の練習帳」

活動名	7	ひらがなを書く（拗音・拗長音）
学習内容	● 平仮名（拗音・拗長音を含む単語）	
指導内容	● 「きゃ」「きゅ」・・・「きょう」などで練習させる。 ● 拗長音カードやジェスチャーなどで、拗音・拗長音の発音を体感しながら練習させる。	
発展 宿題等	● 【宿題】「平仮名・片仮名の練習帳」	

活動名	8	カタカナを書く（ア・イ・ウ・エ・オ）	★ゆっくりコース
学習内容	● 片仮名（ア・イ・ウ・エ・オ）		
指導内容	● カード合わせなどのゲーム（イラストと平仮名カードを選ぶなど）を活用する。 ● 教師が「アメリカ」「イタリア」「ウガンダ」「エジプト」「オーストラリア」の中から一つ発音し、それを聞いて適当なカードを選ぶ。 ● 机の上に並べられたバラバラの文字カード（難易度を上げたい場合は並べるカードを増やす）の中から、提示された単語の文字を探し、並べる。 ● 4つのカタカナをそれぞれ2枚ずつカードにしておき、それを神経衰弱の要領で遊ぶ。・既習の文字が増えたら、片仮名の文字でビンゴカードを作成し、教師がランダムに言い、ビンゴの要領で遊ぶ。 ● 字の一部だけを見せたり、文字全体を一瞬だけ見せたりして、どの文字か早く答えさせる。 ● 平仮名と片仮名で合わせるなど、神経衰弱の要領で遊ぶ。 ● 文字学習用のアプリなども自習などに適宜活用する。 日本語学習アプリ（国際交流基金） https://minato-jf.jp/Home/JapaneseApplication		
発展 宿題等	● カード合わせなどのゲーム（イラストとひらがなカードを選ぶなど）を活用する。 ● 【宿題】「平仮名・片仮名の練習帳」		

※文字の学習に時間をかけて指導していくことが可能な場合は、本事例を参考に、児童・生徒の様子を見ながら、5文字程度ずつ指導していく。その際、「ソ」と「ツ」、「シ」と「ン」、「ウ」と「ワ」など、似ている文字を指導する際には注意する。また、児童・生徒が学んだことを生かし、文字を組み合わせ、読める単語を積極的に増やしていく。

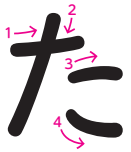
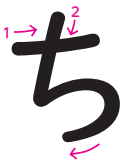
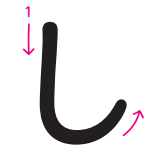
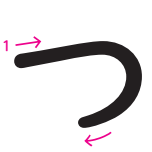
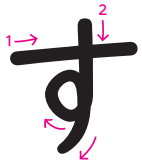
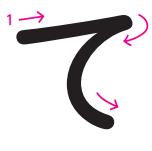
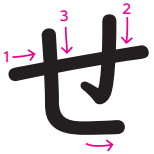
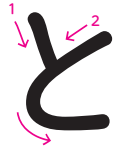
にほんご

ひらがな・かたかなの　れんしゅうちょう

学校（がっこう）

年（ねん）　組（くみ）

			か	が				あ	あ
			き	き				い	い
			く	く				う	う
			け	け				え	え
			こ	こ				お	お

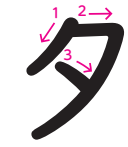
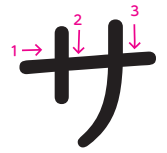
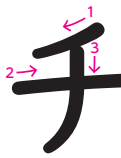
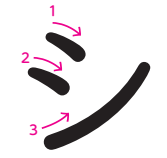
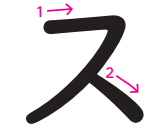
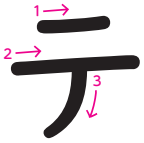
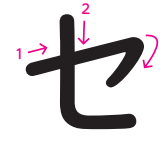
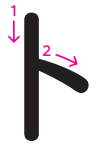
			た					さ	
			ち					し	
			つ					す	
			て					せ	
			と					そ	

			は	は				な	な
			ひ	ひ				に	に
			ふ	ふ				ぬ	ぬ
			へ	へ				ね	ね
			ほ	ほ				の	の

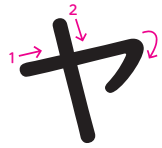
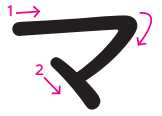
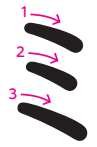
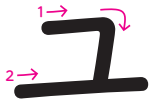
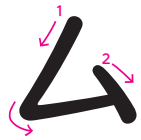
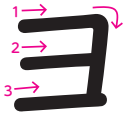
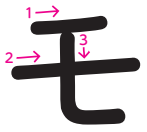
			や	や				ま	ま
								み	み
			ゆ	ゆ				む	む
								め	め
			よ	よ				も	も

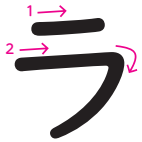
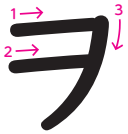
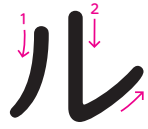
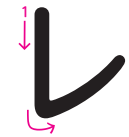
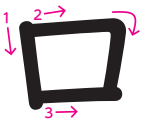
			わ	わ				ら	ら
			を	を				り	り
			ん	ん				る	る
								れ	れ
								ろ	ろ

			カ	カ				ア	ア
			キ	キ				イ	イ
			ク	ク				ウ	ウ
			ケ	ケ				エ	エ
			コ	コ				オ	オ

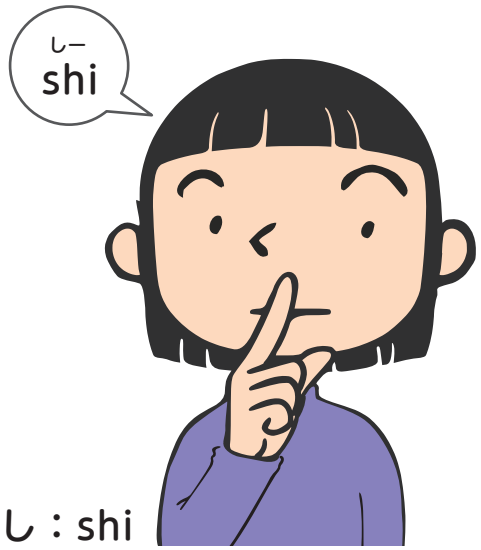
			タ					サ	
			チ					シ	
			ツ					ス	
			テ					セ	
			ト					ソ	

				ハ	ハ			ナ	ナ
				ヒ	ヒ			ニ	ニ
				フ	フ			ヌ	ヌ
				ヘ	ヘ			ネ	ネ
				ホ	ホ			ノ	ノ

			ヤ					マ	
								ミ	
			ユ					ム	
								メ	
			ヨ					モ	

			ワ					ラ	
			ヲ					リ	
			ン					ル	
								レ	
								ロ	

し shi

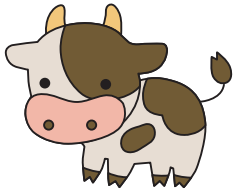
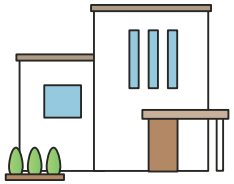


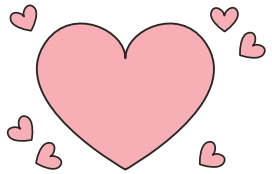
し : shi

し し し し し し

あ・い・う・え・お　aiueo

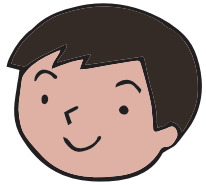


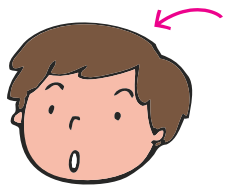
あ	し	い	し	う	し	い	え	し	お	あ	い
あ	し	い	し	う	し	い	え	し	お	あ	い

か・き・く・け・こ　ka ki ku ke ko













か	お	え	き	く	し	け		こ	え	き	
か	お	え	き	く	し	け		こ	え	き	

さ・し・す・せ・そ　sa shi su se so





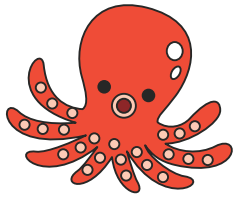
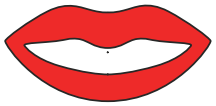






か	さ	す	し	い	す	あ	せ	う	そ
か	さ	す	し	い	す	あ	せ	う	そ

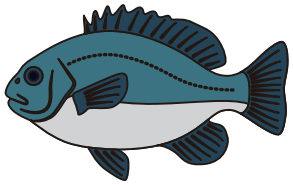
た・ち・つ・て・と　ta chi tsu te to

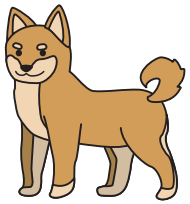



た	こ	く	ち	つ	き	て		と	け	い
た	こ	く	ち	つ	き	て		と	け	い

な・に・ぬ・ね・の　na ni nu ne no



2

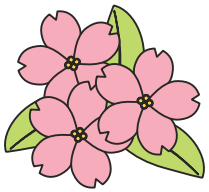


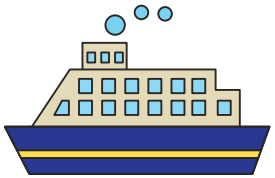


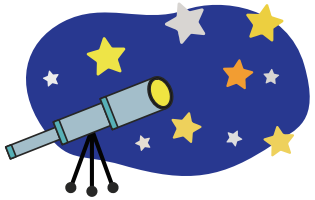


さ	か	な	に		い	ぬ	ね	こ	き	の	こ
さ	か	な	に		い	ぬ	ね	こ	き	の	こ

は・ひ・ふ・へ・ほ　ha hi fu he ho

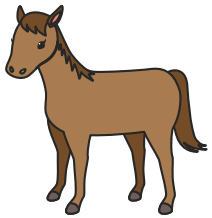


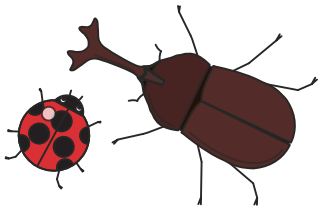
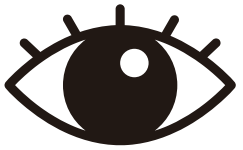




は	な	ひ		ふ	ね	へ	そ	ほ	し
は	な	ひ		ふ	ね	へ	そ	ほ	し

ま・み・む・め・も　ma mi mu me mo



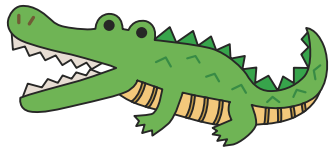

う	ま	み	み	む	し	め		く	も
う	ま	み	み	む	し	め		く	も

や・ゆ・よ・わ・を・ん　ya yu yo wa o n





4
○○○○





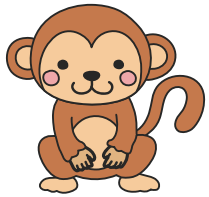
いちご○
たべる。

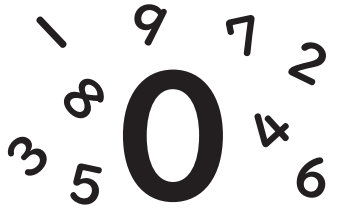
や	ま	ゆ	き	よ	ん	わ	に	を	
や	ま	ゆ	き	よ	ん	わ	に	を	

ら・り・る・れ・ろ　ra ri ru re ro











と	ら	り	す	さ	る	れ	い	く	ろ
と	ら	り	す	さ	る	れ	い	く	ろ

さがしてみよう！

↓（たて）　→（よこ）　↙↘（ななめ）

さ	か	な	ち	ろ	つ	く	る
ま	め	ま	い	も	ひ	き	せ
ん	も	え	ね	り	あ	か	よ
た	こ	や	き	さ	い	わ	お
み	う	ふ	の	と	す	か	つ
そ	を	ち	こ	う	し	も	て
し	こ	か	ゆ	き	や	ま	さ
る	け	い	た	い	ち	み	あ

1　さかな
2　きのこ
3　さとう
4　たこやき
5　こうし
6　すしや
7　ゆきやま
8　つきよ
9　なまえ
10　けいたい
11　あいす
12　つくる
13　せかい
14　みそしる
15　ちかい
16　めも
17　もり

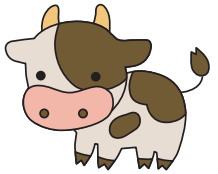
★まだまだあります！

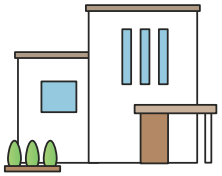
ひらがな学習カード　文字（あ・か・さ行）

あ　し	い　し	う　し
い　え	し　お	あ　い
か　お	え　き	く　し
け	こ　え	き
か　さ	す　し	い　す
あ　せ	う　そ	

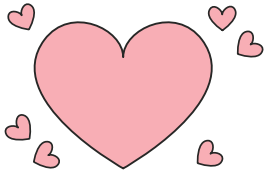


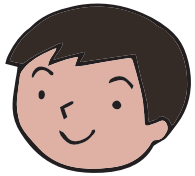






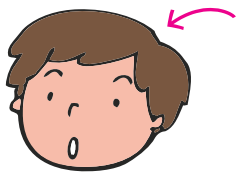

SALT






○○駅






A~





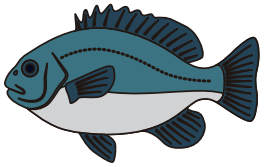
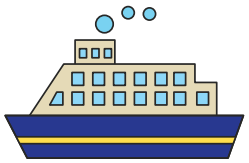
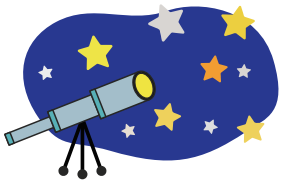




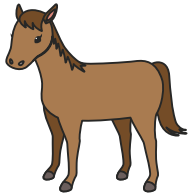
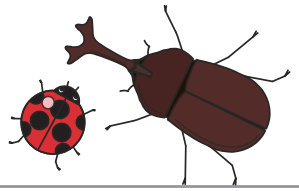
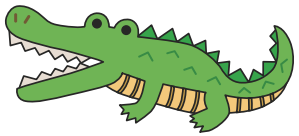
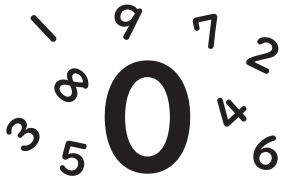




た　こ	く　ち	つ　き
て	とけい	
さかな	に	い　ぬ
ね　こ	きのこ	
は　な	ひ	ふ　ね
へ　そ	ほ　し	

ひらがな学習カード	文字（た・な・は行）	
		
		
	2 ○○	
		
		
		

ひらがな学習カード	文字（ま・や・ら行・わ・ん）	
う　ま	み　み	む　し
め	く　も	
や　ま	ゆ　き	よ　ん
わ　に	いちご　を　たべる	
と　ら	り　す	さ　る
れ　い	く　ろ	

ひらがな学習カード	文字（ま・や・ら行・わ・ん）	
		
		
		4 ○○○○
	 いちご○ たべる。	
		
		

ア・イ・ウ・エ・オ	a i u e o	
アメリカ	イタリア	ウガンダ
アメリカ	イタリア	ウガンダ
エジプト	オーストラリア	インドネシア
エジプト	オーストラリア	インドネシア

カ・キ・ク・ケ・コ	ka ki ku ke ko	
カード	クッキー	ケーキ
カード	クッキー	ケーキ
コアラ	カラオケ	キウイフルーツ
コアラ	カラオケ	キウイフルーツ

サ・シ・ス・セ・ソ	sa shi su se so	
サッカー	シーソー	スカート
サッカー	シーソー	スカート
セーター	ソース	ジュース
セーター	ソース	ジュース

タ・チ・ツ・テ・ト	ta chi tsu te to	
タコス	チーズ	ツナ
タコス	チーズ	ツナ
テレビ	トイレ	テスト
テレビ	トイレ	テスト

ナ・ニ・ヌ・ネ・ノ	na ni nu ne no	
バナナ	ニュース	カヌー
バナナ	ニュース	カヌー
ネパール	ノート	ネクタイ
ネパール	ノート	ネクタイ

ハ・ヒ・フ・ヘ・ホ	ha hi fu he ho	
ハンカチ	コーヒー	フルーツ
ハンカチ	コーヒー	フルーツ
ヘリコプター	ホテル	バス
ヘリコプター	ホテル	バス

マ・ミ・ム・メ・モ・ヤ・ユ・ヨ | ma mi mu me mo ya yu yo

マット	ミルク	ガム
マット	ミルク	ガム
ダイヤモンド	ユニフォーム	ヨーグルト
ダイヤモンド	ユニフォーム	ヨーグルト

ラ・リ・ル・レ・ロ・ワ・ン	ra ri ru re ro wa n	
ラーメン	リンゴ	リュックサック
ラーメン	リンゴ	リュックサック
ルビー	カレー	ロケット
ルビー	カレー	ロケット

つないでみよう ①

あ・	・ウ	た・	・テ	ま・	・メ
い・	・イ	ち・	・チ	み・	・ミ
う・	・オ	つ・	・ツ	む・	・マ
え・	・ア	て・	・ト	め・	・モ
お・	・エ	と・	・タ	も・	・ム
か・	・キ	な・	・ナ	や・	・ヤ
き・	・カ	に・	・ニ	ゆ・	・ヨ
く・	・ケ	ぬ・	・ネ	よ・	・ユ
け・	・ク	ね・	・ヌ		
こ・	・コ	の・	・ノ		
さ・	・ソ	は・	・ヘ	わ・	・ワ
し・	・シ	ひ・	・ホ	を・	・ン
す・	・ス	ふ・	・ハ	ん・	・ヲ
せ・	・セ	へ・	・ヒ		
そ・	・サ	ほ・	・フ		

つないでみよう ②

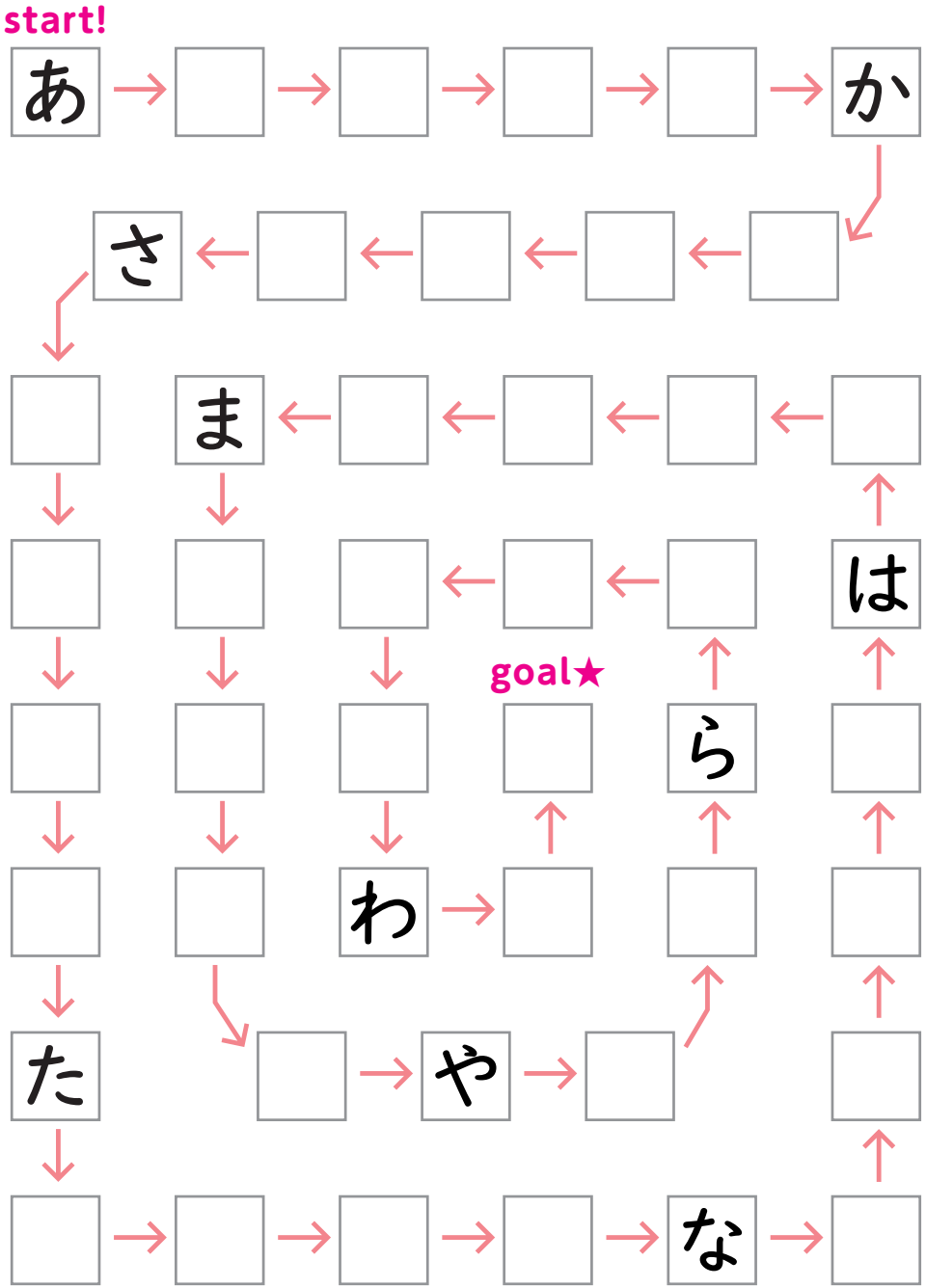
シ・	・に
ン・	・う
ニ・	・す
イ・	・い
ウ・	・り
ス・	・ぬ
ヌ・	・し
ク・	・む
ム・	・く
リ・	・わ
チ・	・ん
カ・	・ち
ワ・	・か

ケ・	・て
ト・	・お
ナ・	・の
テ・	・は
ノ・	・と
サ・	・め
セ・	・け
メ・	・さ
ハ・	・も
モ・	・せ
オ・	・ふ
コ・	・な
フ・	・こ

ミ・	・る
ル・	・ほ
キ・	・ゆ
ユ・	・き
ア・	・や
コ・	・あ
ヤ・	・み
ロ・	・こ
ホ・	・ろ
エ・	・ね
タ・	・た
ネ・	・そ
ツ・	・え
ソ・	・つ

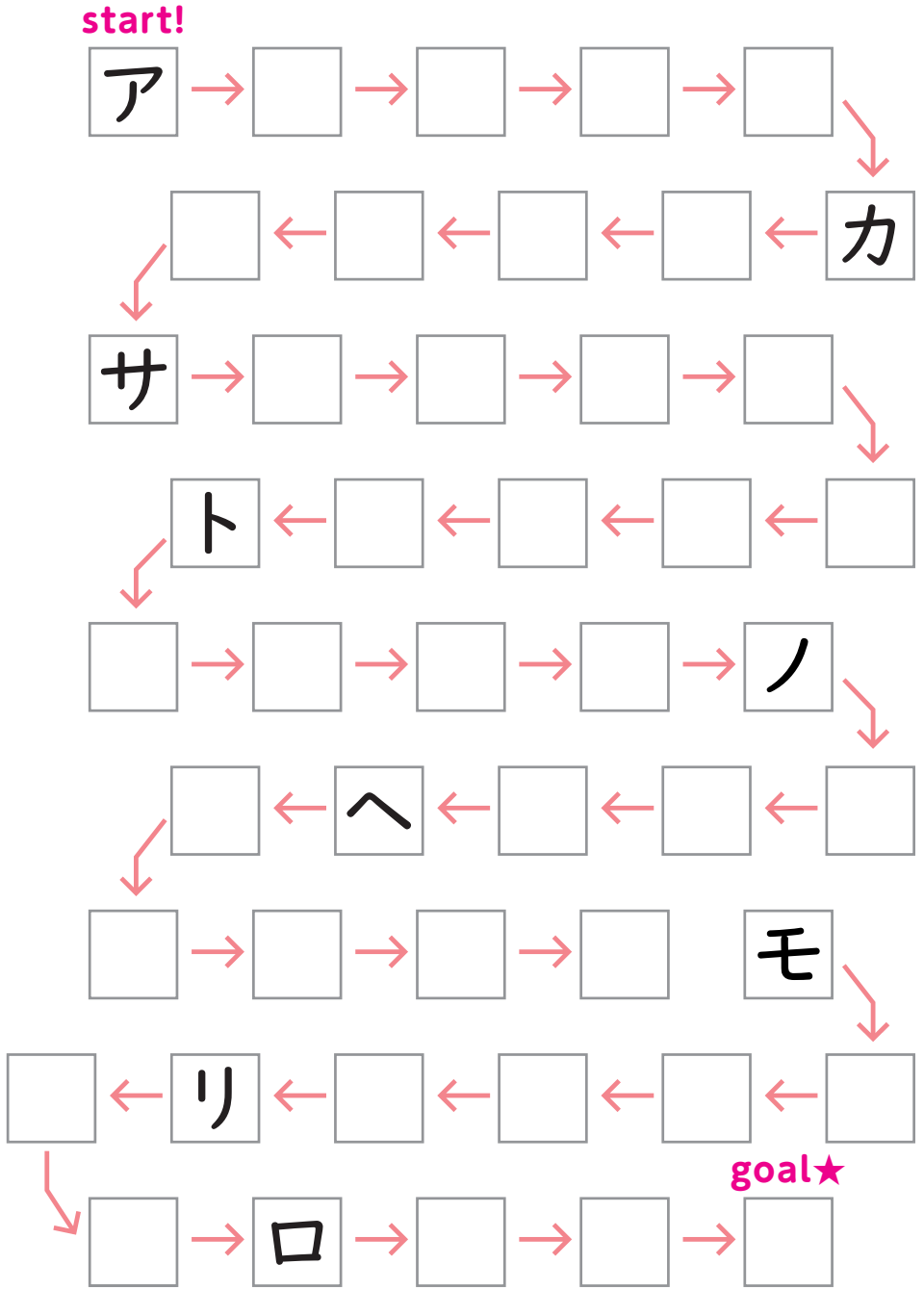
ぐるぐるひらがな

★ 1分以内にできたら合格です。

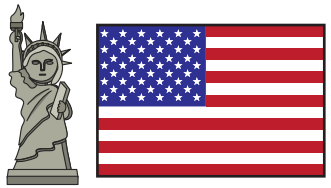
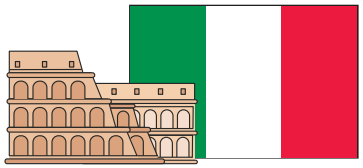


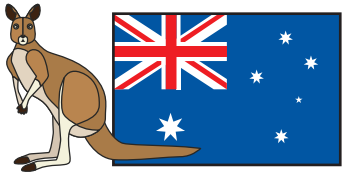
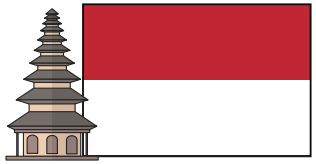
ぐるぐるカタカナ

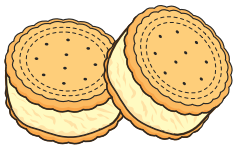
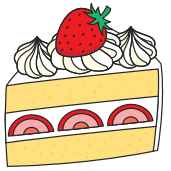
★ 1分以内にできたら合格です。

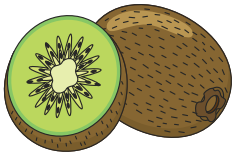


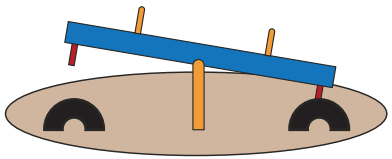
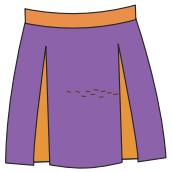
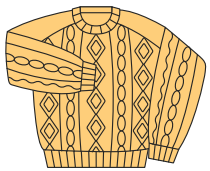
アメリカ	イタリア	ウガンダ
エジプト	オーストラリア	インドネシア
カード	クッキー	ケーキ
コアラ	カラオケ	キウイフルーツ
サッカー	シーソー	スカート
セーター	ソース	ジュース

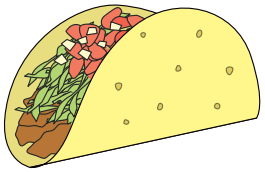
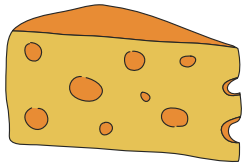





タコス	チーズ	ツナ
テレビ	トイレ	テスト
バナナ	ニュース	カヌー
ネパール	ネクタイ	ノート
ハンカチ	コーヒー	フルーツ
ヘリコプター	ホテル	バス

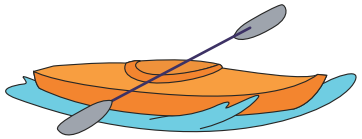
TUNA

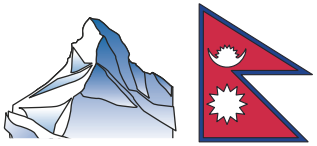
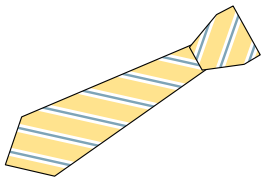



TEST
100

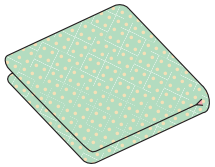


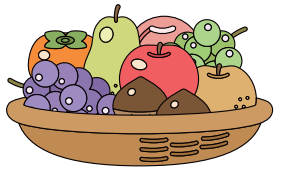
NEWS

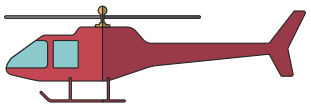


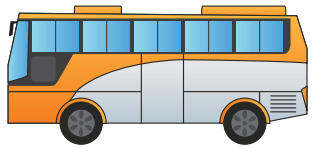
ノート



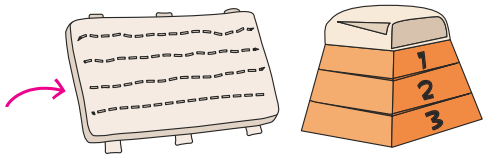




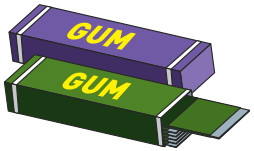
HOTEL



マット	ミルク	ガム
ダイヤモンド	ユニフォーム	ヨーグルト
ラーメン	リンゴ	リュックサック
ルビー	カレー	ライオン

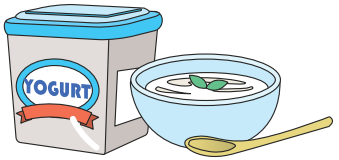

1
2
3

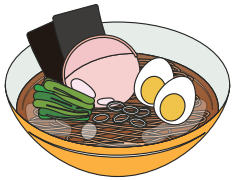

MILK
MILK


GUM
GUM

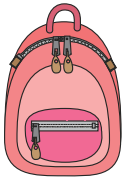




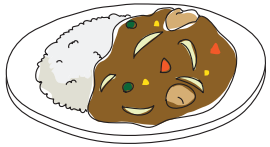

YOGURT

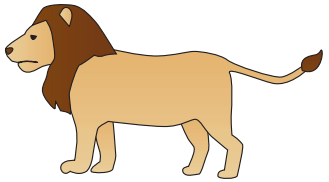












この　ひらがな　おぼえました！ ○をしよう

わ wa	ら ra	や ya	ま ma	は ha	な na	た ta	さ sa	か ka	あ a
	り ri		み mi	ひ hi	に ni	ち chi	し shi	き ki	い i
を (o)	る ru	ゆ yu	む mu	ふ fu	ぬ nu	つ tsu	す su	く ku	う u
	れ re		め me	へ he	ね ne	て te	せ se	け ke	え e
ん n	ろ ro	よ yo	も mo	ほ ho	の no	と to	そ so	こ ko	お o

この　カタカナ　おぼえました！ ○をしよう

ワ wa	ラ ra	ヤ ya	マ ma	ハ ha	ナ na	タ ta	サ sa	カ ka	ア a
	リ ri		ミ mi	ヒ hi	ニ ni	チ chi	シ shi	キ ki	イ i
ヲ (o)	ル ru	ユ yu	ム mu	フ fu	ヌ nu	ツ tsu	ス su	ク ku	ウ u
	レ re		メ me	ヘ he	ネ ne	テ te	セ se	ケ ke	エ e
ン n	ロ ro	ヨ yo	モ mo	ホ ho	ノ no	ト to	ソ so	コ ko	オ o

しゅくだい　がんばったカード			おんどく・プリント・ノート練習（れんしゅう） 宿題（しゅくだい）1つで1こ○			まいめ		100までがんばろう!!	
1									10
									20
									30
									40
									50
									60
									70
									80
									90
									100

第２部

1 たのしいがっこう

学習指導案

1 あいさつ と へんじ

使用教材
「たのしいがっこう」❶

目標

- 自己紹介ができる。
- 簡単な挨拶や返事ができる。

学習項目

❶ (あなたの) なまえは／わたし (ぼく) は○○です／よろしく、おねがいします／～からきました
❷ おはよう (ございます) ／こんにちは／さようなら
❸ わかりましたか／わかりました／わかりません
❹ ～くん／さん／はい
❺ げんきですか／はい、げんきです

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• 自己紹介を理解し、日本語の表現に慣れる。 学習項目 ❶	• 教師が自分 (児童・生徒の分かる文字で書いた名札等も一緒に提示) を指し、「私は○○です。よろしく、お願いします。」と言ってから、「(あなたの) 名前は?」と尋ねる。 • 「私は○○です。よろしく、お願いします。」と言わせ、表現に慣れさせる。 • 児童・生徒間でも、「(あなたの) 名前は?」と「私 (僕) は○○です。」と言わせ、表現に慣れさせる。 • 児童・生徒の様子を見て、「～から来ました。」という表現についても指導する。	
2	• 挨拶を理解し、日本語の挨拶表現に慣れる。 学習項目 ❷ ❸	• 時計等のイラスト等を示し、「おはよう (ございます) ／こんにちは／さようなら」の場面 (時間や相手) を理解させる。 • 教師の後について言わせたり、イラストを見て言わせたりするなど、表現に慣れさせる。 • 挨拶について、イラスト等を使いながら「『おはよう』、わかりましたか。」で確認し、「わかりました。／わかりません。」と言わせ、表現に慣れさせる。	
3	• 名前を呼ばれたら答える場面等を理解する。 学習項目❹ ❺	• 教師が校長や担任の写真等を示し、「○○先生」と言い、児童・生徒にジェスチャーで「○○先生」と言わせる。 • 児童・生徒の名前「～くん／さん」を呼び、「はい」と返事をさせる。児童・生徒同士でも名前を呼び合い、「はい」と返事をさせる。 • 「○○さん、元気ですか。」「はい、元気です。」を一緒に指導してもよい。	

	主な学習活動	指導内容	教材
発展	● 使用場面を知る	● 「東京の学校生活」日本の学校生活①挨拶・主なコミュニケーションを活用し、実際の使用場面を確認させる。	「東京の学校生活」日本の学校生活①
	● 自己紹介1	● まとまりのある表現で、自己紹介をさせる。ワークシートに日本語で自己紹介を書かせてもよい。 ● 児童・生徒同士で自己紹介をさせたり、校内の教員等に対して自己紹介させたりして、表現に慣れさせる。	ワークシート1
	● 自己紹介2	● 「たのしいがっこう」P.3 右を使って、自己紹介に関する、様々な表現を練習させ、児童・生徒同士でやりとりをさせてもよい。 「誕生日は?」 「住んでいた国は?」 「好きな勉強は?」 「好きなスポーツは?」 「好きな食べものは?」	
	● 名前を書く練習	● 自分の名前を平仮名（片仮名）で練習させる。 ● 書けたら一緒に声に出して読んだり、平仮名のカードを使って確認したり、児童・生徒の写真やイラストと文字を一緒に提示し、読み方を確認したりする。	ワークシート2 ワークシート3

2 からだ の ちょうし

使用教材
「たのしいがっこう」❷

目標

- 体調を説明することができる
- 心情を説明することができる

学習項目

❶ どうしましたか／どうしたの？／だいじょうぶ？
❷ ○○がいたいです／気分がわるいです
❸ 体の部分を表す言葉
❹ ○○でやすみます／おだいじに
❺ 心情を表す言葉

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	・体調を説明する表現や体の部分を表す言葉を理解する。 学習項目 ❶❷❸	・イラストを見せて、「○○さんです。」と伝え、心配そうな顔で「○○さん、どうしましたか。」と聞く等のやりとりを例示として見せる。  ・教師がお腹を押さえるジェスチャーをして「お腹、痛い。」や、頭を押さえるジェスチャーをして「頭、痛い。」と言ったり、イラスト等を示したりして、「痛い」という表現を理解させる。 ・児童・生徒が「お腹、痛い。」のジェスチャーをしたとき、教師が「どうしたの？」「大丈夫？」と声を掛け、「どうしたの？」「大丈夫？」の意味を理解させる。 ・教師と児童・生徒、または、児童・生徒同士が役割を交代しながら、「どうしたの？」「○○、痛い。」「大丈夫？」という表現について、何回も尋ねたり答えたりして練習をする。 ・イラスト等を見せながら、「気分が悪い。」などの体調を表す他の言い方を理解させる。 ・実際の体の部分やイラスト等を見せて、身体の部分を表す言葉を理解させる。 ・教師の後について言わせたり、イラストを見て言わせたりするなど、表現に慣れさせる。	

	主な学習活動	指導内容	教材
		● **【アクティビティ】「20　体の部分の名前」）**で、体の部分を手で示しながら歌わせてもよい。 ● ワークシートに体調に関する表現を日本語で書かせてもよい。 ● **【発展】「保健室で病気を説明する練習をする。」**に取り組ませてもよい。	アクティビティ20 ワークシート1・2
2	● 欠席に関する表現を理解する。 学習項目 ❹	● 欠席したり、遅刻したりする場合に、どのようにするのか、学校に電話する状況をイラスト等で見せる。 ● 学校の電話番号と担任の先生の名前をワークシートに記入させる。 ● 0 から 9 までの数字について紹介し、自分の家の番号や「○年生です／○年○組です」など、数字の活動に取り組ませる。 ● 児童・生徒の状況によっては、電話で欠席を伝える練習や欠席理由を書く練習をしてもよい。 「おはようございます。○○です。お腹が痛いです。休みます。」 ● 連絡メモやメールに書く際の方法を知らせ、実際に書かせる。 ● 「お大事に。」を一緒に指導してもよい。	ワークシート3上段 ワークシート3下段
3	● 心情を表す言葉を理解する。 学習項目 ❺	● 体調不良で欠席することを示すイラスト等を見せながら、状況を理解させたりする。 「○○さんは、お腹が痛いです。学校を休みます。」 「先生は悲しいです。」 「今、○○さんは、大丈夫です。」 「先生はうれしいです。」 ● 笑っている顔と泣いている顔のイラスト等を示し、それぞれの顔に「嬉しい」「悲しい」と示す。 ● パーティーや漫画などのイラスト等を見せ、様々な気持ちを表す言葉を紹介する。 ● 「○○の勉強はどうですか。」等の表現を使い、「楽しい」「面白い」等の表現を練習させる。 ● 平仮名で書かせたりして、表現に慣れさせる。	ワークシート4
発展	● 心情を表す言葉の練習をする。	● A が感情の絵カードを選び、何を選んだか見ずに B に渡す。B にそれを表情で表現させ、A に引いたものを当てさせる。グループでは、A に絵カードを引かせ、そのカードを見て表情で表現させる。他の児童・生徒に当てさせる。	

	主な学習活動	指導内容	教材
	● 保健室で体調を説明する練習をする。	● 保健室に一緒に行き、場所を確認する。 ● 体調についての絵カード（頭が痛い、気持ちが悪いなど）の中から一枚を選ばせ、養護教諭に体調を説明する練習をさせる。	

3 たのむとき　たずねるとき

使用教材
「たのしいがっこう」❸

目標

- 許可を得る際の言い方ができる。
- 依頼する際の言い方ができる。

学習項目

❶ ○○にいっていいですか／どうぞ・いいです・いけません
❷ かしてください／みせてください
❸ ありがとう（ございます）／どういたしまして
❹ すみません、なんとよみますか／「き」とよみます
❺ にほんごでなんといいますか
❻ ゆっくりいってください／もういちどいってください

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	・許可を得る際の表現を理解する 学習項目 ❶	・トイレに行きたい人のイラストに考えていることを示す吹き出しを付け、それを指しながら、「○○さんは、トイレに行きたいです。」のように提示し、次に発話を示す吹き出しを付け、それを指しながら、「先生、トイレに行っていいですか。」のような状況を提示する。 ・「トイレに行きたい」「水を飲みたい」「遊びたい」等のイラスト等（ワークシート1①～③等）を見せて、教師の後について言わせたり、イラストを見て言わせたりするなど、表現に慣れさせる。 ・時間があれば、「どうしましたか。」「頭が痛いです。保健室に行っていいですか。」「いいですよ。」のやりとりの練習をさせる。ワークシート2①～③を使って、表現を書く練習をさせてもよい。	ワークシート 1 ワークシート 2
2	・依頼する際の表現（かしてください／みせてください）を理解する。 学習項目 ❷ ❸	・教師が消しゴムを探すふり（消しゴムがない）をして、子供に借りる（「貸してください。」）場面を示し、借りた後、「ありがとうございます。」と続け、貸し借りのやりとり場面を理解させる。 ・困っている場面（○○がない、○○を忘れた等、ワークシート1④⑤）のイラストを示し、教師の後について言わせたり、イラストを見て言わせたりするなど、表現に慣れさせる。ワークシート2④⑤を使って、表現を書く練習をさせてもよい。 ・教師が実際に貸したり、見せたりするなどの行動と言葉で答え、答える表現（ありがとうございます。/ どう	ワークシート 1 ワークシート 2

	主な学習活動	指導内容	教材
		いたしまして。）も理解させる。 ● 児童・生徒と教師、児童・生徒同士で、やりとりを練習させる。	
3	● 依頼する際の表現（なんといいますか／なんとよみますか／ゆっくりいってください等）を理解する。 学習項目 ❹❺❻	● 教師が「○○語がわかりません。○○さん、●●は○○語で何と言いますか。」のようなやりとりで導入し、児童・生徒に「■■と言います。」で答えさせる。「書いてください。」と頼み、書いてもらった後、「すみません、何と読みますか。」「■■と読みます。」と教えてもらい、「ゆっくり言ってください。」「もう一度言ってください。」など、関係する表現を導入する。 ● 教室で困っている場面（名前が分からない、読み方が分からない、読むスピードが速い等、ワークシート1⑥～⑧）のイラストを示し、教師の後について言わせたり、イラストを見て言わせたりするなど、表現に慣れさせる。ワークシート2を使って、表現を書く練習をしてもよい。 ● 教師が実際に尋ねたりするなどの行動と言葉で答え、答える表現も理解させる。 ● 児童・生徒と教師、児童・生徒同士で、「○○語で何と言いますか。」「日本語で何と言いますか。」のようなやりとりをさせ、表現に慣れさせる。	ワークシート1・2 ワークシート3
発展	● 教室以外の場面で困った際の対応方法について練習する。	● 保健室や事務室、図書室等、書かれていることが分からなかったり、質問した相手の話が速かったりする場面をイラスト等で示すなど、具体的な場面を基に、学んだ表現を使って頼んだり、尋ねたりする表現を練習する。	
	● やりとりを通じ、互いの言語での言い方を尋ね合う。	● 「○○語で何と言いますか。」「■■と言います。」のやりとりを使って、身の回りの物について互いの言語で言い方を質問させる。 ● 一つのイラスト（果物、文房具等）の周りに、それぞれの母語（使用言語）の文字で書かせた後、質問をさせ合うことで、教室の掲示物として完成したものを活用することもできる。	

4 がっこう　の　いきかえり

使用教材
「たのしいがっこう」❹

目標

- 学校の行き帰りに関係する表現を理解することができる。
- 道順や料金を尋ねることができる。

学習項目

❶ 学校の行き帰りに関係する表現
❷ ○○はどこですか
❸ 道順を表す表現
❹ ○○までいくらですか

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 学校の行き帰りに関係する表現を理解する。 学習項目 ❶	● 通学路の地図を示し、表現に関係する箇所を確認する。（家、学校、信号、横断歩道、通学路等） ● 信号に関係する表現を確認し、教師の後について言わせたり、イラストを見せたりするなど、表現に慣れさせる。その際、発話できるようにするというより、理解できるようにすることに留意する。 ● 信号を守る／横断歩道を渡るなどの絵カードを作り、「これはどこですか?」と聞きながら、児童・生徒に大きい通学路の地図の該当の場所に絵カードを置かせるような活動等をするとよい。 <絵カード例> ・信号を守る（青、黄色、赤、進む、注意、止まる） ・横断歩道を渡る ・通学路を歩く ・飛び出すと危ない ● その他、学校の行き帰りに注意することについて、必要な内容を確認する。	
2	● 道順を尋ねる際の表現を理解する。 学習項目 ❷ ❸	● 絵カードなどで、単語（家、駅、バス停、○○小／中学校、図書館、スーパー等）を確認する。 ● 「駅はどこですか。」などと尋ね、地図上に絵カードを置かせていく。 ● 簡単な地図を示し、「今ここです。」のように会話の場所を提示しておき、「駅はどこですか。」で尋ね、「まっすぐすすむ」「ひだり」「みぎ」「みぎにまがる」（「たのしいがっこう」P.9 右）等の表現を確認する。	ワークシート 1

	主な学習活動	指導内容	教材
		● 教師の後について言わせたり、イラストを見て言わせたりするなど、表現に慣れさせる。 ● 児童・生徒と教師、児童・生徒同士で、やりとりを練習させる。児童の年齢によっては、やりとりの内容に基づき、実際に右に曲がったり、まっすぐ進んだりするなど、体を動かして理解させる。	
3	● 料金を尋ねる際の表現を理解する。 学習項目 4	● 地図に児童・生徒がよく行く場所（バスや電車で行く場所）を示し、ワークシートを見せて状況（料金を聞く必要がある）を理解させる。 ● 「○○までいくらですか。」と尋ね、「○○です。」「ありがとうございます。」の場面を想定し、やりとりする練習をさせる。	ワークシート 2
発展	● 場所や道順を説明する表現に慣れる。	● たくさんの場所が描かれた地図を使って、出発地点から「右に曲がる。まっすぐ進む。左に曲がる。」などの口頭の説明だけを聞き、どこに行くのかを当てるゲームをする。 ● 「コンビニ」「公園」「レストラン」など、児童・生徒にとって身近な単語を取り上げてもよい。	

5 なかよく　あそぼう

使用教材
「たのしいがっこう」❺

目標

◆ 友達との遊びや活動に加わることができる。

学習項目

❶ いっしょにあそびたいな／いいよ／いれて／ぼく（わたし）にもやらせて／どうぞ
❷ じゃんけんに関する言葉
❸ サッカーをしよう／いっしょにやろう
❹ あしがいたいからできません
❺ ごめんなさい
❻ なかよくしよう

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 遊びに加わる表現を理解する。 学習項目 ❶❷	● 休み時間のイラストを示し、「これは○○さんです。これは、私です。○○さんと一緒に遊びたいな。」「○○さん、遊ぼう。」と言い、「いいよ。」を指し、児童・生徒の発話を促す。 ● 「次は、これが○○さんです。これが私です。」と言い、「遊ぼう。」を指し、児童・生徒の発話を促し、「いいよ。」と答える。 ● イラストを指しながら、「遊ぼう。」「入れて。」と「いいよ。」のやりとりを児童・生徒同士で繰り返し行わせ、表現に慣れさせる。 ● 「○○さんは休み時間、何をしますか。（縄跳び、サッカー、バスケットボール、ドッジボールの絵カードを提示しながら）これをしますか。これは何ですか。」と順に確認する。 ● 遊びに関する言葉の絵カードを示し、繰り返し練習させたり、「これは何ですか。」と問いかけたりし、表現に慣れさせる。 ● 「一緒に遊びたいな。」（「たのしいがっこう」P.10左）のイラストを示し、遊びたいと思う児童・生徒に手を挙げさせ、「僕（私）にもやらせて。」「どうぞ。」などのやりとりも紹介し、イラスト等を使いながら繰り返し発話させる。 ● じゃんけんに関する表現を紹介し、教師と児童・生徒、児童・生徒同士でじゃんけんをさせ、表現に慣れさせる。	

	主な学習活動	指導内容	教材
2	● 遊びに誘う表現を理解する。 学習項目 ❸❹❺❻	● 「次は、これが〇〇さんです。これが私です。」と伝え、「サッカーをしよう。」を指して発話を促し、「いいよ。」で答える。「次は、これが私です。これが〇〇さんです。」と指して発話「サッカーをしよう。」を促し、「足が痛いからできません。」で教師が答える形で導入する。 ● 〇と×が分かる絵カード等を用意し、教師が誘う、絵カードを提示し、「いいよ。」「足が痛いからできません。」のいずれかの返答を児童・生徒に促すという流れで繰り返し練習し、表現に慣れさせる。その際、「たのしいがっこう」②「からだ　の　ちょうし」で学んだ表現を活用することもできる。 ● サッカーやバスケットボール、ドッジボールなどのスポーツの場面や遊びの場面で「〇〇をしよう。」「一緒にやろう。」「いいよ。」を繰り返し発話させる。 ● ドッジボールをしているイラスト（「たのしいがっこう」P.10右）を示しながら、「ドッジボールは楽しいです。」と言って、楽しそうな様子のイラスト等を見せる。その後、ボールをぶつけたときのイラストを見せ、「ごめんなさい。」という表現を紹介する。 ● その後、ボールを取り合って仲がこじれたりするなどの場面（「たのしいがっこう」P.11左）を見せ、「これは悲しいです。どうしますか。」と尋ね、「仲直りしよう。」という表現を紹介する。テキストの流れに沿って、必要な表現が言えるようにする。	ワークシート
発展	● 遊びに誘う練習をする。	● 〇×の絵カードのセットと、ワークシートにある遊びや児童・生徒の興味のある遊びやゲーム等の写真やイラスト等のカードのセットを準備し、じゃんけんで順番を決めて、交替で誘う側、誘われる側を順番に決めて練習する。	

6 もちもの

使用教材
「たのしいがっこう」❻

目標

- 持ち物の名称が分かる。
- 持ち物の所有や持参に関する表現を使うことができる。
- 衣服の着脱に係る表現を理解することができる。

学習項目

❶ 持ち物の名称
❷ ○○をもっていますか／もっています／もっていません
❸ ○○をもってきてください
❹ ○○をもってきましたか／はい、もってきました／いいえ、わすれました
❺ 衣服の着脱に係る表現

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	・持ち物の名前を理解する。 学習項目 ❶	・「えんぴつ」「消しゴム」など（実物）と一緒に「?」が描かれた絵カードを提示し、「日本語で何と言いますか。」と尋ね、児童・生徒に答えさせる。 ・「たのしいがっこう」⑤「もちもの」に示されたもの（実物等）を用意し、「日本語で何といいますか。」「これは何ですか。」などの表現で、名前を確認する。 のり、ものさし、色鉛筆、教科書、水着、傘、ハンカチ、ちりがみ、帽子、服、ズボン、標準服靴、靴下、体育着、ノート、上履き ・ワークシートや実物を活用し、児童・生徒同士で互いに質問し合ったり、「たのしいがっこう」デジタルブックのフラッシュカードで復習したりさせる。	ワークシート 1
2	・持ち物の所有や持参に関する表現理解する。 学習項目 ❷ ❸	・教師が、鉛筆が入っていて、消しゴムが入っていないような筆箱を用意しておき、「先生は鉛筆を持っています。消しゴムは持っていません。」という文を提示する。 ・袋に1で取り上げた持ち物のいくつかを入れておき、「○○を持っています／持っていません」の口頭練習をする。 ・持ち物の横に「?」を提示しながら、「○○さんは、のりを持っていますか。」と児童・生徒の持ち物について尋ね、「○○を持っています／○○を持っていません」のいずれかで答えさせ、表現に慣れさせる。予めワーク	ワークシート 2

	主な学習活動	指導内容	教材
		シートに記入させておいてもよい。または、相手に尋ねた結果を記入させるためにワークシートを使ってもよい。 ● 絵カード（水着の絵カードを含む）をランダムに配り、教師が「○○を持っていますか。」と児童・生徒に尋ねたり、児童・生徒同士間で尋ねたりさせる。 ● 水泳（「たのしいがっこう」P.21 左）のイラストを見せながら、「明日、プールがあります。何を持ってきますか。」と聞き、水着を選ばせる。児童・生徒が選んだら、イラストを使って、「そうですね。水着を持ってきてください。」と言う。同様に、遠足（「たのしいがっこう」P.20 左）のイラストを見せながら、「来週、遠足があります。何を持ってきますか。」と尋ね、児童・生徒が知っていれば、必要なものを発言させる。または、持ち物のイラスト（遠足に必要なもの）を示し、言わせる。 ● 持ち物に名前を書く練習をする。	ワークシート 3
3	● 持ち物の持参に関する表現を理解する。 学習項目 ❹	● 時間割の図工（美術）を指しながら、「今日は図工（美術）の授業があります。（袋を指しながら）これは、授業で使うものです。これは二人が持ってきたものです。紙袋の中を見てください。」と伝え、「○○を持ってきましたか。」と尋ね、袋の中に入っていれば、「はい、持ってきました。」と、入っていなければ、「いいえ、忘れました。」という表現を確認する。いくつかの教科に必要なものを入れた袋を用意し、教師と児童・生徒間でやりとりをする。表現に慣れたら、児童・生徒同士で持ち物の確認をする。	
	● 衣服の着脱に係る表現を理解する。 学習項目 ❺	● イラスト等を用いて、「帽子をかぶる／脱ぐ」「服を着る／脱ぐ」「ずぼんをはく／脱ぐ」という表現を確認する。実物を用意し、実際に「帽子をかぶる」「帽子を脱ぐ」などの動作をさせるなど、表現に慣れさせる。	
発展	● 学んだ表現を使って、ゲームに取り組む。	● 持ち物が異なる人物一覧を示しながら、「これから、学校にお客様が来ます。はじめて会います。」と伝える。「○○さんは1時に来ます。○○さんは2時に来ます。○○さんは3時に来ます。どの人でしょうか。先生は分かります。聞いてください。」とし、「○○を持っていますか。」等の表現を使って質問させる。教師は、「持っています。／持っていません。」で答える。 ● ワークシートに答えを記入させ、「○○を持っています。」を使って、人物を紹介させる。	ワークシート 4

7 わたし　の　がっこう

使用教材
「たのしいがっこう」❼

目標

◆ 身近なものの名前や校内の様々な場所の名前を理解することができる。

学習項目

❶ これ・それ・あれはなんですか／○○です
❷ 学校で使う物の名前
❸ ○○はどこですか／○○です
❹ 学校の施設の名前

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	● 身近なものの名前を理解することができる。 学習項目 ❶ ❷	● 前時の復習として、⑥「もちもの」の絵カードに「?」を提示し、「これは何ですか。」で聞き、「○○です。」で答えさせる。 ● 「たのしいがっこう」⑥「もちもの」で取り上げたものを少し離れた場所と遠くに置き、「それは○○です。」「あれは○○です。」を提示し、「それは何ですか。」「あれは何ですか。」で質問し、児童・生徒に「それは○○です。」「あれは○○です。」で答えさせる。 ● その後、児童・生徒に質問させ、教師が答えたり、児童・生徒に答えさせたりする。ワークシートを使って復習させてもよい。	ワークシート 1
2	● 校内の様々な場所の名前を理解することができる。 学習項目 ❸ ❹	● イラスト等（「たのしいがっこう」P.14）を用いて、学校の中の様々な場所の名前を知る。デジタルブックのクイズ機能を使ってもよい。 ● 名前を確認後、「学校の中を歩きます。名前を確認しましょう。」と伝え、実際に学校の中を歩き回る。 　児童・生徒に「これは何ですか。」と教師やその場にいる教員等に質問させ、場所の名前について理解を深めさせる。 ● 教室に戻り、学校の地図を見ながら、「音楽室はどこですか。」「2階です。」のような練習を教師から児童・生徒、または、児童・生徒同士で練習させる。	
発展	● 学校の様々な物の名前を聞く。	● ワークシートを使って、学校のいろいろな場所に行き、名前を聞いてくる活動に取り組ませる。	ワークシート 2

8 がっこう　の　いちにち

使用教材
「たのしいがっこう」❽

目標

◆ 学校の一日に関する表現を理解することができる。

学習項目

❶ 時刻を表す表現（○じ○ふん）
❷ 学校の一日に係る表現（登校、下校、給食等）
❸ いただきます／ごちそうさま／もう少しください
❹ 学習に関する言葉

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	• 時刻を表す表現を理解する。 学習項目 ❶	• 「今日は、これを勉強します。」と伝え、時計を提示する。時計の針を一つずつ動かし、1から10の数字が言えるかを確認する。 • 11と12を指し、「では、これは?」ではじめ、10+1、10+2という作り方を教え、13以降は児童・生徒に考えさせる。 • 20まで来たら、20，30，40などの数字を示し、「にじゅう、さんじゅう、よんじゅう」と読み、作り方を教える。次に、50から90を一緒に作ってみる。 • 最後に、21を提示し、20+1という作り方を教える。それから、ランダムに数字を見せて言わせたり、教師が言った数字を書かせたりして、数字を表す表現に慣れさせる。その際、登校や下校等、時程に関連する時刻は、必ず取り上げるようにする。	
2	• 学校の一日に関する表現を理解する。 学習項目 ❷ ❸	• 「たのしいがっこう」P.16左の「登校」のイラストを指し、「これを見てください。登校です。」と確認し、「登校は何時ですか。」と聞き、児童・生徒に答えさせる。同様に、朝会や学習についても確認する。 • 「では、朝会の言葉を勉強しましょう。」と伝え、以下の表現について動作を交えながら、理解させる。 <朝会>気を付け、休め、前へならえ、直れ • 次に、「授業の言葉を勉強しましょう。」と伝え、以下の表現について動作を交えながら、理解させる。授業の言葉は、児童・生徒に実際に言わせ、それに合わせて行動するよう指導する。 <授業>起立、礼、着席	

	主な学習活動	指導内容	教材
		● ワークシート上段を使い、登校、給食、掃除、下校、部活動等の時刻を確認し、「○○は何時ですか。」と尋ね、児童・生徒に答えさせる。 ● 「では、給食の言葉を勉強しましょう。」と伝え、以下の表現について動作を交えながら、理解させる。 **<給食>**いただきます、ごちそうさま、もう少しください ● 次に、「掃除の言葉を勉強しましょう。」と伝え、以下の表現について、ほうきや雑巾を用いたり、実際に動作を交えたりしながら指導する。 **<掃除>**ほうきで掃く、雑巾で拭く、机を並べる ● 異なる学校の児童・生徒が一緒に学んでいる場合は、ワークシート下段を使い、「○○さんの学校では○○は何時からですか。」という表現を使って、互いの学校の一日を聞き合わせる。	ワークシート
3	● 学習に関する言葉を理解する。 学習項目④	● 次の表現について、場面のイラスト等とともに、確認する。 ● 「話す」「聞く」「読む」「書く」「見る」「考える」について絵カードを見て、理解させる。 ● 「聞いてください。」「読んでください。」「書いてください。」「見てください。」などを使って、「～てください。」が指示であることを理解させる。実際にジェスチャーをさせるなどして、定着できるようにする。 ● ここまでに学習した単語を使って、「ひらがなを書いてください。」や「黒板を見てください。」など、実際に行動させることで、児童・生徒の理解を確認する。	

9 じかんわり

使用教材
「たのしいがっこう」❾

目標

- 時間割に必要な言葉を使うことができる。
- クラブ（部）活動に必要な言葉を使うことができる。

学習項目

❶ ○じかんめはなんのべんきょうですか／（教科等の名前）です
❷ どのべんきょうでつかいますか
❸ どんなクラブ（部）に入りたいですか

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	・使用場面を知る	・「東京の学校生活」の一日の学校生活や時間割、クラブ活動や部活動に係る内容を活用し、実際の使用場面を確認させる。 ・事前学習として視聴させてもよい。	東京の学校生活 小学校 ❸❺ 小学校 ❸❹ 小学校 ❸❹
2	・教科等を表す言葉を理解する。 学習項目 ❶	・カレンダーを示し、「今日は○日ですね。今日は○曜日です。」と伝え、曜日の言い方について確認する。月曜日から順に、教師の後に付いて曜日を言う練習をさせる。 ・時間割を見せて、「これを勉強しましょう。前はここ（時間）を勉強しましたね。今日はここ（教科の部分）を勉強します。」と示し、教科等を表す言葉を学ぶことを理解させる。 ・イラスト（「たのしいがっこう」P.18）や絵カードを使い、教科の名前を確認する。 ・次に、「1時間目は○○の勉強です。」（1時間目は○○の授業です。）と例を聞かせ、「?」を示しながら、「2時間目は何の勉強ですか。」（2時間目は何の授業ですか。）と質問し、答えさせる。少し慣れてきたら、「月曜日の3時間目は、何の勉強ですか。」（月曜日の3時間目は何の授業ですか。）などと質問し、答えさせる。 ・記載された内容に違いのある時間割を２種類用意し、それを使って空白部分を聞き合う活動に取り組ませてもよい。	ワークシート１
3	・教科等で使う言葉を理解する。 学習項目 ❷	・時間割を基に「2時間目は家庭科です。」と例を示した上で、「?」を示しながら、家庭科で使うものを示しながら、「これはどの勉強で使いますか。」と尋ね、「家庭科です。」や「家庭科で使います。」という答えを引き出す。	

	主な学習活動	指導内容	教材
		● 授業で使うものを複数用意して、やや遠くに配置し、「○○を持ってきてください。」や「○○と○○を持ってきてください。」などの表現を使い、実際に児童・生徒に持ってこさせ、授業で使うものの名前を理解させる。 ● 児童・生徒に、他の教科で使うものも複数示しながら、同様に、「これはどの勉強で使いますか。」と尋ね、「○○です。」という形で答えを引き出したり、「これはどの教科で使いますか。」と尋ねさせ、教師が答えたりする。 ● 児童・生徒同士で聞き合わせたりして、表現に慣れさせる。日直として、持ち物を伝える活動に取り組ませてもよい（「明日の○時間目は○○です。○○と○○を持ってきてください。」など）。	
4	● クラブ（部）活動を表す言葉を理解する。 学習項目 ❸	● 時間割を見せながら、「クラブ活動（部活動）は何ですか。」と聞き、イラストを見せながら、「クラブ活動（部活動）はこれです。」と示す。 ● クラブ活動（部活動）のイラストや写真等を見せながら、「これは何ですか。」と尋ね、「○○です。」と答えさせる。教師が「私は、卓球が好きです。だから、卓球クラブ（部）に入りたいです。」と話したり、イラストを見せながら「○○さんは、サッカーが好きです。だから、サッカークラブ（部）に入りたいです。」と説明したりして、表現を理解させる。 ● 校内のクラブ活動（部活動）のイラストや写真等を掲示し、「○○さんは、どんなクラブに入りたいですか。」と尋ね、児童・生徒に答えさせる。	
発展	● クラスの人に好きな教科やクラブ（部活動）をインタビューする。	● 「好きな教科は何ですか。」「クラブ活動（部活動）は何ですか。」などを確認し、クラスメートにインタビューさせる。 ● インタビュー終了後、聞いてきたことを紹介させる。	ワークシート 2

10 がっこう　の　いちねん

使用教材
「たのしいがっこう」⑩

目標

- 行事に関する言葉を理解することができる。
- 行事について説明することができる。

学習項目

❶ 学校の行事に関する言葉
❷ ○がつ
❸ なんがつですか
❹ なにをするのですか

学習の流れ

	主な学習活動	指導内容	教材
1	・学校の行事や月の言い方について知る。理解する。 学習項目 ❶❷❸	・児童・生徒がこれまでに参加した行事等の写真を見せて、「これは何ですか。何をしましたか。いつですか。どうでしたか。」と尋ねる。 ・児童・生徒が参加したことがない行事等の写真を見せて、「これは何ですか。知っていますか。」で、様々な行事の名前を確認する。児童・生徒が知っている行事があれば、「入学式は4月です。」のように、行事等と月を確認する。 ・「たのしいがっこう」P.21 右等を活用し、行事と月の情報を並べ、1月、2月、3月…の言い方を確認し、繰り返し口頭で言うなど、月の言い方に慣れさせる。 ・行事等の写真やイラストを見せ、「○○は、何月ですか。」と尋ね、「○月です。」と答えさせる。 ・月と行事をカードにして、正しい組み合わせにさせたり、ワークシートを使ったりするなどして、復習してもよい。	ワークシート 1・2
2	・行事の内容について尋ねる表現を知る。 学習項目 ❹	・児童・生徒が参加していない行事等の写真等を示し、「○○は、○○をします。○○（楽しい、面白いなど）です。」と説明する。 ・児童・生徒が分からない様子を示すイラスト等と「?」を提示し、「何をするのですか。」という表現を紹介し、児童・生徒に尋ねさせる。教師が簡単に説明したり、児童・生徒の中に答えられる児童・生徒がいたら、答えさせたりし、「何をするのですか。」という表現に慣れさせる。 ・児童・生徒の出身国のイベントなどを事前に調べてお	

	主な学習活動	指導内容	教材
		き、写真等を印刷したり、ワークシートにしたりしておき、「これは何月ですか。」「○月です。」と答えさせる。児童・生徒同士で、「何をするのですか。」という表現を使って質問し合う。	
発展	• 友達の誕生月を聞く。	• ワークシートを使って、全ての月の誕生日の人を探させるなど、○月という表現に慣れさせる。	ワークシート 3

第２部

2 たのしいがっこう

ワークシート

ワークシート　1　あいさつ　と　へんじ　1



Wa ta shi wa
わたしは ＿＿＿＿ de su です。

＿＿＿＿ ka ra から　ki ma shi ta きました。

Yo ro shi ku, o ne ga i shi ma su.
よろしく、おねがいします。

★書(か)いてみよう★

わたしは　です。

から　きました。

すきな　べんきょうは　です。

すきな　たべものは　です。

よろしく、おねがいします。

ワークシート　1　あいさつ　と　へんじ　2

わたしの　なまえ

★先生方へ★　一番上の行に名前を**ひらがな**で書いてあげてください。

わたしの　なまえ

★先生方へ★　一番上の行に名前を**カタカナ**で書いてあげてください。

からだ　の　ちょうし 1



	おなか（が） いたい		あし（が） いたい
	あたま（が） いたい		て（が） いたい
	め（が） いたい		は（が） いたい

からだ　の　ちょうし 2



どうしましたか。　／　どうしたの?
おなかが　いたいです。

いらすと
★イラストと　にほんごを　せんで　むすぼう。★

















- はが　いたいです。
- せきが　でます。
- げんきです。
- きぶんが　わるいです。
- ねつが　あります。
- かゆいです。
- さむいです。
- あたまが　いたいです。

ワークシート　2　からだ　の　ちょうし　3

● がっこうを　やすむとき

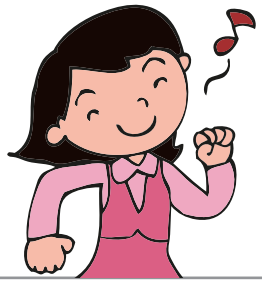
❶ でんわで　はなす

がっこうの　でんわ	
たんにんの　せんせい	

❷ てがみに　かく

	理由（りゆう）
月（がつ）　日（にち）（　　）	かぜ　で　やすみます。
月（がつ）　日（にち）（　　）	ふくつう　で　やすみます。
月（がつ）　日（にち）（　　）	で　やすみます。
月（がつ）　日（にち）（　　）	で　やすみます。
月（がつ）　日（にち）（　　）	

わたしの　きもち

	うれしい うれしい		かなしい
	たのしい		さびしい
	おもしろい		つまらない
	おこる		こまる

ワークシート　3 たのむとき　たずねるとき　1

● こんなとき　なんと　いいますか。

① 

② 

③ 

④ 

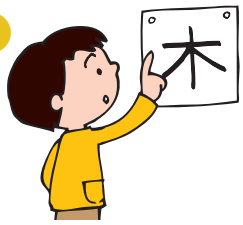
⑤ 

⑥ 

⑦ 

⑧ 

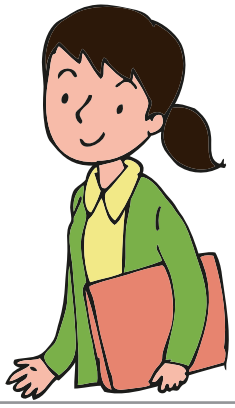
ワークシート　3 たのむとき　たずねるとき　2

① 	といれ トイレに　いって　いいですか。
② 	を　のんで　いいですか。
③ 	あそんで　いいですか。
④ 	を　かして　ください。
⑤ 	
⑥ 	なんと　よみますか。
⑦ 	いって　ください。
⑧ 	

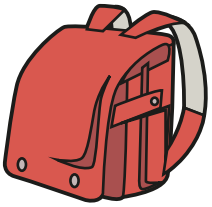
ワークシート　3 たのむとき　たずねるとき　3

Ni ho n go　de　na n to　i i ma su ka.
にほんご　で　なんと　いいますか。

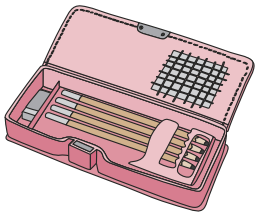




① 

② 

③ 

④ 

⑤ 

①	かばん	と	いいます。
②		と	いいます。
③		と	いいます。
④			
⑤			

ワークシート　4 がっこう　の　いきかえり　1

● 地図



ワークシート　4 がっこう　の　いきかえり　2

Shi n　ju　ku　ma de
しんじゅく　まで

I ku ra　de su ka.
いくら　ですか。

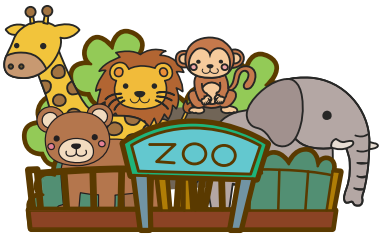


① えき



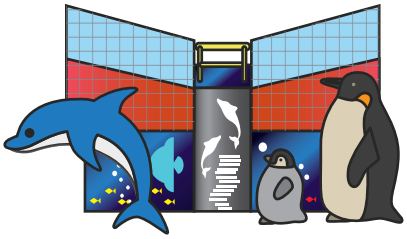
？　えん 円

② どうぶつえん



？　えん 円

③ すいぞくかん



？　えん 円

④ りすえん



？　えん 円

まで　です。

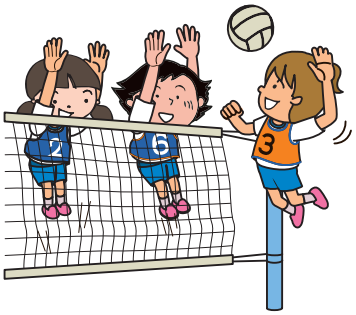
まで　です。

ワークシート　5　なかよく　あそぼう



Sakkaa　o　shi yo u
サッカー　を　しよう。

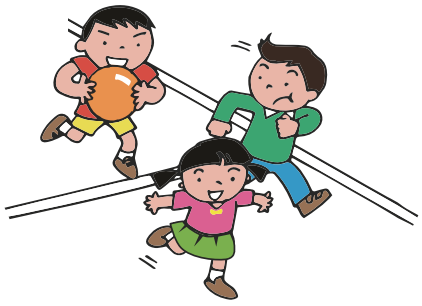












★書(か)いてみよう★

〇〇さんへ

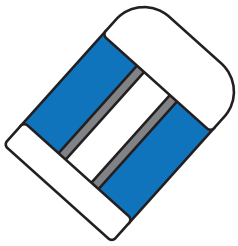
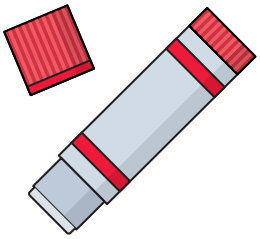
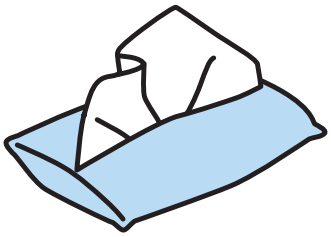
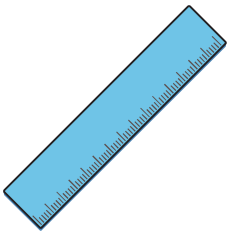
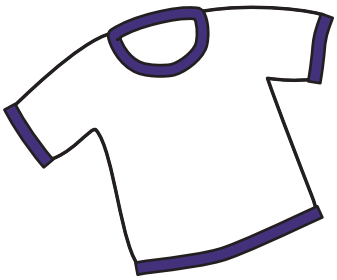
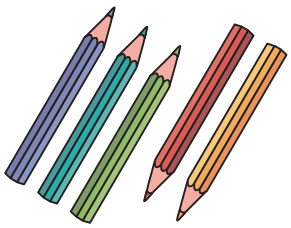
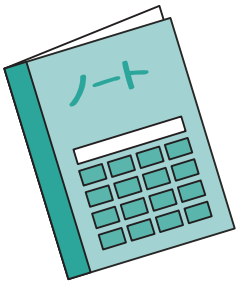
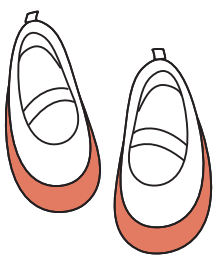
いっしょに　あそびたいな。

しよう。

さんへ

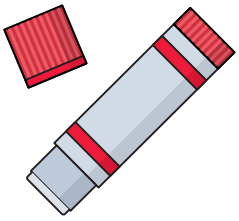
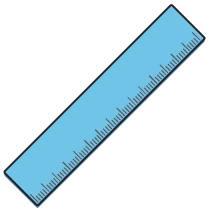
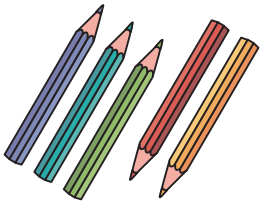
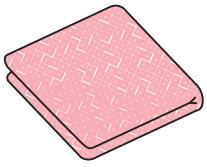
ワークシート　6 もちもの　1

● これは　なんと　いいますか。

① 	② 
③ 	④ 
⑤ 	⑥ 
⑦ 	⑧ 
⑨ 	⑩ 

ワークシート　6 もちもの　2

● えんぴつを　もっていますか。

	○(まる)を　つけよう。	
① 	もっています。	もっていません。
② 	もっています。	もっていません。
③ 	もっています。	もっていません。
④ 	もっています。	もっていません。
⑤ 	もっています。	もっていません。
⑥ 	もっています。	もっていません。

● もちものに　なまえを　かこう。

しょうがっこう

ねん　　くみ　　ばん

なまえ

しょうがっこう
小学校

ねん　　くみ　　ばん
年　　組　　番

な まえ
名前

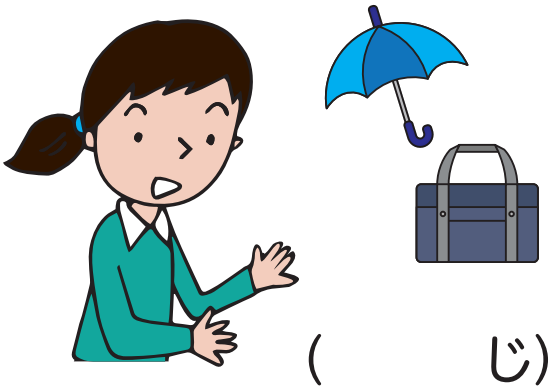
ちゅうがっこう
中学校

ねん　　くみ　　ばん
年　　組　　番

な まえ
名前

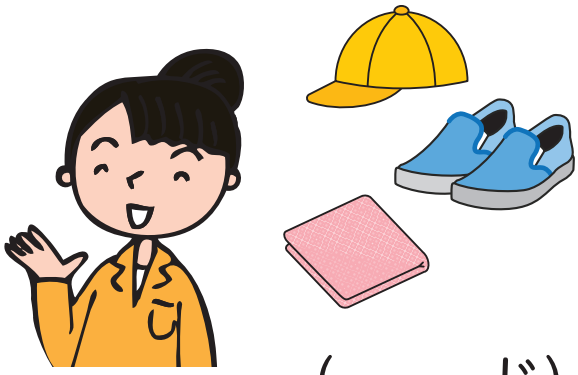
おきゃくさまは　だれ?

❶ (　　さん)



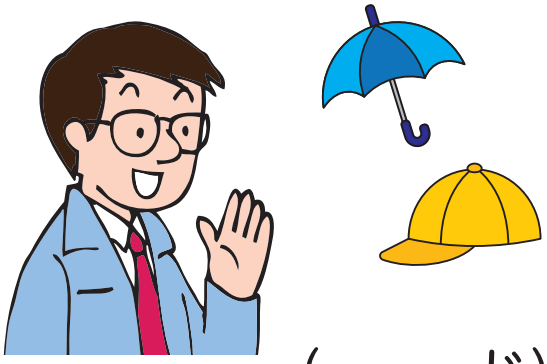
(　　じ)

❷ (　　さん)



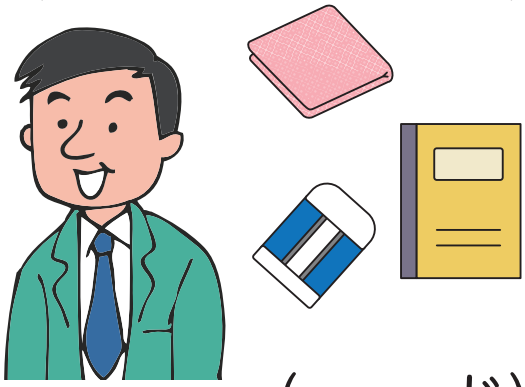
(　　じ)

❸ (　　さん)



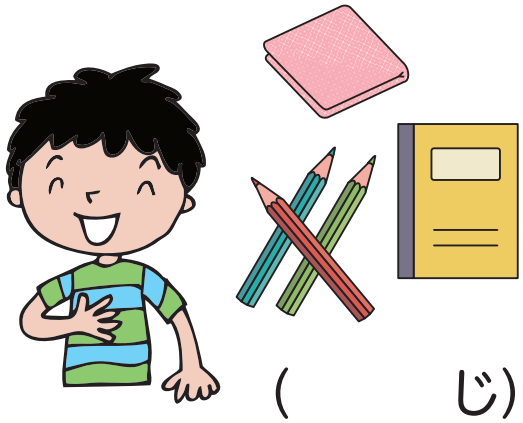
(　　じ)

❹ (　　さん)



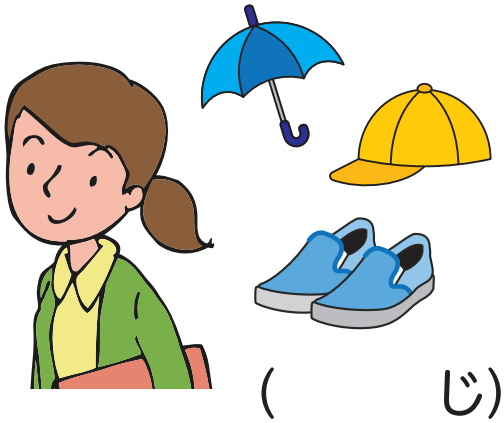
(　　じ)

❺ (　　さん)



(　　じ)

❻ (　　さん)



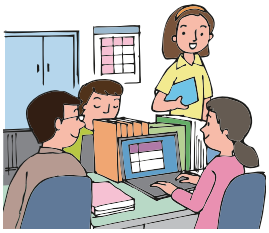
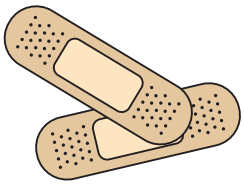
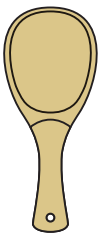
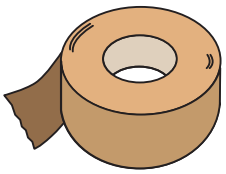
(　　じ)

ワークシート　7 わたし　の　がっこう　1



ワークシート　7 わたしの　がっこう　2

● これは　なんですか。

ばしょ	もの	なまえ
① 		
② 		
③ 		
④ 		
⑤ 		
⑥ 		

ワークシート　8　がっこう　の　いちにち

● わたしの　がっこうの　いちにち

とうこう	じ	ふん
きゅうしょく	じ	ふん
そうじ	じ	ふん
げこう	じ	ふん
ぶかつどう	じ	ふん

●　　さんの　がっこう

とうこう	じ	ふん
きゅうしょく	じ	ふん
そうじ	じ	ふん
げこう	じ	ふん
ぶかつどう	じ	ふん

ワークシート 9 じかんわり 1

● 時間割表　　年　組

	月	火	水	木	金
1					
2					
3					
4					
5					
6					

ワークシート 9 じかんわり 2



Su ki na　kyou　ka wa　na n　de su ka.
すきな　きょうかは　なんですか。

Do n na　Ku ra bu　(bu)　ni　ha i ri ta i　de su ka.
どんな　クラブ（ぶ）に　はいりたい　ですか。

なまえ	きょうか	クラブ（ぶ）（くらぶ）

★書（か）いてみよう★

わたしは　　が　すきです。

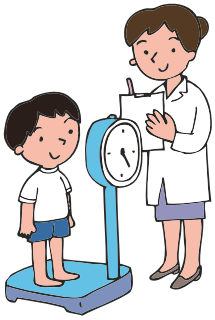
わたしは　　クラブ（ぶ）に　はいりたい　です。

　　さんは

　　さんは

ワークシート　10　がっこう　の　いちねん　1

● なんがつ　ですか。

にゅうがくしき 	
しんたいけいそく 	
すいえい 	
かきぞめかい 	
そつぎょうしき 	

ワークシート　10　がっこう　の　いちねん　2

● いろいろな　ぎょうじが　あります。

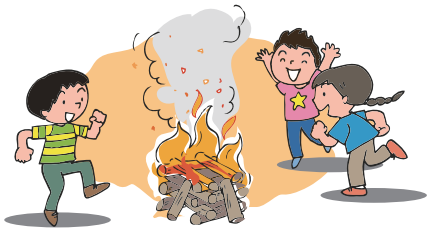
すること	ばんごう	なまえ
がっこうの　そとで　たのしく　すごします。 おべんとうや　おかしを　もって　いきます。		
きょうそうや　ダンス(だんす)を　します。		
しぜんの　なかで　せいかつします。		
げきや　がっしょうを　します。		

〈ばんごう〉

1



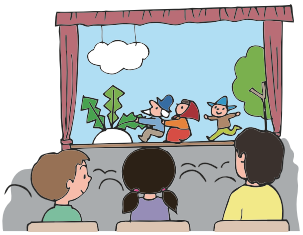
3



2



4



〈なまえ〉

A　がくげいかい・ぶんかさい
B　いどうきょうしつ
C　うんどうかい・たいいくさい
D　えんそく

ワークシート　10　がっこう　の　いちねん　3

● たんじょうびは　なんがつ　ですか。

	なまえ
4 月 (しがつ)	
5月 (ごがつ)	
6月 (ろくがつ)	
7月 (しちがつ)	
8月 (はちがつ)	
9月 (くがつ)	
10 月 (じゅうがつ)	
11 月 (じゅういちがつ)	
12 月 (じゅうにがつ)	
1月 (いちがつ)	
2月 (にがつ)	
3月 (さんがつ)	

（監修）
東京学芸大学教職大学院教育実践創生講座准教授　　米本　和弘

日本語指導ハンドブック（デジタルブック）

令和６年３月31日

編集・発行　東京都教育庁グローバル人材育成部国際教育企画課
所在地　東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
製作会社　株式会社　ユーパワー